

# ICT利活用 半島サミット in 氷見

—地方創生における ICT 利活用の実際と新たな地域価値の創造にむけて—

## 実施報告書



一般財団法人全国地域情報化推進協会

<http://www.appl ic. or. jp/>

ICT地域イノベーション委員会  
地域情報化促進ワーキンググループ



# ICT利活用 半島サミット in 氷見 実施報告書

半島地域が抱えている様々な課題(少子高齢化、地域経済の活性化等)に対応するために情報通信技術(ICT)の利活用は必要不可欠と考えており、本サミットでは、半島地域における地域課題をテーマにして、事例紹介や地域課題に関する要望集約や情報交換、現地視察を実施してICT利活用の普及促進を図ることを目的とし、氷見市で開催いたしました。

1. 日 程:平成27年11月13日(金) 13:30~17:00/14日(土) 10:30~11:35
2. 会 場:13日:いきいき元気館(氷見市) 14日:魚々座(氷見市)
3. 名 称:ICT利活用 半島サミット in 氷見
4. サブタイトル:ー地方創生における ICT 利活用の実際と新たな地域価値の創造にむけてー
5. 主 催:総務省 北陸総合通信局、北陸情報通信協議会、一般財団法人全国地域情報化推進協会
6. 参加者数:95名

【内訳】受講者:81名/講師・事務局:14名

11月13日 講演・事例紹介



開会の挨拶  
総務省北陸総合通信局 局長 星 克明



講演1  
筑波技術大学 教授 須田 裕之氏



講演2  
総務省 情報流通行政局 地域通信振興課  
地方情報化推進室 室長 梅村 研



講演3  
総務省 総合通信基盤局 高度通信網振興課  
高度通信網推進官 鈴木 厚志



講演4  
愛媛大学 社会連携推進機構  
教授(地域連携コーディネーター) 坂本 世津夫 氏



事例紹介1  
氷見市 市長政策・都市経営戦略部 秘書・市民情報課  
市民情報・つぶやき受発信担当 矢代 宏樹 氏



事例紹介2  
金沢市 市長公室 情報政策課  
ICT推進室長 松田 俊司 氏



挨拶  
富山県氷見市 市長  
本川 祐治郎 氏

11月14日 現地視察



現地視察/説明  
富山県 経営管理部 情報政策課  
課長 荻布 彦 氏



受講の状況



閉会の挨拶  
一般財団法人 全国地域情報化推進協会  
理事長 有富 寛一郎



## ICT利活用 半島サミット in 氷見 プログラム

≪1日目:11月13日(金)≫ (定員:100名) 開催場所:氷見市いきいき元気館 (住所:富山県氷見市中央町12-21)		
13:30~ 13:35	主催者 挨拶	総務省 北陸総合通信局長 <small>ほし かつあき</small> 星 克明
13:35~ 14:05	講演1 【30分】	「地域課題解決のための自治体システムの方向性」 (一財)全国地域情報化推進協会 ICT地域イノベーション委員会 地域情報化促進WG 主査 筑波技術大学 教授 <small>すだ ひろゆき</small> 須田 裕之 氏
14:05~ 14:30	講演2 【25分】	「ICTの活用による地方創生に向けて」 総務省 情報流通行政局 地域通信振興課 地方情報化推進室 室長 <small>うめむら けん</small> 梅村 研
14:30~ 14:55	講演3 【25分】	「情報通信基盤の整備について」 総務省 総合通信基盤局 高度通信網振興課 高度通信網推進官 <small>すずき あつし</small> 鈴木 厚志
14:55~ 15:45	講演4 【50分】	「地方創生とICT地域イノベーション」 愛媛大学 社会連携推進機構 教授(地域連携コーディネーター) <small>さかもと せつお</small> 坂本 世津夫 氏
15:45~ 15:55	休憩【10分】	
15:55~ 16:20	自治体の 取組み	事例 紹介1 【25分】 「市民と事業者、行政で考える氷見市ホームページリニューアルの取り組み」 氷見市 市長政策・都市経営戦略部 秘書・市民情報課 市民情報・つぶやき受発信担当 <small>やしろ ひろき</small> 矢代 宏樹 氏
16:20~ 16:45		事例 紹介2 【25分】 「ICT×シビックテックによる交流・連携の促進」 金沢市 市長公室 情報政策課 ICT推進室長 <small>まつだ しゅんじ</small> 松田 俊司 氏
16:45 ~ 16:50	ご挨拶	氷見市長 <small>ほんがわ ゆうじろう</small> 本川 祐治郎 氏
17:30~ 19:00	情報交流会	

≪2日目:11月14日(土)≫ (定員:40名) 開催場所:ひみ漁業交流館魚々座(ととぞ) (住所:富山県氷見市中央町7-1)		
10:30 ~ 11:30	現地視察 及び説明 【60分】	「TOYAMA Free Wi-Fiについての紹介」 富山県 経営管理部 情報政策課 課長 <small>おぎの ひこし</small> 荻布 彦氏
11:30 ~ 11:35	閉会 【5分】	一般財団法人 全国地域情報化推進協会 理事長 <small>ありとみ かんいちろう</small> 有富 寛一郎

## ICT利活用 半島サミット in 氷見 オプションプログラム

≪2日目:11月14日(土)≫ (定員:40名) 開催場所:富山県 南砺市 五箇山		
14:30~ 15:30	現地視察 及び説明 【60分】	「南砺市におけるエリア放送の運用」について 南砺市 地方創生推進課 情報政策係 <small>まついわ けんし</small> 松岩 健志 氏

# 「ICT利活用 半島サミットin氷見」参加者一覧

＜平成27年11月13日～14日 講演・事例紹介＞

区分	団体数	人数	備考
総務省	-	9	総務省 北陸総合通信局
自治体	9	22	富山県 富山市 金沢市 小矢部市 氷見市 南砺市 七尾市 おおい町 能美市役所
大学等	3	4	慶應義塾大学 一般社団法人石川県情報システム工業会 一般社団法人氷見青年会議所
企業	21	52	NECネットエスアイ株式会社 NTTビジネスソリューションズ株式会社 西日本電信電話株式会社 株式会社インテック 株式会社北國銀行 株式会社北日本新聞社 キヤノン電子テクノロジー株式会社 京セラコミュニケーションシステム株式会社 株式会社ケーブルテレビ富山 株式会社シーピーユー 住友電気工業株式会社 ソフトバンク株式会社 高岡ケーブルネットワーク(株) 株式会社ドコモCS北陸 となみ衛星通信テレビ株式会社 株式会社 トリニティ 能越ケーブルネット株式会社 パナソニックシステムネットワークス株式会社 NPO法人PCTOOL 富士通株式会社 みつぼしテクノ株式会社
APPLIC	-	8	主査:筑波技術大学 須田 裕之 氏 アドバイザー:愛媛大学 坂本 世津夫 氏 事務局
合計		95	

※初日のみ参加の方含む

## 講演 1

### 「地域課題解決のための自治体システムの方向性」

－ これまでの動向と広域連携 －

ICT地域イノベーション委員会 地域情報化促進WG 主査  
筑波技術大学 教授 須田 裕之 氏



# 地域課題解決のための自治体システムの方向性

## — これまでの動向と広域連携 —

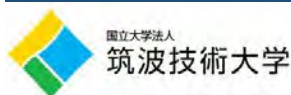
平成27年11月13日

ICT地域イノベーション委員会

地域情報化促進WG 主査

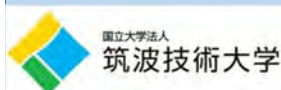
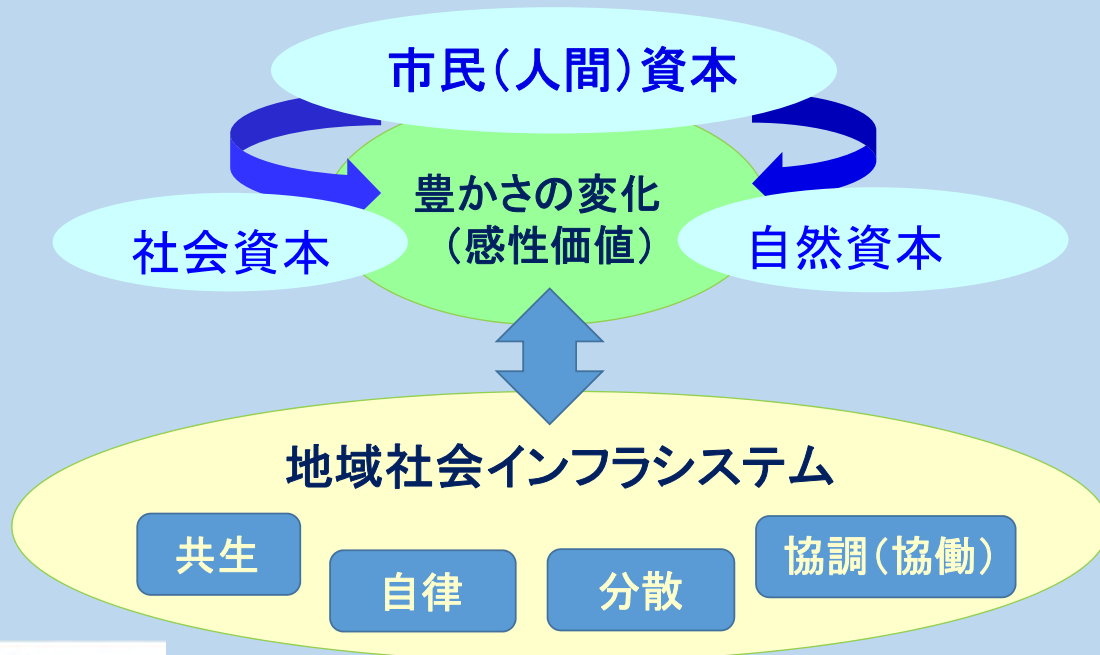
須田裕之

( 国立大学法人 筑波技術大学 )



## 社会生活の価値変化

社会生活の豊かさ（感性価値）に対する変化や将来に向けた環境等に対する考え方の変化が生じている。





# ユニバーサルコミュニケーション社会に向けて

人間中心・受容 (social) inclusion

新しいしくみ、観点 innovation (for normalization)

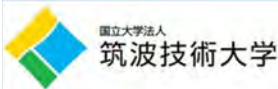
多様な豊かさ(感性価値)における  
利用者視点

〔高齢者・障害者・外国人等〕

情報・コミュニケーション支援による橋渡し

“ i ” から考える

ユニバーサルコミュニケーション社会の確立



## 情報サービス利用の変化

ユニバーサル性

いつでも、どこでも、だれでも、(何でも)

パーソナル性

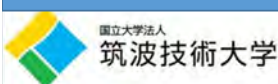
相補性

スマート化

今だけ、ここだけ、あなただけ、(これだけ)

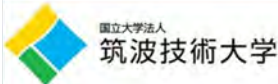
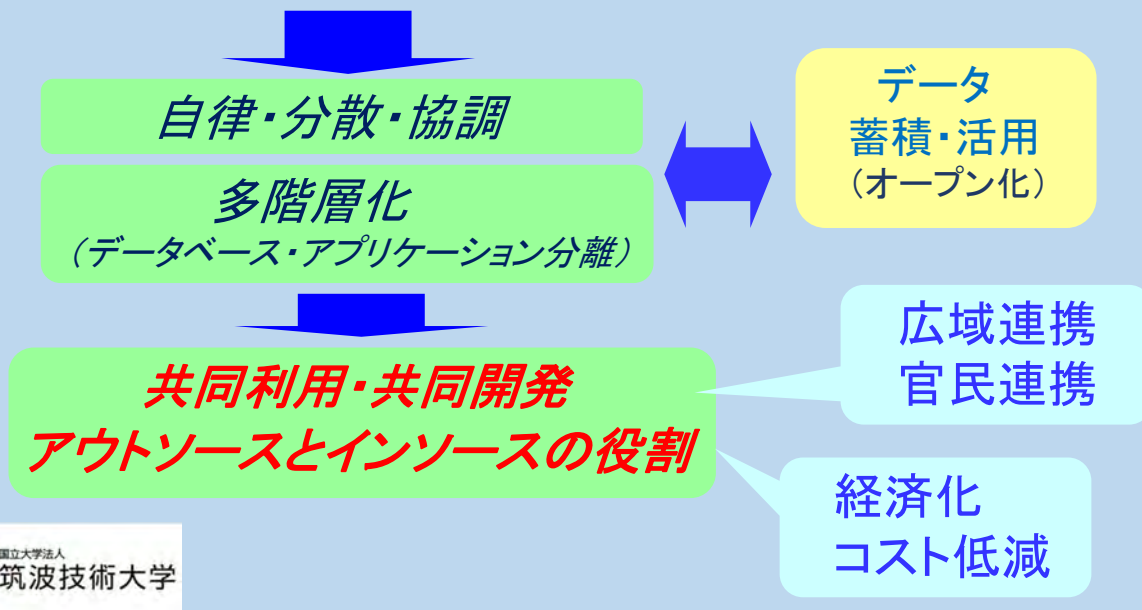
SNSの普及

- ・リアルタイム、特定場所での情報提供
- ・利用者属性に応じた情報内容
- ・利用者が選択できる情報インターフェース



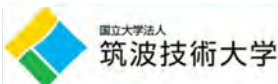
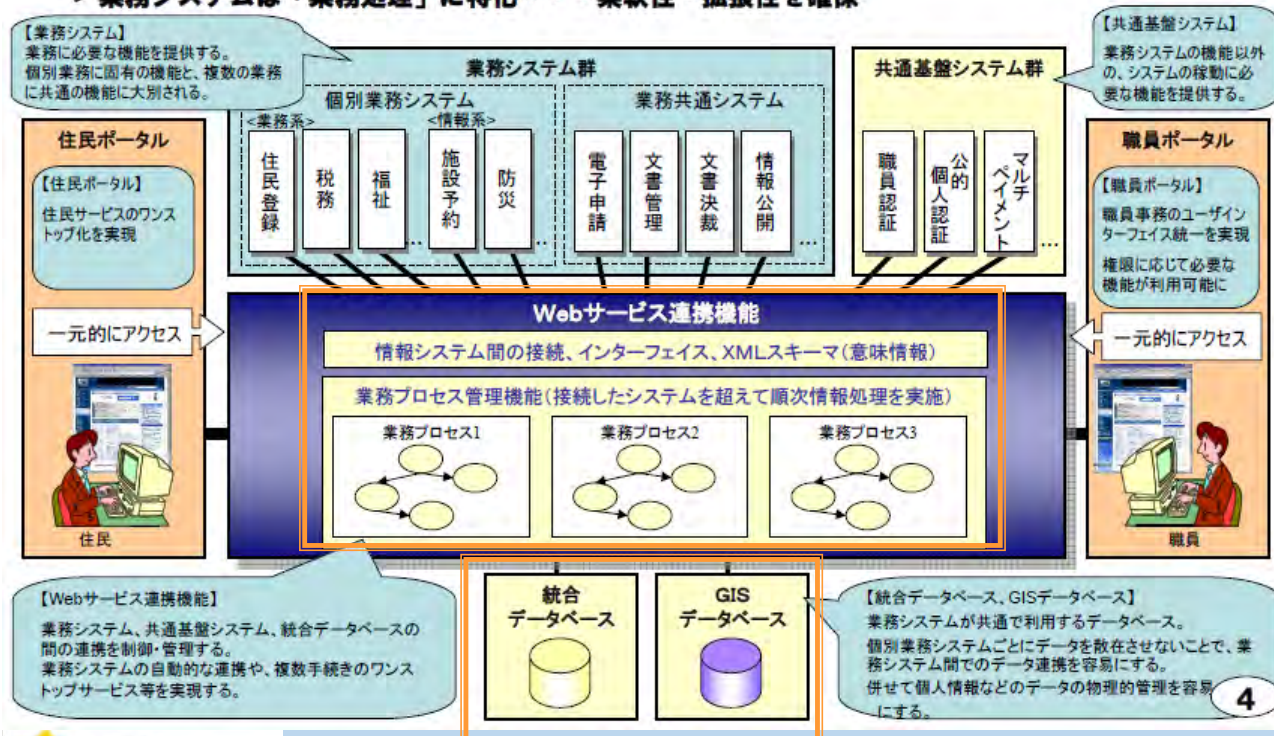
# 地方公共団体システムへのこれまで要求と方向性

- ◆ネットワークの高度化による多様化対応
- ◆システム間の相互運用性確保
- ◆災害時等におけるBCP確保
- ◆データ流通に向けたデータ中心マネジメント



## 地域情報プラットフォームの考え方

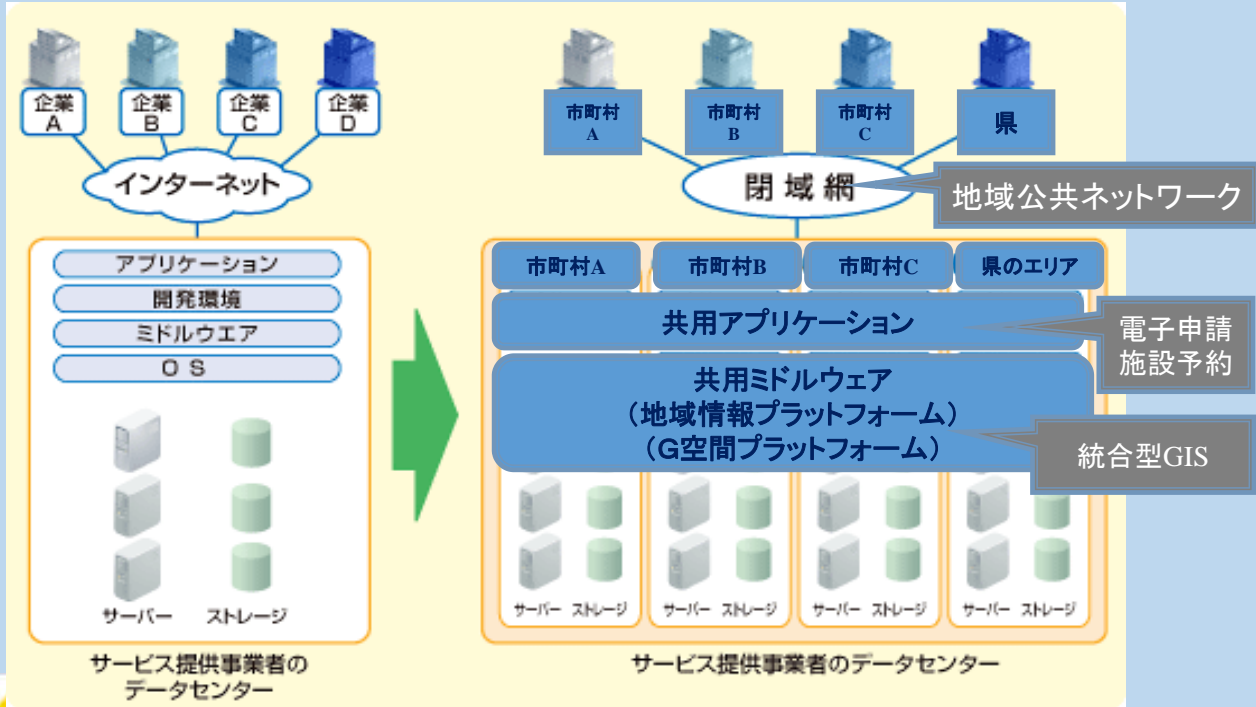
- ・データは「統合データベース」、連携機能は「プラットフォーム」に
  - ・業務共通システム、共通基盤システムの活用
- 業務システムは「業務処理」に特化・・・柔軟性・拡張性を確保



「地域における情報化の推進に関する検討会」最終報告(H17.3)より転載

# 広域利用に向けた自治体クラウドシステム

行政ユース(セキュリティ、信頼性確保のため)では、インターネット経由ではなく、閉域網を使い、データセンター内においても独立性を確保したクラウドに移行。



筑波技術大学

日経BP「IT-Pro Special」より引用、改変

[http://special.nikkeibp.co.jp/ts/article/a00c/105159/?P=2&ST=kddi\\_04\\_leaf](http://special.nikkeibp.co.jp/ts/article/a00c/105159/?P=2&ST=kddi_04_leaf)

# G空間オープンデータ・プラットフォーム

- 2015年度を目途に、官民が保有するG空間関連データを自由に組み合わせて利活用できるプラットフォームを構築。
- プラットフォームを民間企業等に開放して、様々な新サービス創出の開発実証に活用。



国立大学法人  
筑波技術大学

G空間×ICT推進会議 (2013.6) 資料より転載



# 地域社会情報システムの総合的しくみづくり

## 業務・サービス連携

- ・ワンストップサービス
- ・業務の複合化

## 地域・広域連携

- ・システム経済化
- ・情報流通の広域化

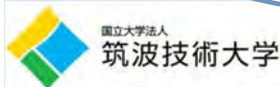
## 市民・行政・企業連携

- ・市民参画
- ・地域活性化

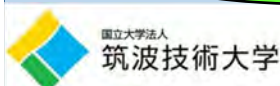
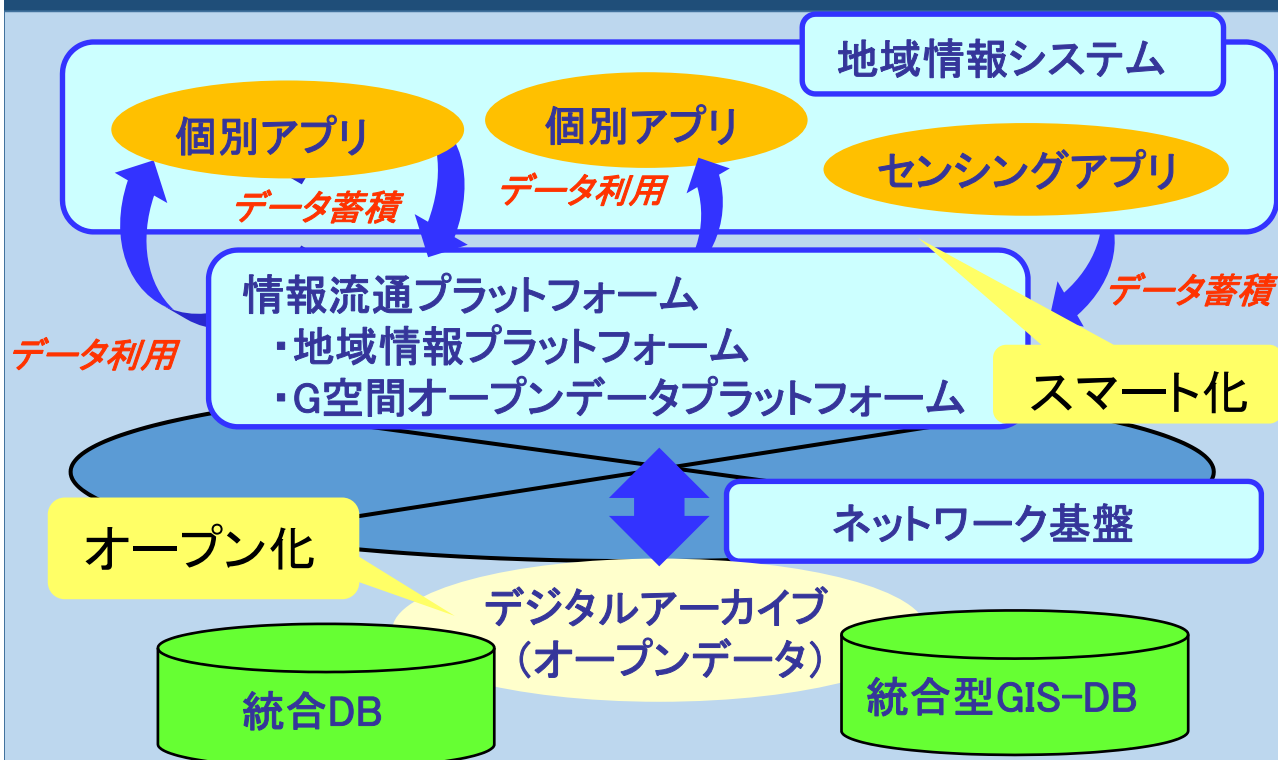
## 自治体クラウド

## 地域情報流通基盤

地域ネットワーク、地域情報プラットフォーム、G空間プラットフォーム



# 総合的データ(情報)流通の考え方



東京大学 空間情報科学研究センター  
「地理空間情報プラットフォーム」共同研究関連資料より、引用改変

# 公共空間における利用者に優しい情報提供の考え方

公共空間における情報提供は、情報の種類(Push情報、Pull情報)、時間経過、利用者属性等の様々な要素が必要。

## 地理空間情報の提供

(情報の基礎、基準点となる固定空間情報の提供・表示)

固定サイン・表示 (標識)

### ①識別系サイン

何か?

施設名、地物名、  
窓口(機能)名等

### ②空間系サイン

どこか?

住所、地区名、道路名等  
(IDとして緯度・経度)

### ③方向系サイン

どこへ?

誘導、目的地等  
(基礎情報として方位)

## リアルタイム・コミュニケーション支援

(時間経過に対応した可変情報の提供・表示)

可変情報掲示板

現状、現場情報収集

事故・緊急事態

## ユニバーサル・コミュニケーション支援

(利用者属性に個々に対応した提供・表示)

情報提供・属性管理

LAN

ユーザー属性登録

ユーザー属性認識

ユーザー属性

ユーザー属性

[文字・画像表示]

[外国語]

変換

PAN

【外国人】

[拡大文字表示]

[骨伝導]

[シンボル]

変換

PAN

【高齢者】

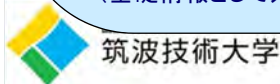
【要援護者】

情報提供・表示  
(シンボル等)

基本情報

統合DB

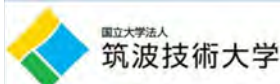
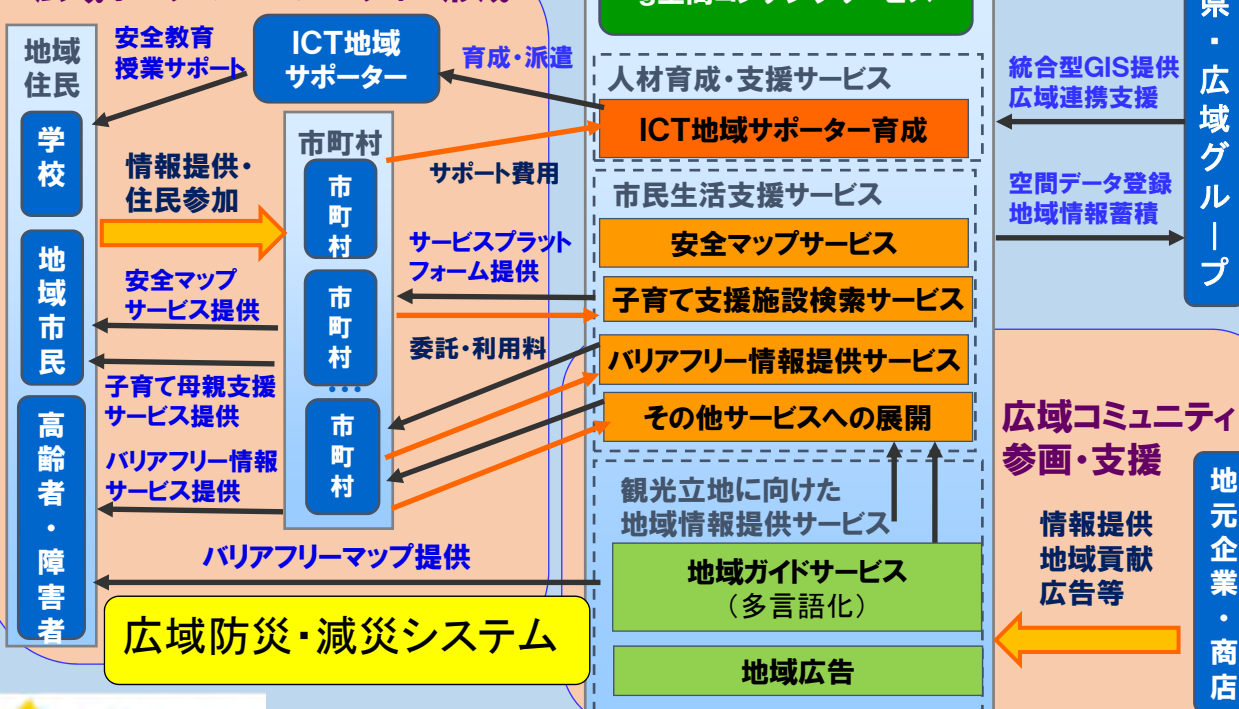
WAN



筑波技術大学

# 広域連携市民生活支援サービスイメージ

## 広域ポータル・コミュニティ形成



筑波技術大学

→ サービス      → 資金・リソース

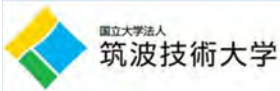
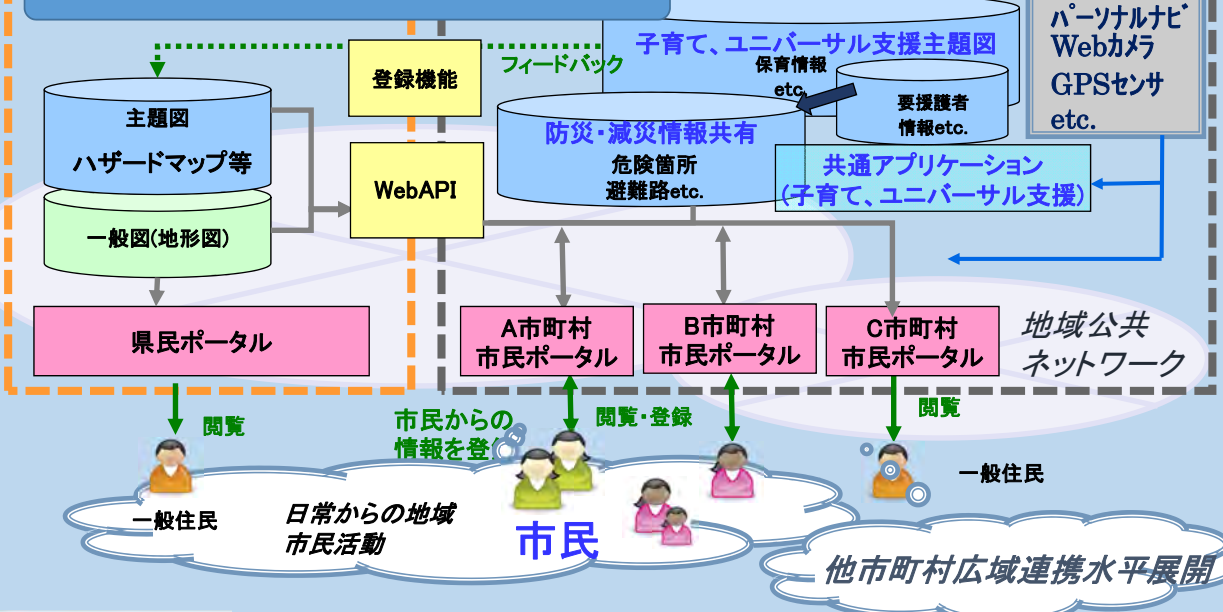


# 広域連携市民生活支援システムイメージ

## 広域連携市民生活支援LBS

(防災・減災、子育て支援、ユニバーサル[高齢者・障害者]支援等)

### G空間オープンデータ・プラットフォーム

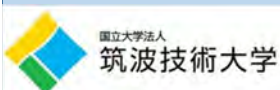
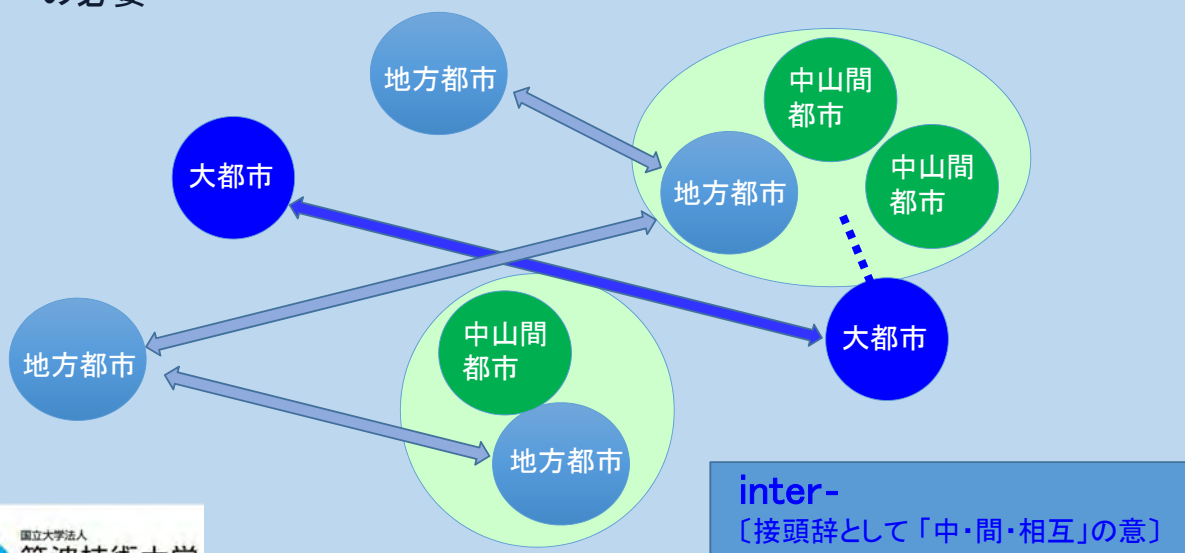


地域生活安心・安全活動

LBS: Location Based Service(空間情報サービス)

# スマートインターシティ(Smart Inter-City)

- ※ 3. 11東日本大震災を教訓とした、防災・減災における広域連携の必要
- ※ 2020 東京オリンピック・パラリンピック開催を機会とした観光立地におけるシームレスな観光情報提供の必要
- ※ 総合的な情報の受発信とデータのオープン化における表現の統一、連携性の必要



# APPLIC-WGにおける遠隔広域連携マッチングの考え方 1

## ICTの安定的な継続性と横展開の促進を目的とする

### (1) 複数団体での利用や団体追加を前提としたサービス構築の促進

- ◆ 「地方公共団体毎に微細な仕様を入念に作りこんだICTシステム」を構築する場合、ソリューションモデルに陥りやすく、横展開が難しく、経年的陳腐化が早いと、運用を継続する事が難しくなりがち。
- ◆ 最初から複数の地方公共団体が必要に応じて柔軟な使い方をすることができるよう、APPLICが仲介する事により、サービス提供者も「数の原理」による展開が可能。

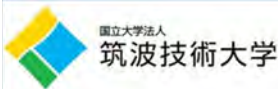
相補的課題  
についても

### (2) 類似課題を持つ離れた自治体同士の共同利用による課題解決の促進

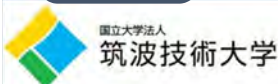
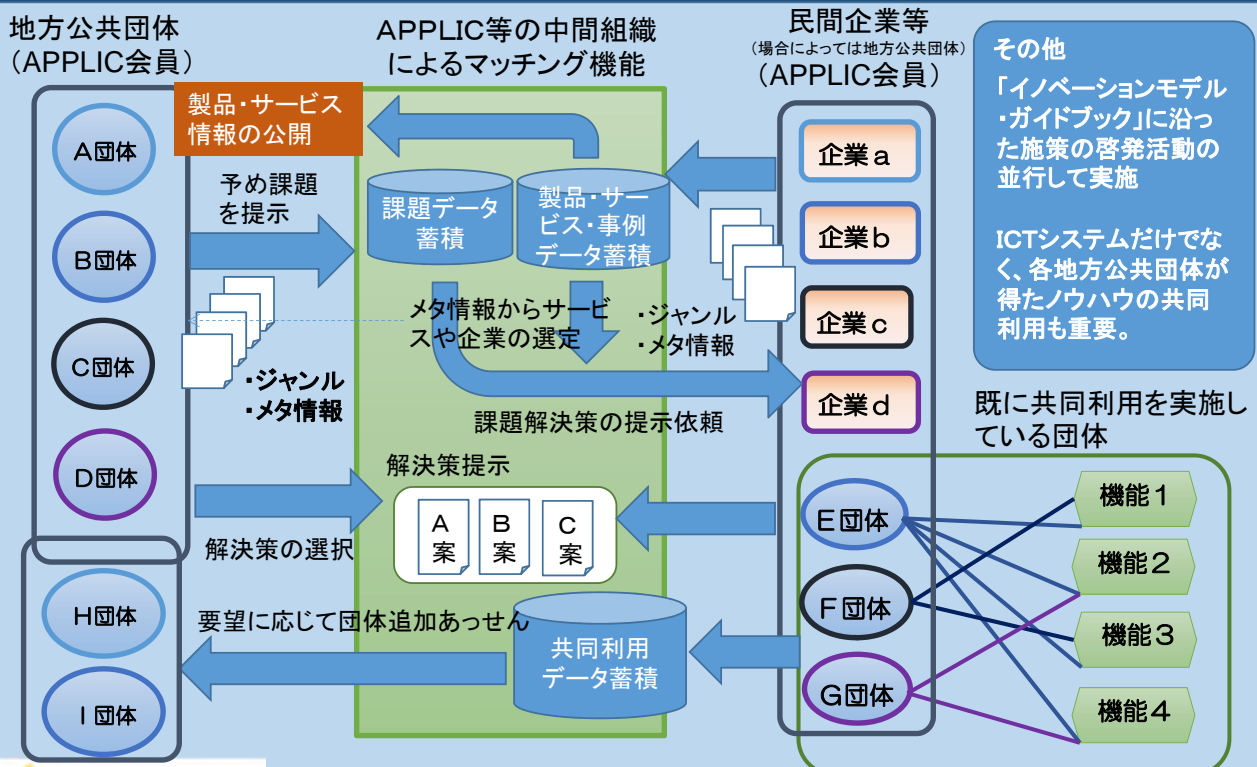
- ◆ 複数団体による共同利用について、現状では近隣の地方公共団体との連携が主流。
- ◆ 近隣だけではなく遠隔で同じ課題を持つ団体が多くあると考えられ、連携したサービス利用することができれば、低コストでの課題解決を図ることが可能。
- ◆ 地方公共団体の課題を収集しながら、必要に応じて課題解決の提示や既設システムへの追加・あわせんといった業務による実現が可能。

### (3) 新規民間サービス参入の促進によるサービスレベルの向上

- ◆ ソリューションモデルで構築されたサービスはそのような運用が困難であるためサービスの陳腐化が激しい。
- ◆ 既存ソリューションサービス間に競争原理が働き、サービスは陳腐化しづらくサービスレベルの向上が期待できる。



## 遠隔広域連携のためのマッチング機能（イメージ）

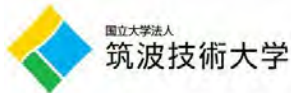


ご静聴ありがとうございました。

ICT地域イノベーション委員会  
地域情報化促進WG 主査  
須田裕之

( 国立大学法人 筑波技術大学 )

e-mail : [suda@a.tsukuba-tech.ac.jp](mailto:suda@a.tsukuba-tech.ac.jp)





## 講演 2

### 「ICTの活用による地方創生に向けて」

総務省 情報流通行政局 地域通信振興課 地方情報化推進室  
室長 梅村 研 氏





# 地方創生に向けたICTの活用方策

2015年11月13日

総務省 情報流通行政局  
地方情報化推進室長  
梅村 研

本日お話しする内容

1

## テーマ 地方創生に向けたICTの活用方策

### 1 IoT／ビッグデータ時代のICT政策

### 2 地方創生とICT

### 3 地方創生に向けた総務省の具体的取組

- 取組① ICTで地方への人の流れをつくる（テレワーク×Wi-Fi）
- 取組② ICTで地域の災害情報入手を容易にする（Lアラート）
- 取組③ 自治体のクラウド化推進によりコスト削減と住民サービス向上を図る
- 取組④ 地域の優良事例を横展開する

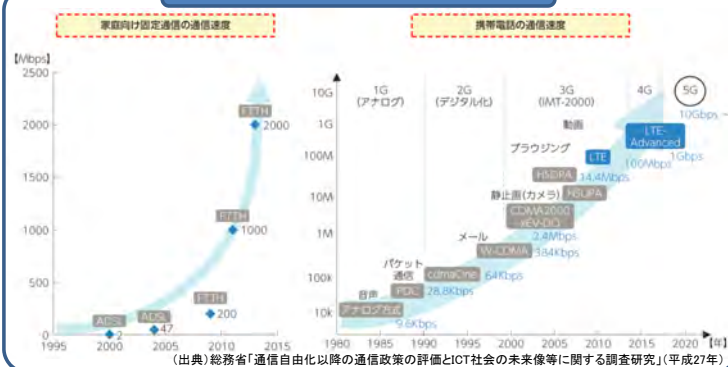
# 1. IoT／ビッグデータ時代のICT政策

## 「IoT／ビッグデータ時代」の到来

3

データ伝送速度はギガビット時代に。インターネットにつながるモノの数も今後も増加の見込み。これに伴いデータの通量が劇的に増加する見込み。

データ伝送速度の飛躍的向上



インターネットにつながるモノの数の推移・予測(世界)

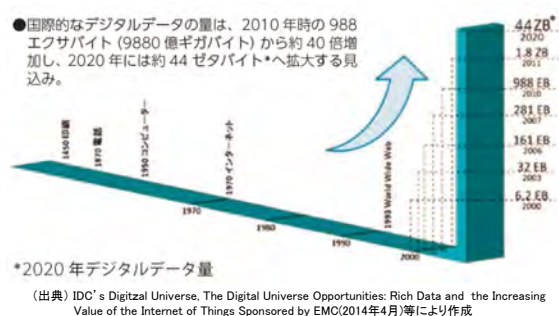


我が国におけるデータ流通量の推移



増加していくデータ量

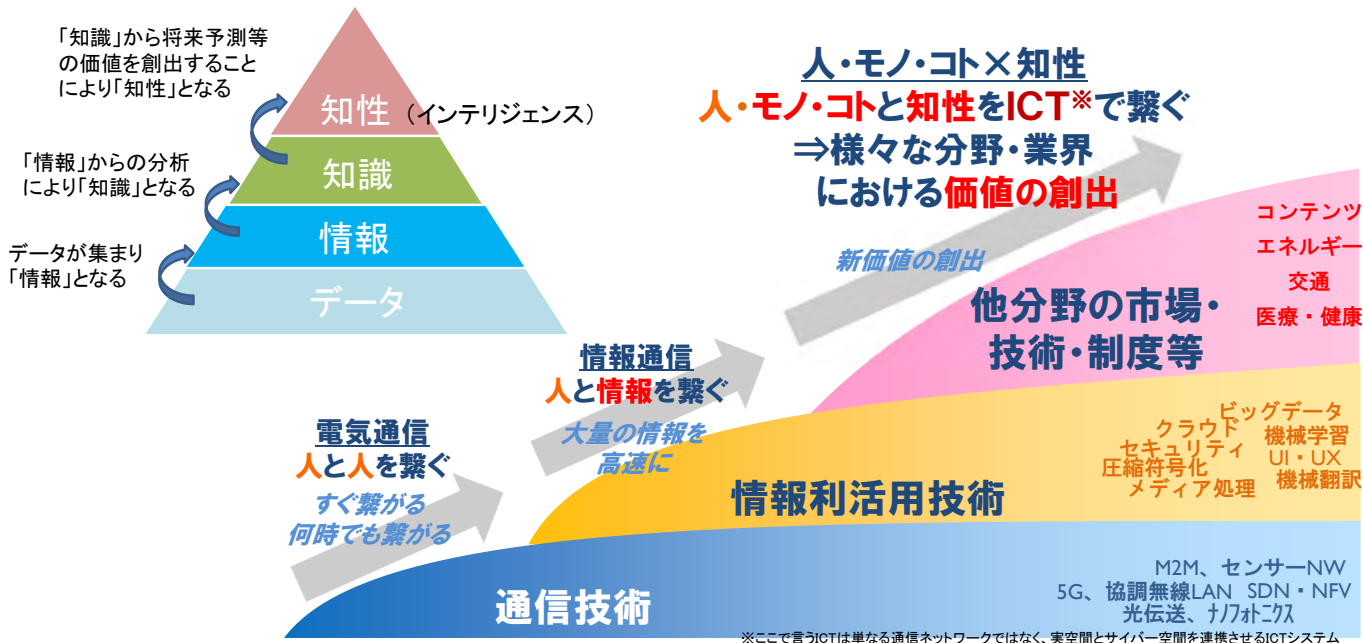
国際的なデジタルデータ量の増加予測



- ICTの役割は、従来の電気通信のように「人と人」を繋ぐ手段から、ブロードバンドの発展により「人と情報」を繋ぐ手段へ発展。
- 今後、ビッグデータと人工知能(AI)による分析・予測の発展により、ICTは様々な分野・業界において「人・モノ・コトと知性」を繋ぎ、新たな価値を創出するものに発展していくと期待されている。

## ビッグデータとAIによる分析・予測の発展

## ICTの役割の拡大



# 新たなICT戦略の方向

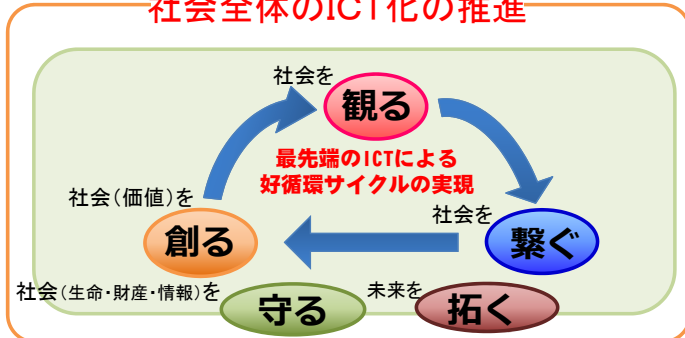
## 世界最先端の「社会全体のICT化」の推進

- 新たな価値創造を可能とする世界最先端のICTとしては、
  - ・ 多様なモノや環境の状況を、センサー等のIoTデバイスや、レーダー等のセンシング技術により把握し（「社会を観る」）、
  - ・ それらからの膨大な情報を広域に収集し（「社会を繋ぐ」）、
  - ・ ビッグデータ解析を行った上で将来を予測し、多様な社会システムのリアルタイムな自動制御等を行う（「社会(価値)を創る」）

ものが必要。さらに、

- ・ 急増するサイバー攻撃からネットワーク、情報・コンテンツや社会システムを守る情報セキュリティ及び国民の生命・財産を守るための耐災害ICT基盤を実現し（「社会(生命・財産・情報)を守る」）、
  - ・ 将来のイノベーションのシーズを育てる先端的な基盤技術を創出する（「未来を拓く」）
- ことが必要。

### 社会全体のICT化の推進



### 世界最先端のICTによる新たな価値の創造

- (例)
- ロボットとの協働による、高齢者、障がい者等多様な社会参加の実現
  - 多言語音声翻訳システムによるグローバルで自由な交流の進展
  - センサー・ビッグデータを活用した、交通・物流等の社会システムの最適制御

■ 総務省は、平成27年9月25日、IoT/ビッグデータ時代に向けた新たな情報通信政策の在り方について、情報通信審議会に諮問。

### 問題意識

- IoT/ビッグデータ時代が到来し、多種多量に収集されるデータの利活用が新しい価値を創造。その成否が、国際競争力・社会的課題の解決のみならず、生産性の向上や成長分野への投資を通じた雇用の創出にとって決定的に重要。
- こうした経営革新・社会変革を実現するため、IoT/データのオープン化、プライバシー・セキュリティへの対応等の課題を解決するとともに、IoT時代に即したネットワークの在り方、国際的なルールづくりについて集中的に検討する必要。

#### 《諸外国の動き》

- 米国では、NIST(国立標準技術研究所)等が旗振り役を務める産官学の推進体「Global City Teams Challenge」や、主要ICT企業が設立する「Industrial Internet Consortium」が、テストベッドの運用や知見の共有等を実施。
- ドイツでは、連邦政府(経済、教育等)が参加する推進体「Industrie 4.0」が普及促進等を実施。政府は、研究開発・標準化等を支援。

### 答申を希望する事項

- IoT/データによる経営革新・社会変革の実現方策
- IoTを支える情報通信インフラ整備の在り方
- IoT時代に対応した国際連携の在り方
- その他必要と考えられる事項

### スケジュール

平成27年9月25日に情報通信審議会諮問  
平成27年12月頃を目途に中間まとめ(1)を希望  
平成28年3月頃を目途に中間まとめ(2)を希望  
平成28年6月頃を目途に答申を希望

### アウトプット

- 必要に応じて、制度整備・予算等に反映
- 来年4月に高松で開催されるG7情報通信大臣会合及び伊勢志摩サミットに反映

## 情報通信審議会 情報通信政策部会 IoT政策委員会 委員名簿

氏名	主要現職
主査・臨時委員 村井 純	慶應義塾大学環境情報学部 教授
委員 谷川 史郎	株式会社野村総合研究所 理事長
〃 森川 博之	東京大学先端科学技術研究センター 教授
専門委員 青野 慶久	サイボウズ株式会社 代表取締役社長
〃 阿部 展久	株式会社みずほフィナンシャルグループ インキュベーションPT PT長
〃 猪子 寿之	チームラボ株式会社 代表取締役社長
〃 岩田 一政	公益社団法人日本経済研究センター 理事長
〃 内永 ゆか子	NPO法人J-Win 理事長
〃 栄藤 稔	株式会社NTTドコモ 執行役員
〃 加賀 邦明	株式会社地球快適化インスティテュート 代表取締役社長
〃 加藤 百合子	株式会社エムスクエア・ラボ 代表取締役社長
〃 越塚 登	東京大学大学院情報学環 教授
〃 砂田 薫	国際大学GLOCOM 主幹研究員・准教授
〃 竹村 詠美	Peatix Inc. 共同創業者/Peatix Asia Pte. Ltd. マネージングディレクター
〃 玉置 肇	株式会社ファーストリテイリング 執行役員
〃 光行 恵司	株式会社テンソー 情報企画部 部長
〃 宮坂 学	ヤフー株式会社 代表取締役社長
オブザーバ 犬童 周作	内閣官房 情報通信技術(IT)総合戦略室 参事官
	荒井 勝喜 経済産業省 商務情報政策局 情報政策課長
※ その他関係省庁(調整中)	



我が国の経済・産業・生活を支える基盤であるICTサービス・インフラの高度化・利活用促進(「社会全体のICT化」の推進)により、多様な課題の解決及び持続的経済成長を実現。

## 1. ICTによる地方創生(地域の雇用拡大、経済活性化)

- ①地域のICT基盤整備(ブロードバンド、モバイル、無料公衆無線LAN等)
- ②ICT街づくり等の成功モデルの横展開(鳥獣被害対策等)
- ③「ふるさとテレワーク」の普及展開

## 2. 新たなイノベーションの創出に向けたICT化の推進

- ①訪日観光客拡大に向けた環境整備  
多言語音声翻訳対応の拡充(精度向上、普及展開等)、デジタルサイネージの高度化(緊急情報一斉配信、スマホ連携)
- ②4K・8Kによる新たなサービスの実現、5G等の世界最高レベルのICT基盤の実現
- ③G空間2.0(G空間情報の幅広い分野での活用)

## 3. IoT時代への対応、ICTによる社会的課題解決

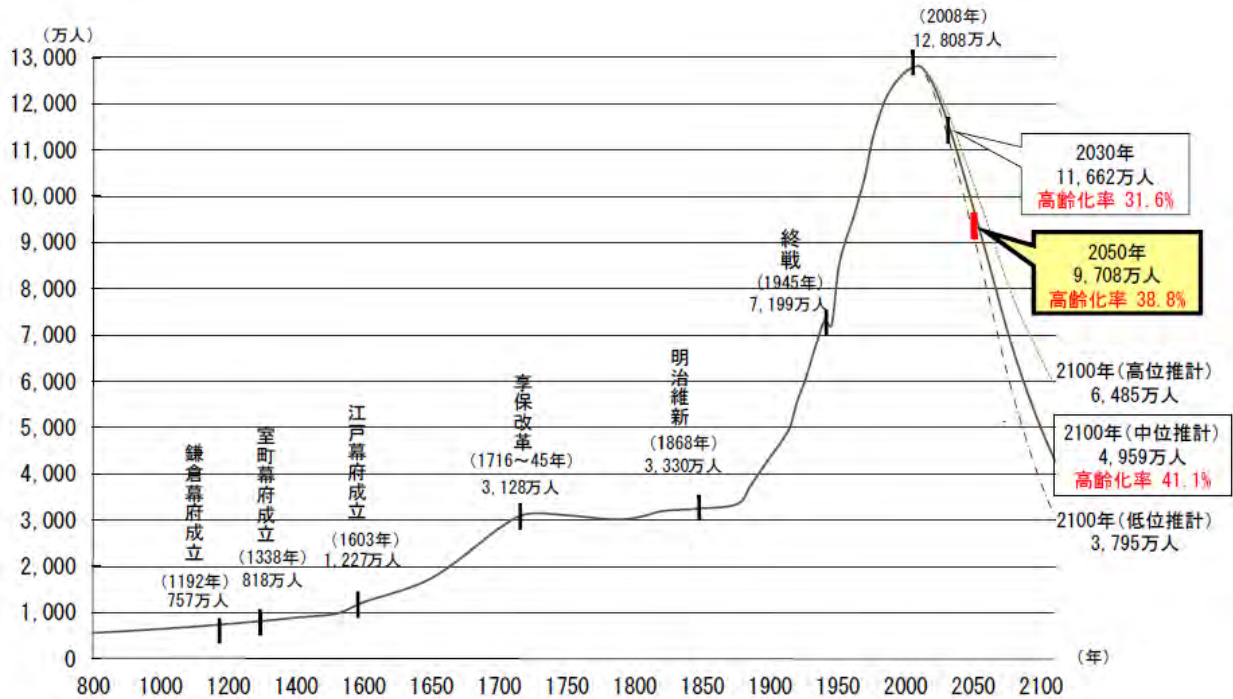
- ①産学官連携によるIoT推進体制の構築、ロボットや人工知能による行動支援(自動走行、自動制御等)
- ②個人番号カード等の利活用促進
- ③世界一安全なサイバー空間の実現(官民連携体制の構築、大規模サイバー演習の実施)
- ④医療・教育分野等におけるICTの活用(プログラミング教育の推進等)

## 4. ICT国際競争力強化、国際展開

- ①(株)海外通信・放送・郵便事業支援機構の活用
- ②先進的ICTシステムのパッケージ展開(地デジ、防災ICT、郵便等)
- ③テレビ国際放送の充実・強化、放送コンテンツの海外展開

## 2. 地方創生とICT

- 日本の総人口は、2008年の1億2808万人をピークに減少に転換。
- 中位推計で2050年に9708万人となり、2100年には明治時代の水準となる見通し。



(出典)総務省「国勢調査」、国土庁「日本列島における人口分布の長期時系列分析」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」

## 地方創生に向けた国・地方の動き

- 人口急減・超高齢化という我が国が直面する課題に対し、各地域が特徴を活かした自律的で持続的な社会を創生できるよう、政府一体となって「**まち・ひと・しごと創生**」に係る取組みを推進。

平成26年9月 内閣に**まち・ひと・しごと創生本部**設置、**地方創生の基本方針**を決定

- 基本方針(抜粋) 地方が成長する活力を取り戻し、人口減少を克服する。  
そのために、国民が安心して働き、希望通り結婚し子育てができ、将来に夢や希望を持つことができるような、**魅力あふれる地方を創生し、地方への人の流れをつくる。**

平成26年11月 **まち・ひと・しごと創生法**の成立、公布・施行

平成26年12月 「**まち・ひと・しごと創生**」の**長期ビジョン**と**総合戦略**の閣議決定

- 総合戦略(抜粋) 地方への新しいひとの流れをつくる(現状:東京圏年間10万人入超)  
◇ 地方・東京圏の転出入均衡(2020年)  
\* 地方→東京圏転入 6万人減  
\* 東京圏→地方転出 4万人増

~平成27年度末 「**地方人口ビジョン**」、「**地方版総合戦略**」策定

(衆・地方創生特別委・地方公聴会(2014/10/22)における質疑)

## ○石田(祝)委員

行政とか政治に、この部分だけは整備してくれ、その上で我々が努力をすることで必ず成功はできる、こういうことをおっしゃったように思いますけれども、最低限これだけは整備してくれ、こういうことがありましたら、お二人に順次伺いたいと思います。

## ○大南信也君(特定非営利活動法人グリーンバレー理事長)

今、結構いろいろなことが、サテライトオフィスというので中心に回って、そこから雇用を生み出してという形になっています。それで、現時点では、飯泉知事を先頭にITインフラをつくってくれてあるので、とにかくこれを活用しながらいいところを伸ばしていこうというところかなと思います。

## ○横石知二君(株式会社いろどり代表取締役社長)

ICTだと思います。やはり、東京と地方との、同じ環境をつくれるのはICTです。東京にいても地方にいても、ICTは同じ空間をつくることができます。

(中略)上勝町は世界一高齢者がコンピューターを使う町です。高齢者は使えないと思っていますけれども、使えるんですね。(中略)今、台風が来ると、タブレット端末とかコンピューターを出してきて、アメダスを見て、何時から何時まで雨が少なくなるか、何時だったら自分は畑にとりに行けるか、何時に飛行機が飛んできて徳島空港に着陸するか、明石大橋が何時に通行が開始されるか、これをICTで見ているんですね。これをおばあちゃんたちはやります。

こういう、受け身でなくて攻めに立ったICTの利活用ができると、ICTというのは、これほど強いものはありません。ビジネスとしても成功する可能性は非常に高いです。でも、それを利活用する力というか、キーボードは気持ちの気で、その気を起こさせることができなければ、地方ではビジネスとして、仕事として成り立ちません。だから、同じ空間で仕事をできるということは、絶対にICTの利活用、どうまくICTを使って、それをビジネスとして活用するかということにかかっていると私は思います。

# 地方総合戦略におけるICT利活用施策の例 (平成27年3月末時点)

## ○長野県 塩尻市 (産業、農業、教育、防災、行政、雇用等)

項目	関連施策
・基幹産業の育成・支援	・機械・電子関連及びICT関連などの基幹産業を強化
・農業の収益・効率の改善	・ICTを活用した農業の高度化、鳥獣被害の防除
・子どもの基礎学力の向上	・ICTを活用した教育の推進、教職員ICT研修の推進
・緊急時の情報収集、伝達体制の充実	・デジタル移動系防災行政無線の整備
・行政サービス、業務効率の向上	・マイナンバー制度に対応したシステム改修、業務の検討
・地域の課題解決	・市のオープンデータを活用し市民や企業と連携した課題解決のビジネスモデルの構築
・雇用機会の創出	・ICT街づくりの推進 ・テレワークの活用

## ○京都府 京丹後市 (雇用、産業、観光、交通)

項目	関連施策
・企業の誘致、地元就労の拡大	・サテライトオフィス整備支援 ・テレワークサポートセンターの整備 ・雇用型在宅型テレワークの普及拡大 ・市役所内でのテレワーク実証実験 ・テレワークを活用した地域資源型ビジネスモデルの実施 ・公衆無線LANの環境整備
・公共交通空白地の解消	・利便性の高い公共交通(鉄道・バス・タクシー)活用システムの確立

## ○三重県 (教育、産業、人材)

項目	関連施策
・中山間・過疎地域等における教育体制の確保・充実	・ICTを活用した学習活動の推進
・産業の振興、多様な人材の確保	・ICT・ビッグデータの活用

## ○鳥取県 (観光、インフラ、子育て・教育)

項目	関連施策
・観光振興	・情報収集・Wi-Fiなど案内環境の充実
・社会基盤の充実	・光ファイバー網等の整備・更新、LTE利用環境充実、鳥取情報ハイウェイの利活用
・魅力ある子育て環境創出	・ICT活用教育の推進

---

## 3. 地方創生に向けた総務省の具体的取組

---

取組①  
ICTで地方への人の流れをつくる  
(テレワーク×Wi-Fi)

## ◆ 地方創生にICTは必要不可欠。

【参考】(株)いんどり・横石知二社長:「東京と地方とを同じ環境にするという意味で、ICT環境の充実は不可欠」(衆・地方創生特別委・地方公職会(10/22))

【参考】「距離は死に、位置が重要になる」(『2050年の世界〜英エコノミスト誌は予測する〜』英エコノミスト編集部)

## ◆ 地域情報化の取組を通じ、ICTによる地域活性化や地域課題解決には一定の成果を達成。

## ◆ しかし、「地方への人の流れをつくる」といった大きな潮流を呼び起こすには至っていない。

地方へのひとの流れ

### 地方における定住・移住を増やす

- 地方で雇用を得て、安心して働ける
- 家族も安心して生活し、出産や育児ができる

### 地方への訪問者を増やす

- 地方の魅力に関する情報が、簡単に手に入る
- 仕事や観光で、安心して地方を訪問できる

ICT政策の方向性

### テレワークを中核としたICT利活用

- テレワークで、いつでもどこでも働ける
- 生活に直結するサービスも、遠隔で確保される  
(医療、福祉、教育、買物、行政手続など)

### Wi-Fiで補完する便利なICT基盤

- 地方の情報が、スマホ等で多言語で収集できる
- 訪問先での災害時も、情報がしっかり入ってくる

### ふるさとテレワークの推進

- 地方への人の移住を実現する「ふるさとテレワーク」の全国展開を推進

### Wi-Fi環境の全国整備

- 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、Wi-Fi環境を全国的に整備

※平成27年5月「地方のポテンシャルを引き出すテレワークやWi-Fi等の活用に関する研究会」報告書において提言

# テレワーク等による地方居住の成功事例(徳島県神山町モデル)

## サテライトオフィスを活用して、定住促進・人口増加を実現した全国唯一の成功事例

### 【主な成功要因】

- ① 全国屈指の高速ブロードバンド環境を早くから実現
- ② メンターの存在(地元出身のNPO法人 大南理事長の存在)
- ③ 空港からの距離の近さと災害に強い地盤との評価
- ④ 古民家改修費や通信費等に対する県の手厚い支援
- ⑤ 地元で雇用できる優秀な人材の宝庫
- ⑥ 明確なコンセプト(「創造的過疎」)と気負いのない対応(お遍路文化)



古民家や蔵を改装したサテライトオフィス

### 芸術家や映像クリエイターの移住を皮切りに 首都圏のICTベンチャー系企業\*を対象に本格展開

※クラウドサービス企業、情報配信サービス企業、  
Webデザイン企業、デジタルコンテンツ制作企業等

徳島県内4市町\*に、27社が22拠点に進出  
52名の地元雇用を創出

※神山町、美波町、  
三好市、徳島市

3年間で76世帯113名が移住 (徳島市を除く)

神山町ではH23にS45以降、初めて「社会増」が「社会減」を超過  
(3年間で51世帯81名が移住)

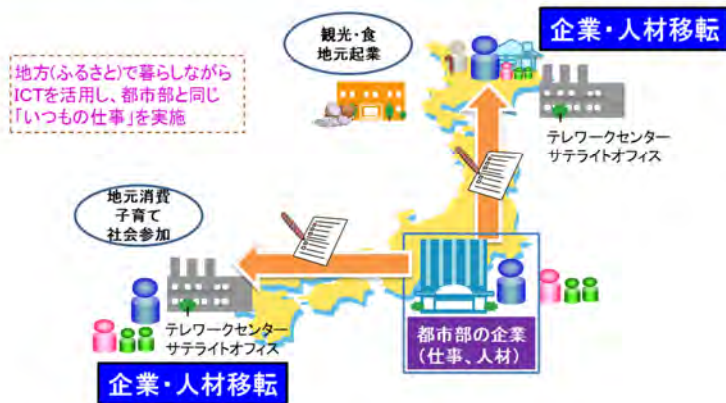
神山町は、総務省からの支援により、  
・基盤整備事業(H12、16年度に総額約3億円、神山町の地域公共ネットワーク等を整備)、  
・利活用事業(H19~21年度に総額約9千万円、神山ワーク・イン・レジデンスのWebシステム等を整備)を実施



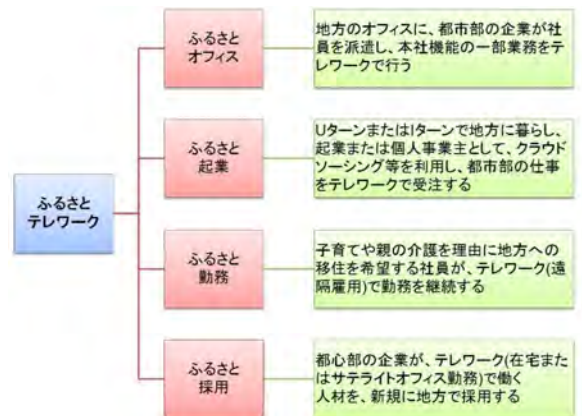
■ 企業や雇用の地方への流れを促進し、**地方でも都会と同じように働ける環境を実現**する「ふるさとテレワーク」を推進するため、ふるさとテレワークを導入する全国の自治体等に対して、導入経費の支援を行う。

【28年度要求】 9.0億円

ふるさとテレワーク推進事業のイメージ

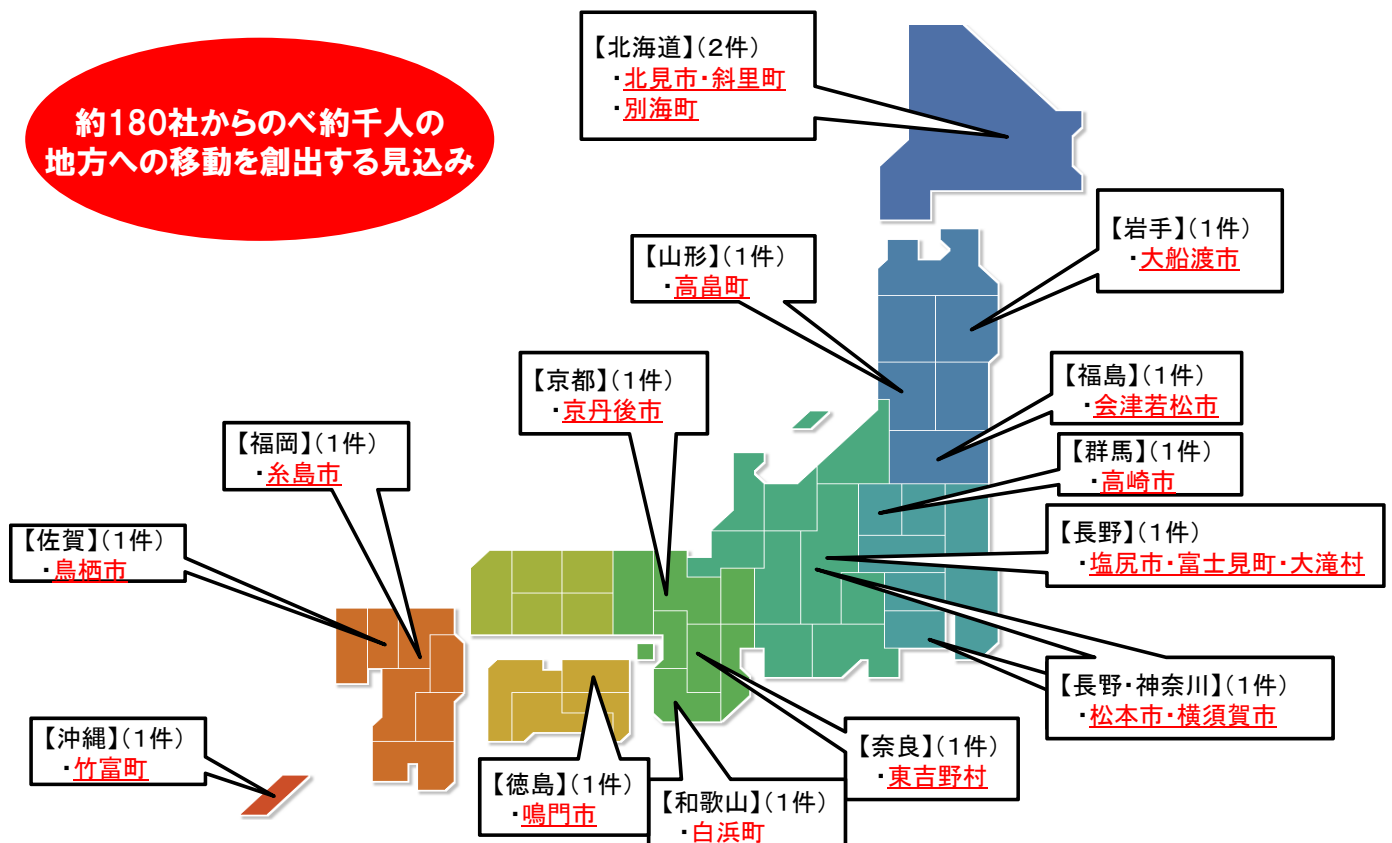


ふるさとテレワークの形態(想定)



「ふるさとテレワーク」の実施地域

約180社からのべ約千人の地方への移動を創出する見込み



フューチャーブランド社(米国のブランドコンサルティング会社)  
「カントリーブランドインデックス(国家ブランド指数)」  
(2012-13)ランキング

総合ブランド	観光ブランド
1. スイス	1. イタリア
2. カナダ	2. <b>日本</b>
3. <b>日本</b>	3. フランス
4. スウェーデン	4. スイス
5. ニュージーランド	5. 米国
6. オーストラリア	6. カナダ
7. ドイツ	7. ドイツ
8. 米国	8. タイ
9. フィンランド	9. モーリシャス
10. ノルウェー	10. オーストラリア

日本のブランド力は世界トップクラス

「いつか行きたい日本」から  
「今行きたい日本」へ!

出典: 日本政府観光局 (JNTO)

「NHK海外情報発信強化に関する検討会 (第2回)」  
赤坂理事長 (公財) フォーリン・プレスセンター) 資料より抜粋

## 観光の経済規模

観光の名目GDP構成比は5% (平成24年)

↓  
建設業の規模に相当

観光の雇用誘発効果: 399万人  
(全就業者の6.2%) (平成24年)

我が国の国内における旅行消費額に占める  
インバウンドの割合: 6% (平成24年)  
(参考) フランス: 34%、英国: 17%、韓国: 47%

経済活動別名目国内総生産(GDP) 平成24年暦年

	単位: 兆円	構成比
観光	24	5%
農林水産	6	1%
金融・保険	22	5%
建設	27	6%
...		
総計	474	

「地方のポテンシャルを引き出すテレワークやWi-Fi等の活用に関する研究会 Wi-Fi整備推進ワーキンググループ (第2回)」  
加藤構成員 (日本政府観光局 (JNTO) 理事) 資料より抜粋

## 無料公衆無線LANの展開による成功事例(福岡市モデル)

### 観光振興、新事業創出等に寄与

(福岡県福岡市のFukuoka City Wi-Fi)

○福岡市は誰でも使える無料Wi-FiをH24年4月に開始し、地下鉄・JRの駅、空港、バスターミナル等の交通拠点や観光拠点など、78拠点、348アクセスポイントで展開。

○多言語対応(5言語)による観光情報発信、簡素な認証、官民による協働、海外とのローミング等の先進的なサービスを全国に先駆けて提供。

○災害時には認証手続なしで無料開放。



### ○市民や観光客による積極的な利用

- ・平均アクセス回数は約46,000回/日
- ・外国語の平均閲覧回数は約12,000回/日、導入当初比約21倍
- ・利用者の満足度は82% ※数字はいずれも平成27年1月 月間実績

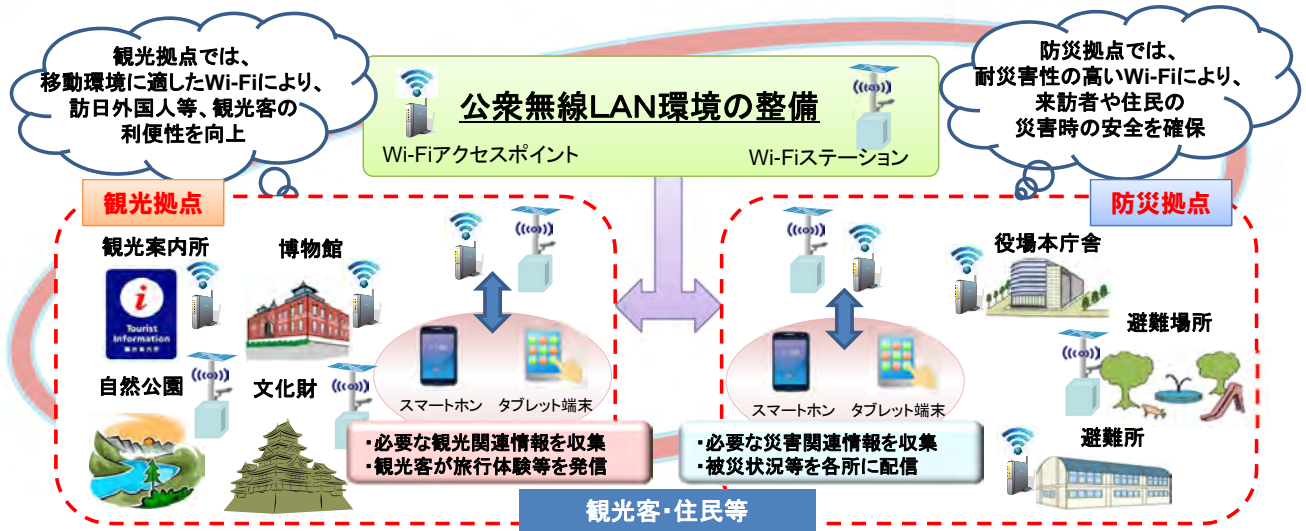
### ○観光振興、新事業創出等への寄与

- ・入込観光客数は1,782万人 (H25) と、過去最高を達成
- ・国際コンベンション開催件数は東京に次ぐ2位
- ・国家戦略特区にも指定され、新規ビジネス創出に向けた外国人向け観光サービス実証を実施



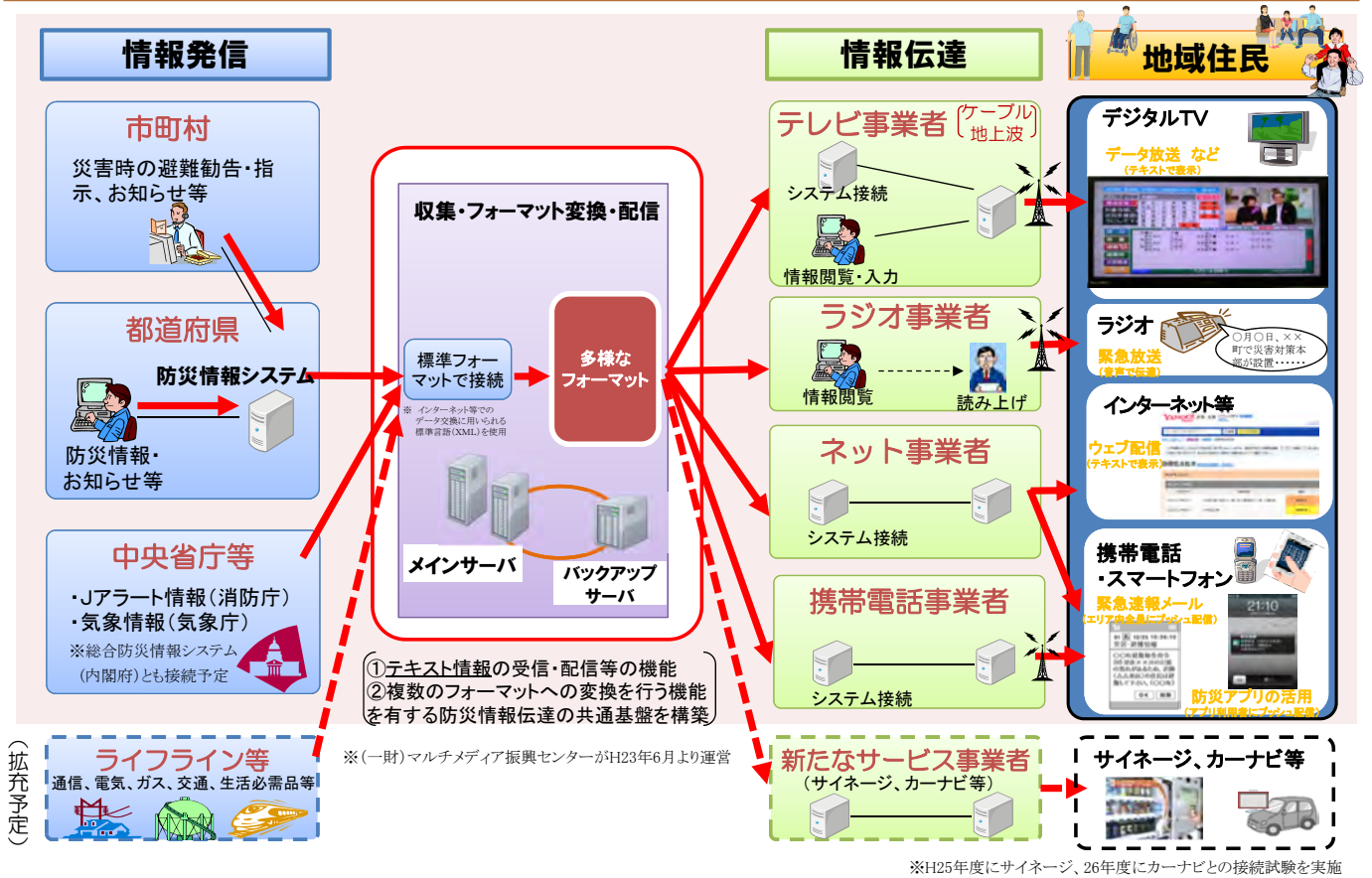
■ 訪日外国人に強いニーズが存在する無料公衆無線LAN環境について、地域活性化の観点から、**地方公共団体等が観光・防災拠点における公衆無線LANの整備**を行う場合に、その事業費の一部を補助する。

【平成28年度要求】 10億円

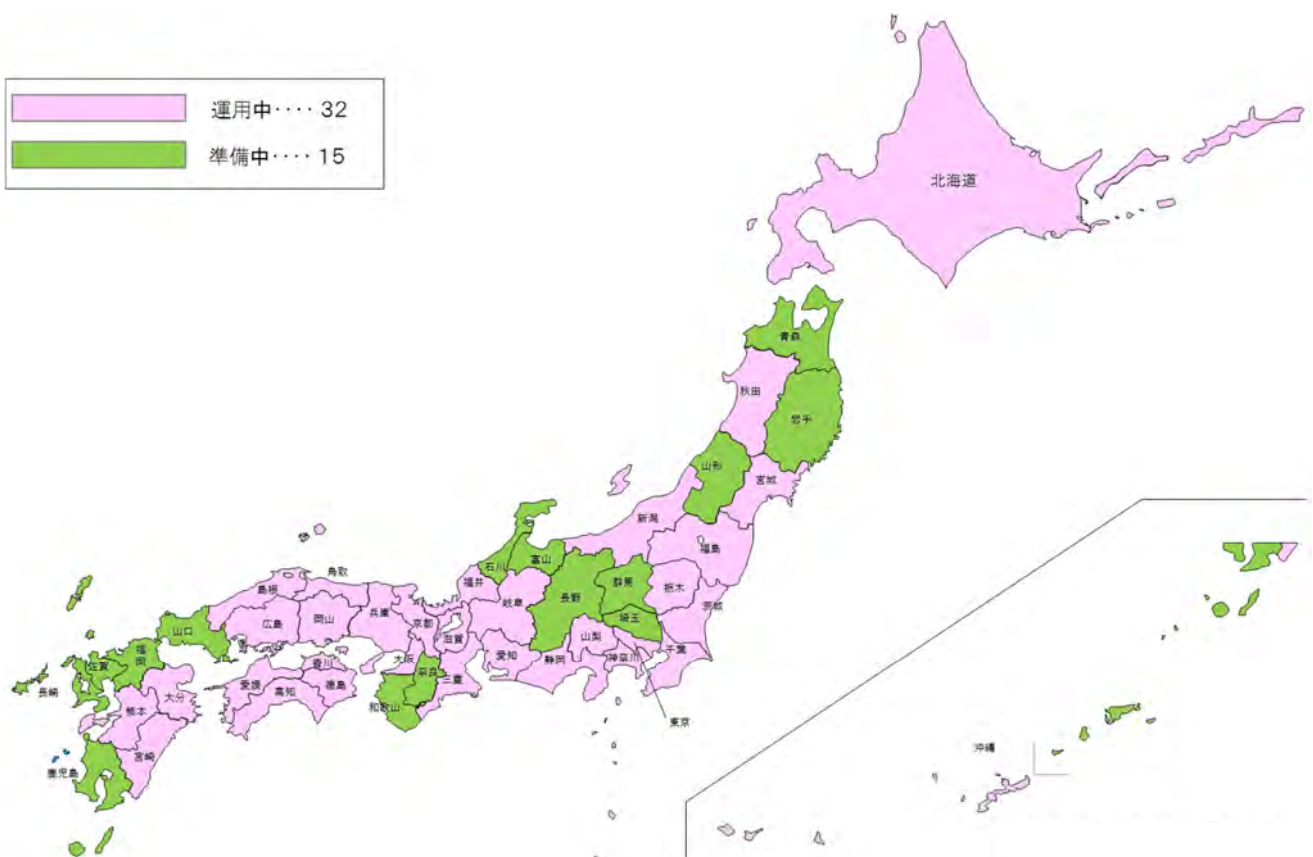


## 取組② ICTで地域の災害情報入手を容易にする (Lアラート)





## Lアラートの全国の運用状況(平成27年7月1日現在)



## 1. 合同訓練の趣旨

- Ｌアラートの活用には、自治体・メディア等が連携して平時から運用に習熟しておくことが必要。
- 各県合同で訓練を行うことにより、全国的な訓練の機会を提供し、県域を超えた情報共有の経験を深めるとともに、国民向けの広報強化や新たな利活用方法の実証にも活用可能。
- 平成25年6月に初めて実施し、27年に3回目を実施。NHK、民放や全国紙・地方紙等で大きく報道。

## 2. 26年度合同訓練の様相

- 16都道府県が避難指示等の訓練情報を発信。
- 各種メディアが訓練情報を実際に伝達。
  - ・データ放送への表示(NHK、民放)
  - ・訓練用ポータルサイトへの表示(ヤフー)
  - ・カーナビ等への表示実証(ITS Japan、静岡市)
- 全国14か所で開催会を実施。(総合通信局主催)



Ｌアラート情報を表示

### 静岡市でのデモの様子

ITS Japanが静岡市葵区にて、カーナビやスマホにＬアラート情報を表示する実験を実施。

## 3. 27年度合同訓練の様相

- 27都道府県が避難指示等の訓練情報を発信。
- 各種メディアが訓練情報を実際に伝達。
  - ・データ放送への表示(NHK、民放)
  - ・訓練用ポータルサイトへの表示(ヤフー)
- 周知啓発を兼ねたイベントを実施。
  - ・藤沢市のスマートタウンでの表示実証
  - ・名鉄百貨店前におけるデモ
  - ・ケーブルテレビ向け閲覧会 等



### 藤沢市(Fujisawa SST)でのデモの様子

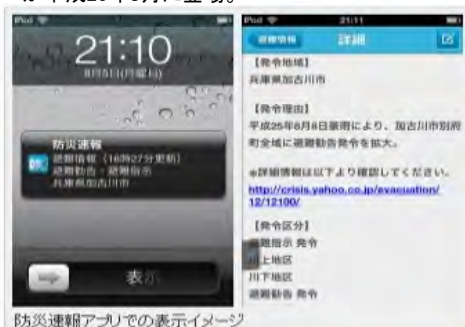
家庭の大画面テレビ(パーソナルサイネージ)に強制起動により、Ｌアラート情報を表示する実験を実施。

(注) SST:  
サスティナブル・スマートタウン

# Ｌアラートを活用した民間サービスの創出例

### <Yahoo! JAPAN「防災速報」>

・自治体を指定(最大3つ)することにより、その自治体に関連する災害関連情報等(Ｌアラート等)により入手を一元的に表示するスマホアプリが平成25年8月に登場。



防災速報アプリでの表示イメージ



スマートフォン版Yahoo!トップページでの表示イメージ

### <全国避難所ガイド ファーストメディア(株)>

・災害発生時にＬアラートの避難情報を配信し、最寄りの避難所に避難誘導するスマホアプリ(全国避難所ガイド)が平成26年12月に登場。多言語にも対応済み。



### <ExTravel (株)協和エクシオ>

・平時は観光ガイドに利用され、災害時は災害モードに切り替わり、Ｌアラートの避難情報を利用した避難誘導を行うスマホアプリが平成26年8月に登場。多言語にも対応済み。



# 取組③

## 自治体のクラウド化推進により コスト削減と住民サービス向上を図る

### 自治体のクラウド化に係る政府方針

29

「世界最先端IT国家創造宣言」(平成27年6月30日閣議決定)等においては、自治体の業務システムのコスト削減に向けて**2017年度までを集中期間と位置付け、クラウド化の取組を加速化**することとされている。

#### 「経済財政運営と改革の基本方針2015」(平成27年6月30日 閣議決定)

第3章 「経済・財政一体改革」の取組—「経済・財政再生計画」

5 主要分野ごとの改革の基本方針と重要課題

[3]地方行財政改革・分野横断的な取組等

(IT化と業務改革)

地方公共団体においても業務の簡素化・標準化、及びそれらと併せた**自治体クラウドの積極的展開**など、業務改革の抜本的な取組を加速化し、**行政コスト低減を図る。**

#### 「日本再興戦略」改訂2015(平成27年6月30日 閣議決定)

第二 3つのアクションプラン

一. 日本産業再興プラン

4. 世界最高水準のIT社会の実現 (3)新たに講ずべき具体的施策 (4)国・地方の行政のIT化と業務改革

地方公共団体の情報システム改革を推進するとともに、自治体クラウド未実施の団体においては、業務の共通化・標準化を行いつつ、**自治体クラウド導入の取組を加速することにより、当該情報システムのコスト削減を図る。**また、自治体クラウド導入団体にあっても更なる業務の共通化・標準化の実施によるクラウド化業務範囲の拡大等クラウドの質の一層の向上を図る。これらを通じて、**地方公共団体の情報システムの運用コストの圧縮(3割減)を図るとともに、更なるコスト削減に向けた方策や質の向上策について、来年夏に結論を得るべく、検討を進める。**

#### 「世界最先端IT国家創造宣言」(平成27年6月30日 閣議決定)

Ⅲ. 目指すべき社会・姿を実現するための取組

4. ITを利活用した公共サービスがワンストップで受けられる社会 (3)国・地方を通じた行政情報システムの改革

自治体クラウドについても、**2017年度までを集中取組期間と位置付け、業務の共通化・標準化を行いつつ、地方公共団体における取組を加速する(自治体クラウドを中心にクラウド導入市区町村の倍増を目指す。)**。さらに、国の「政府情報システム改革ロードマップ」の進捗を受け、地方公共団体の情報システム改革を推進する。これらの取組により、**地方公共団体の情報システムの運用コストを圧縮する(3割減を目指す。)**。

(～中略～) 自治体クラウド未実施の団体においては、業務の共通化・標準化を行いつつ、**自治体クラウド導入の取組を加速することにより、当該情報システムのコスト削減を図る。**また、自治体クラウド導入団体にあっても更なる業務の共通化・標準化の実施によるクラウド化業務範囲の拡大等クラウドの質の一層の向上を図る。これらを通じて、**地方公共団体の情報システムの運用コストの圧縮(3割減)を図るとともに、更なるコスト削減に向けた方策や質の向上策について、2016年夏に結論を得るべく、検討を進める。**

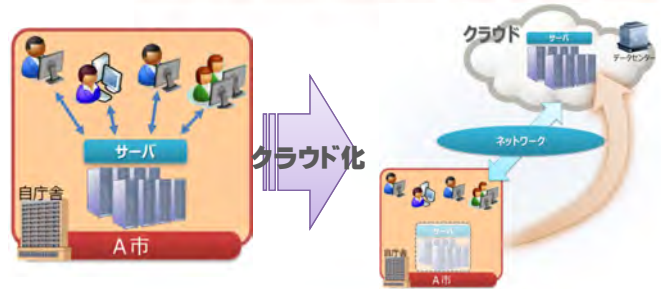


## 自治体におけるクラウド化の取組

- ◆ 地方公共団体の業務システムのハードウェア、ソフトウェア、データなどを自庁舎で保有・管理することに代えて、外部のデータセンターにおいて運用・管理し、ネットワーク経由で利用することができるようにする取組

## クラウド化のメリット

- ◆ システム運用経費の削減、職員業務負担の軽減
- ◆ 情報セキュリティの向上
- ◆ 災害に強い基盤構築（データのバックアップの確保、災害発生時等の業務継続性）



## 総務省の取組み(28年度要求施策)

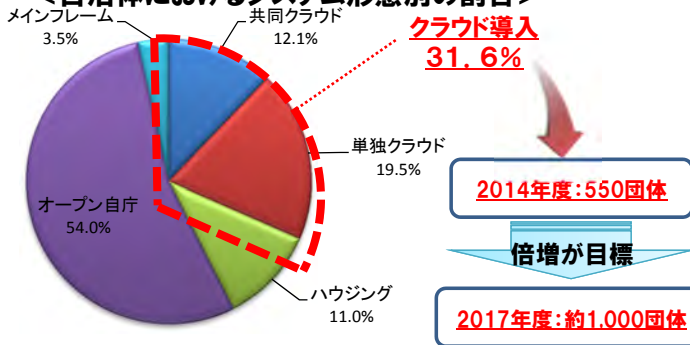
- ◆ 自治体クラウド(複数団体での共同クラウド化)の取組の加速に向けた調査研究等
  - 7億円(27年度 0.4億円)【自治行政局】
  - ・自治体クラウドの取組を積極的に展開するため、自治体クラウドグループの取組事例について 深掘り・分析し、今後導入する自治体の取組に資するよう整理・類型化する等の調査研究等を実施
  - ※このほか、共同化計画策定、データ移行、導入コンサルタント費用、実務処理研修費用に対する地財措置も実施。
- ◆ 多様なクラウド環境下における情報連携基盤構築事業 3.2億円(27年度 0.3億円)【情報流通行政局】
  - ・政令指定都市などの大規模自治体を中心としたクラウド推進に係る技術的課題を検討し、システム標準の策定・検証等を実施

# 大規模自治体のクラウド化の遅れとそのクラウド化の必要性

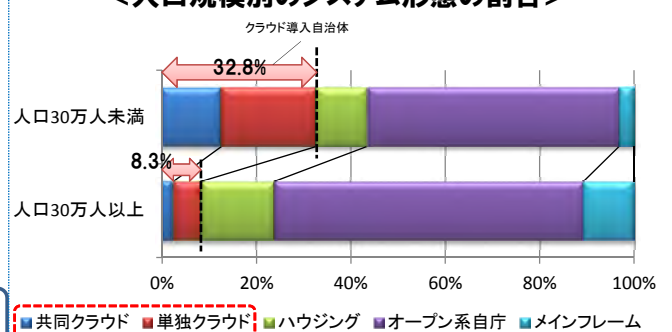
- ◆ 全自治体のうち、クラウド導入自治体は31.6%。
- ◆ クラウド導入自治体は、人口30万人未満では32.8%であるのに対し、人口30万人以上(大規模自治体)では8.3%。

➡ 大規模自治体におけるクラウド導入は、十分に進展していない。

<自治体におけるシステム形態別の割合>

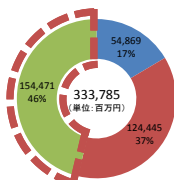


<人口規模別のシステム形態の割合>



- ◆ 大規模自治体が、全自治体における情報システムコストの約5割を占有。
  - ➡ 「世界最先端IT国家創造宣言」が掲げる「自治体の情報システムの運用コストの圧縮(3割減)」を実現するためには、大規模自治体のクラウド化が必要不可欠。

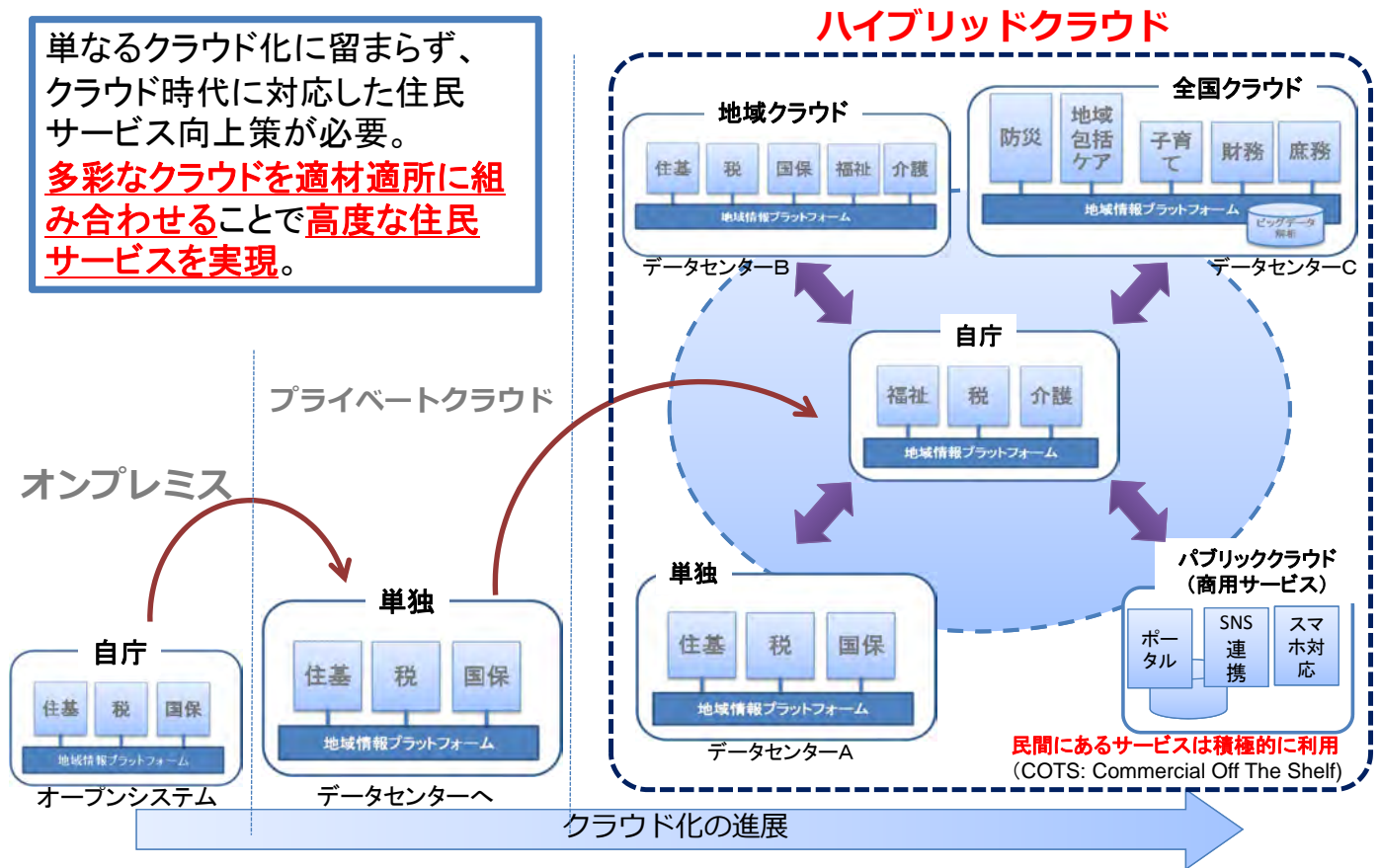
- 5万人未満 (1177団体、計20百万人)
- 5万人以上30万人未満 (481団体、計53百万人)
- 30万人以上 (84団体、計55百万人)



人口30万人以上の大規模自治体が、全自治体における情報システムコストの約5割を占有。

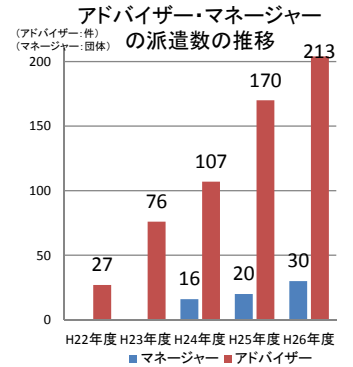
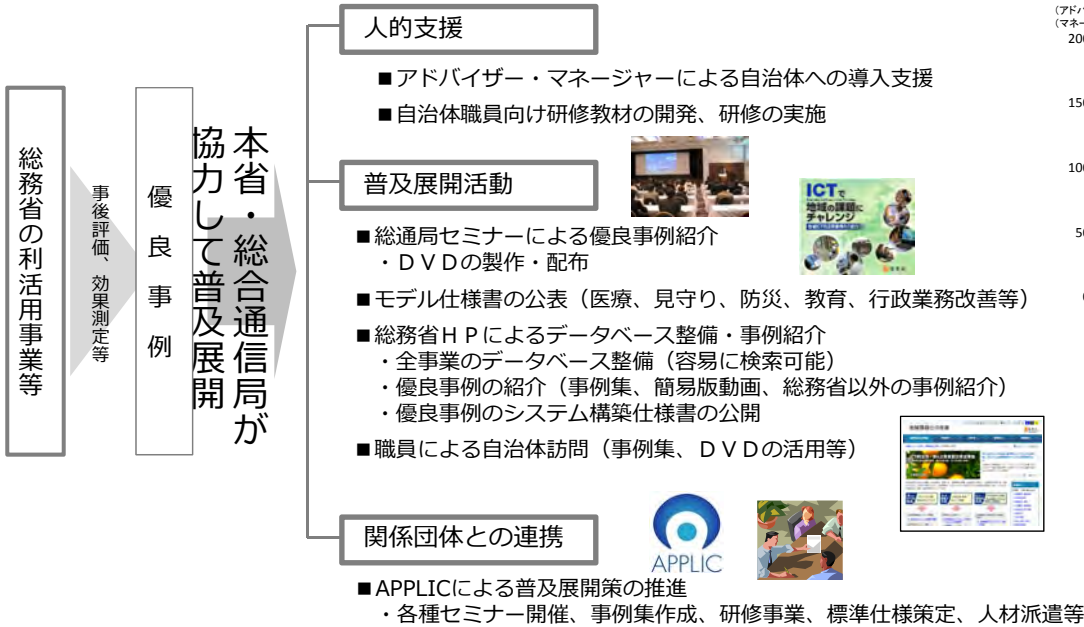
単なるクラウド化に留まらず、クラウド時代に対応した住民サービス向上策が必要。

**多彩なクラウドを適材適所に組み合わせることで高度な住民サービスを実現。**



## 取組④ 地域の優良事例を横展開する

これまで実施してきた地域ICT活用事業の成果等の中から、他地域の課題解決につながるような地域情報化の優良事例について、様々なツール（アドバイザー、HP・DVDでの紹介等）を活用し、展開を支援。



ICT利活用セミナー実施状況

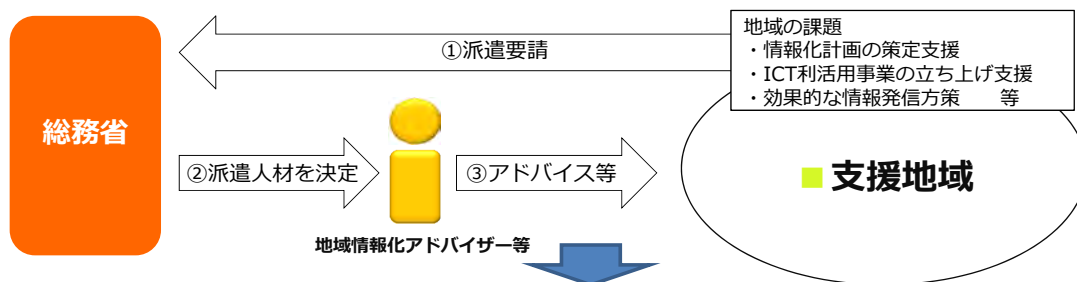
総通局等	開催場所	開催日程
北海道	札幌市	H26.11.26
東北	仙台市	H26.12.4
関東	富岡市	H27.1.22
信越	長野市	H27.2.19
北陸	富山市	H27.2.17
東海	名古屋市	H27.1.29
近畿	京都市	H27.2.10
中国	岡山市	H27.2.10
四国	松山市	H27.2.3
九州	熊本市	H27.2.16
沖縄	那覇市	H27.1.29

## 地域情報化アドバイザー制度・ICT地域マネージャー制度の概要

- ICTを有効に利活用して地域の様々な課題を解決し、地域間格差を解消するため、平成19年度より「**地域情報化アドバイザー制度**」を通じた短期的な人材支援を実施。
- 平成24年度以降は、より中長期の支援ニーズに対応するための「**ICT地域マネージャー制度**」を開始。

### 人材支援の仕組み

- ・地域の要請に基づき、ICTによる地域活性化に意欲的に取り組む事業に対して、総務省が委嘱した「地域情報化アドバイザー」を派遣。派遣するアドバイザーは、依頼者からの指名や事務局により要請内容に応じたアドバイザーを選出して派遣。
- ・短期的なニーズ（1～3回程度の派遣）には地域情報化アドバイザーとして対応。より中長期的なニーズ（概ね5回以上の派遣）にはICT地域マネージャーとして対応。



派遣成果や、解決方策ノウハウ等を分析し、他地域への普及・成果展開等により地域の情報化を推進

地方創生に資するICT利活用の優良モデルを全国に普及展開していくため、公募した先進事例(約百件)から表彰事例を選定し、「地域情報化大賞」として表彰。ノウハウ等の全国的な情報共有を促す。

## ○大賞【総務大臣賞】

- ・ NPO法人 日本サステナブルコミュニティセンター(京都市)  
(「ポケットカルテ」及び地域共通診察券「すこやか安心カード」)
- ・ 東白川村(岐阜県)(フォレストスタイル 森の恵みに満ちた暮らし方提案ウェブサイト)

## ○地域活性化部門賞

NPO法人 グリーンバレー(徳島県神山町)(日本の田舎をステキに変える「サテライトオフィスプロジェクト」等)

## ○地域サービス創生部門賞

株式会社データホライゾン(広島県広島市)(ICTを用いた広島県呉市における「データヘルス」の取り組み支援)

## ○特別賞

- ・ 塩尻市(長野県)(センサーネットワークによる鳥獣被害対策)
- ・ NPO法人 地域情報化モデル研究会(青森県青森市)(地域の埋もれた魅力を浮上させる青森県観光モデル)
- ・ 一般社団法人みらいサポート石巻(宮城県石巻市)(石巻市におけるGIS,AR技術を利用した「防災まちあるき」)

## ○奨励賞(実施主体名のみ)

愛南町(愛媛県)、高森町教育委員会(熊本県)、千葉市(千葉県)、株式会社デジタルブティック(東京都港区)・豊後高田市(大分県)、東峰テレビ(福岡県東峰村)・(一社)八百万人(東京都杉並区)、パーズ・ビュー株式会社(東京都文京区)

## 表彰式(地域ICTサミット)の開催

日時:平成27年3月6日(金) 12:30~16:10

場所:東京ビッグサイト

主催:総務省、慶應義塾大学SFC研究所、

国際大学GLOCOM、日本経済新聞社

後援:Innovation Nippon、APPLIC



1. 開会挨拶(総務大臣)
2. 基調講演  
増田 寛也氏 日本創成会議 座長
3. 受賞者によるパネルディスカッション
4. 表彰式  
大賞、部門賞、特別賞、奨励賞
5. 閉会挨拶(総務副大臣)

- ✓ 2015年度も表彰事例を募集。
- ✓ 募集期間は、平成27年10月9日(金)~11月13日(金)。

## 大賞 (総務大臣賞)

# 「クラウド×ICカード」による効果的な医療情報共有

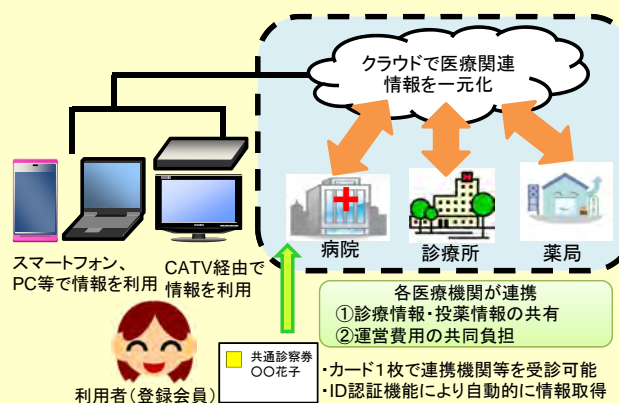
地域住民の医療履歴をクラウドで一元管理し、効率的な受診を可能に

(京都市発「ポケットカルテ」及び地域共通診察券「すこやか安心カード」プロジェクト)

NPO法人日本サステナブル・コミュニティ・センター(京都市)が、医療機関の減少や負担増という課題に対処するため、通常医療機関毎に管理されている住民の診療・投薬履歴を、医療機関等が連携してクラウドで一元管理し、利用者がスマートフォンやケーブルTV等インターネット経由で自ら確認・管理する仕組みを構築

併せて地域共通診察券を発行

地域住民が、様々な端末から自己の医療履歴を無料でかつ安心して確認できるシステムを確立



地域住民が効率的で安心できる連携医療環境を実現

- ・ 利用者数が急速に拡大。登録会員(カード保有者)数**4万5千人超**。 ※平成26年12月時点
- ・ 医療機関・薬局等も多数参加。
- ➔ 対応医療機関 (京都市内)**18病院、34診療所、調剤薬局** (全国) **611局**。
- ・ 医療機関等から利用料を徴収。公的資金に頼らずに**自立的・継続的に事業運営**。
- ・ 近隣府県(大阪府、兵庫県、奈良県)や神奈川県、愛知県(名古屋市)等、**7地域へ展開中**。

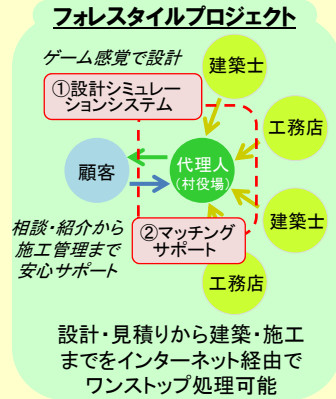
本法人は、総務省からの支援により、「ユビキタス特区」事業(H21年度)、地域ICT活用広域連携事業(H22~23年度)を実施、調査研究委託へ参加(平成25年度)。



## 総ひのき注文住宅を村から街へお手軽ネット直販 (岐阜県東白川村の林業高度化プロジェクト)

東白川村が、内外の住宅建築予定者向けに、住宅の間取り・費用を自由に設計できるシミュレーションシステムと、代理人(村役場職員)が最適な建築士や工務店をマッチングできる仕組みを構築  
 村内の基幹産業である材木加工、住宅建築などの関係者が一体となって参加・協力

高品質で安価な産直国産材を利用した、デザイン性・機能性の高い住宅建築を村外からも手軽に受注できる環境を実現したことで、林業・建築業の収入増等に寄与



東白川村の東濃ひのき(国産材) 綺麗な木目と高い耐久性が特徴



地元国産材を利用した家づくり

## 村の基幹産業である林業・建築業の6次産業化を実現

<※他地域への横展開のため、システムの無償譲渡も容認>

- ・ 第3回全国村長サミットにおいて、「**村オブザイヤー(最優秀賞)**」を受賞
- ・ 国産材を利用した住宅建築の受注件数**118件**、売上高**約31億円**  
 東京都の顧客からも受注するなど、**新規顧客の獲得に貢献** ※H21~25年度実績
- ・ 村の森林組合木材出荷量増(**約48%増加**)、建設業の売上増(**約70%増加**)  
 村民の一人あたり所得増(**約16%増加**)に貢献 ※最近3年間の比較

岐阜県東白川村は、総務省からの支援により、ICT活用事業(H20~21年度、国産材利用向上システムを構築)を実施

# ご静聴ありがとうございました

## 講演 3

### 「情報通信基盤の整備について」

総務省 総合通信基盤局 高度通信網振興課  
高度通信網推進官 鈴木 厚志 氏



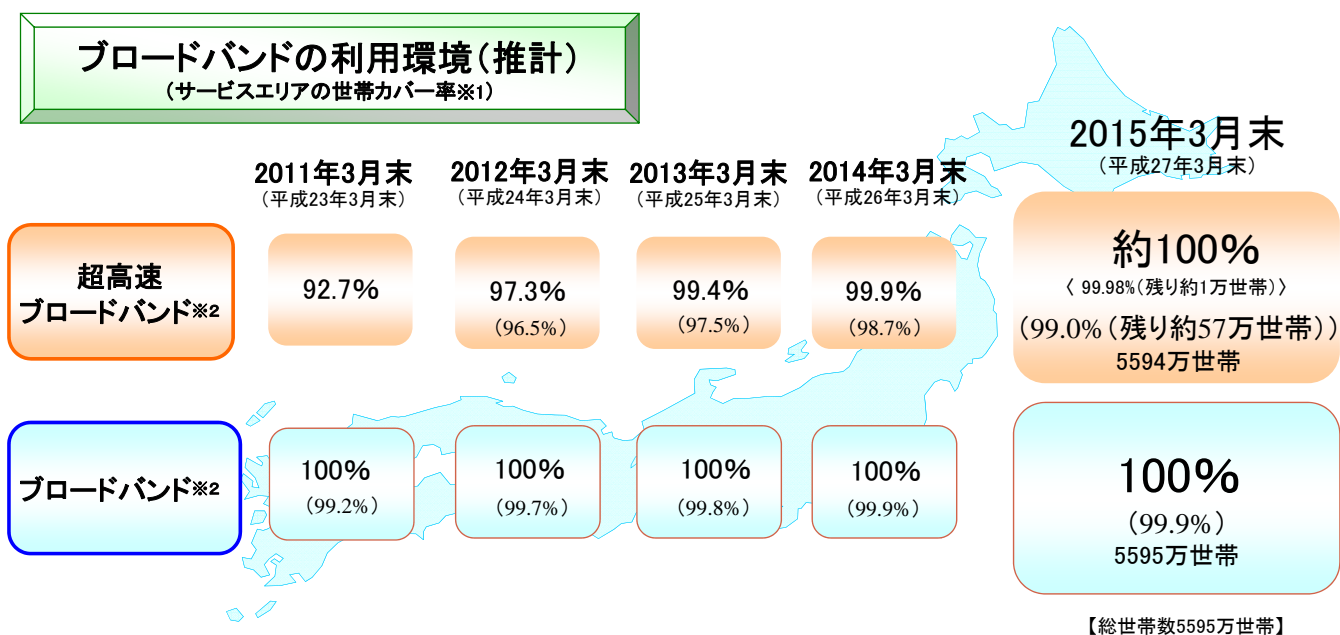
# 情報通信基盤の整備について

2015年11月13日

**総務省 総合通信基盤局**  
**高度通信網振興課**  
**高度通信網推進官 鈴木 厚志**

## ブロードバンド基盤の整備状況①

1



※1 住民基本台帳等に基づき、事業者情報等から一定の仮定の下に推計したエリア内の利用可能世帯数を総世帯数で除したもの(小数点以下第二位を四捨五入)。  
 ※2 ブロードバンド基盤の機能に着目して以下のように分類。なお、伝送速度はベストエフォートであり、回線の使用状況やエントランス回線の状況等により最大速度が出ない場合もある。

超高速ブロードバンド: FTTH、CATVインターネット、FWA、BWA、LTE (FTTH及びLTE以外は下り30Mbps以上のものに限る)。( )内は固定系のみの数値。  
 ブロードバンド: FTTH、DSL、CATVインターネット、FWA、衛星、BWA、LTE、3.5世代携帯電話。( )内は固定系のみの数値。

【2015年3月末】

都道府県名	超高速ブロードバンド 利用可能世帯率(%)	ブロードバンド 利用可能世帯率(%)
北海道	99.9	100.0
青森県	100.0	100.0
岩手県	99.9	100.0
宮城県	100.0	100.0
秋田県	100.0	100.0
山形県	100.0	100.0
福島県	100.0	100.0
茨城県	100.0	100.0
栃木県	100.0	100.0
群馬県	100.0	100.0
埼玉県	100.0	100.0
千葉県	100.0	100.0
東京都	100.0	100.0
神奈川県	100.0	100.0
新潟県	100.0	100.0
富山県	100.0	100.0
石川県	100.0	100.0
福井県	100.0	100.0
山梨県	99.9	100.0
長野県	100.0	100.0
岐阜県	100.0	100.0
静岡県	100.0	100.0
愛知県	100.0	100.0
三重県	100.0	100.0

都道府県名	超高速ブロードバンド 利用可能世帯率(%)	ブロードバンド 利用可能世帯率(%)
滋賀県	100.0	100.0
京都府	99.9	100.0
大阪府	100.0	100.0
兵庫県	100.0	100.0
奈良県	100.0	100.0
和歌山県	100.0	100.0
鳥取県	99.9	100.0
島根県	99.9	100.0
岡山県	100.0	100.0
広島県	100.0	100.0
山口県	100.0	100.0
徳島県	100.0	100.0
香川県	100.0	100.0
愛媛県	100.0	100.0
高知県	99.9	100.0
福岡県	100.0	100.0
佐賀県	100.0	100.0
長崎県	100.0	100.0
熊本県	100.0	100.0
大分県	100.0	100.0
宮崎県	100.0	100.0
鹿児島県	99.8	100.0
沖縄県	100.0	100.0
全国	100.0(99.98%)	100.0

※1 ブロードバンド:FTTH、DSL、CATVインターネット、FWA、衛星、BWA、LTE、第3.5世代携帯電話。  
 ※2 超高速ブロードバンド:FTTH、CATVインターネット、FWA、BWA、LTE(FTTH及びLTE以外は下り30Mbps以上のものに限る)。  
 ※3 小数点以下第二位を四捨五入。  
 ※4 事業者情報等から一定の仮定の下で推計しているため、誤差が生じる場合がある。

## 「2020年代に向けた情報通信政策の在り方」答申概要

(平成26年12月18日情報通信審議会)【ICT基盤整備部分 抜粋】

### 5. 2. ICT基盤の整備推進による地方の創生

#### 現状と2020年代に向けた課題

- ICTは経済活動の活性化や社会的課題の解決のほか、地方の創生にも資するなどその役割が今後ますます増大。しかしながら、競争原理下では、条件不利地域におけるICT基盤の整備・維持は困難。
- こうした状況を踏まえ、2020年代に向けて、条件不利地域におけるICT基盤の整備・維持の在り方について検討が必要。

#### 政策の具体的方向性

##### ① 希望する全ての国民がICTを利用できる環境の整備推進

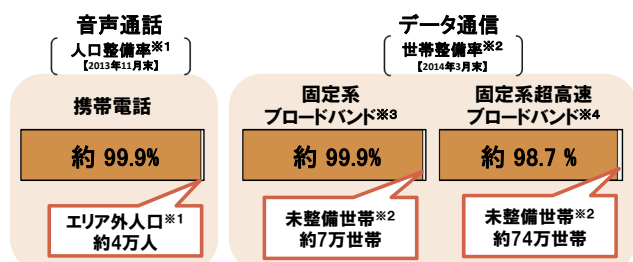
未だに存在する携帯電話や超高速ブロードバンドが利用できない未整備地域について、引き続き、その解消を進めていくことが適当。

##### ② ICT基盤の整備及び支援の在り方

携帯電話については、引き続き、競争政策及び電波政策を通じた民間事業者による整備を促進しつつ、補助金を活用することにより、未整備地域の解消を推進していくことが適当。

超高速ブロードバンドについても、引き続き公的整備を補助金の活用等により支援していくことが必要。特に光ファイバは、地域におけるニーズを的確に把握しつつ、支援の在り方について検討を進めていくことが適当。

#### 【ICT基盤の整備状況】



※1 国勢調査等に基づき、事業者情報等から一定の仮定の下に推計。整備率は携帯電話が利用できる地域の人口を総人口で除したものの。  
 ※2 住民基本台帳等に基づき、事業者情報等から一定の仮定の下に推計。整備率はカバーエリアの世帯数を総世帯数で除したものの。  
 ※3 固定系ブロードバンド:FTTH、DSL、CATVインターネット、FWA、衛星、BWA(地域WIMAXに限る)  
 ※4 固定系超高速ブロードバンド:FTTH、CATVインターネット、FWA(FTTH以外は下り30Mbps以上のものに限る)

## 2. 政策パッケージ

### (1) 地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする

#### (オ) ICT等の利活用による地域の活性化

##### (1)-(オ)-① ICTの利活用による地域の活性化

(前略) 2015年度から、ICTを活用した新たな街づくりや地域からの情報発信強化、柔軟な就労環境を実現する新たなテレワークの実現に向けた取組や、公衆無線LANや高速モバイル、ブロードバンドなどの地域の通信・放送環境の整備を推進する。(以下略)

### (2) 地方への新しいひとの流れをつくる

#### (ア) 地方移住の推進

##### (2)-(ア)-② 地方居住の本格推進(都市農村交流、「お試し居住」を含む「二地域居住」の本格支援、住み替え支援)

(前略) 休暇取得を促進する運動や、地方への新しいひとの流れをつくるサテライトオフィス・テレワーク等の遠隔勤務(以下「ふるさとテレワーク」という。)の促進により、就労者が仕事をしながらも十分な滞在時間を確保し場所にとらわれない就業ができる環境づくりを図る。

#### (イ) 企業の地方拠点強化、企業等における地方採用・就労の拡大

##### (2)-(イ)-③ 遠隔勤務(サテライトオフィス、テレワークの促進)

都市部に居住せずとも地方に住みながら仕事ができるような環境を整備するため、ICT基盤の整備を進め、関係府省庁で連携し、モデル実証等による好事例の把握やそれを踏まえた事例の周知や支援策の実施等を行う。さらに、地方への新しいひとの流れをつくるため、地方の実情や企業のニーズを踏まえつつ、モデルケースの検証を行い、ふるさとテレワークを推進する。(以下略)

### (4) 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

#### (ア) 中山間地域等における「小さな拠点」(多世代交流・多機能型)の形成

##### (4)-(ア)-① 「小さな拠点」(多世代交流・多機能型)の形成

(前略) 医療・教育・雇用・行政・農業等の幅広い分野でICTの利活用を推進するとともに、地域の通信・放送環境の整備を推進する。(以下略)

## 平成27年度 総務省行政事業レビュー 公開プロセス 評価結果 【情報通信利用環境整備推進事業】

平成27年度総務省行政事業レビュー公開プロセスにおいて、情報通信利用環境整備推進事業については「事業内容の一部改善」との評価を得た。

1. 実施日時 平成27年6月22日(月)15時20分～16時20分

2. 評価者

石田 恵美	弁護士・公認会計士	
上村 敏之	関西学院大学経済学部教授	
梶川 融	太陽有限責任監査法人代表社員会長	
楠 茂樹	上智大学法科大学院教授	
◎ 北大路 信郷	明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科教授	
田中 秀幸	東京大学大学院情報学環・学際情報学府教授	※ ◎はとりまとめ役

3. 評価結果 事業内容の一部改善  
(内訳:廃止0名、事業全体の抜本的改善0名、事業内容の一部改善6名、現状通り0名)

#### 4. 取りまとめコメント

- ・ 地方創生政策にとって情報インフラは極めて重要であり、本事業が果たす役割を明確に位置づけるべき
- ・ 全世帯ではなく、条件不利地域における整備率を使って進捗をみるべき
- ・ 利用率で補助決定をするのではなく、将来の利用や、利活用の中身について十分考慮して整備を進めるべき。また、補助率も地方にとっては厳しすぎる場合があることを考慮すべき

超高速ブロードバンド未整備地域のうち民間事業者による整備が見込まれない「条件不利地域」において、市町村等が光ファイバ等の超高速ブロードバンド基盤を整備する場合に、その事業費の一部を補助。(平成23年度～平成27年度)

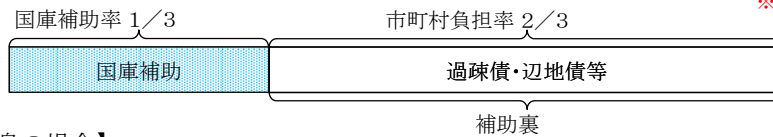
平成27年度予算額 4.3億円

## 事業概要

- 過疎地、離島等の「条件不利地域」※1を含む地域において、市町村等が光ファイバ等を整備する場合、事業費の1/3を補助。(離島を整備する場合は事業費の2/3を補助)※2
- 残りの2/3(離島の場合は1/3)については過疎債等を充当することが可能。(過疎債を充当した場合、市町村の実質負担割合は事業費の2割(離島の場合は1割))
- 市町村等は整備した光ファイバ等を一般的には電気通信事業者に貸与し、電気通信事業者は貸与された光ファイバ等を用いてインターネットサービスを住民に提供。
- 市町村等は貸与した光ファイバ等を利用し、公共アプリケーションサービス(災害情報告知や高齢者見守り等)を住民に提供。

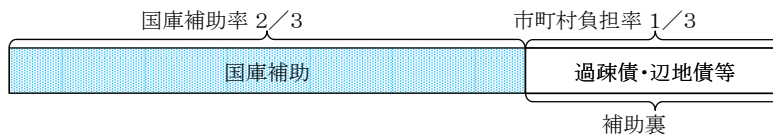
※1:過疎、辺地、離島、半島、山村、特定農山村、豪雪地帯  
 ※2:平成25年度から補助率を引き上げ

### 【離島以外の場合】



※過疎債を充当した場合、実質負担率は、全体事業費の2割(離島は1割)

### 【離島の場合】



# 情報通信利用環境整備推進事業 交付決定実績

## 平成23年度

● 6市町、交付決定額 1,500百万円 (予算額 2,400百万円)

県名	市町村名	整備対象世帯数	事業費【百万円】	交付決定額【百万円】
青森県	板柳町	1,317	110	37
山形県	新庄市	335	44	15
滋賀県	甲賀市	77	9	3
島根県	西ノ島町	1,636	582	194
広島県	安芸高田市	13,222	3,035	1,012
高知県	東洋町	1,620	718	239
合計		18,207	4,498	1,500

## 平成24年度

● 8市町、交付決定額 1,052百万円 (予算額 1,900百万円)

県名	市町村名	整備対象世帯数	事業費【百万円】	交付決定額【百万円】
北海道	芽室町(1期)	522	137	46
青森県	中泊町	2,150	226	75
青森県	三戸町	767	237	79
青森県	階上町	1,066	95	32
岩手県	奥州市	308	247	82
岩手県	岩泉町(1期)	3,618	1,922	641
山形県	村山市	968	125	42
山形県	最上町	1,365	166	55
合計		10,764	3,155	1,052

※補助率 1/3(平成25年度から離島の場合 補助率2/3)



➤ 平成25年度

● 7町村、交付決定額 775百万円（予算額 800百万円）

県名	市町村名	整備対象世帯数	事業費【百万円】	交付決定額【百万円】
北海道	芽室町(2期)	43	11	4
青森県	蓬田村	1,154	162	54
青森県	横浜町	2,110	298	99
青森県	南部町	3,934	440	147
岩手県	岩泉町(2期)	633	726	242
茨城県	大子町(1期)	2,184	316	105
島根県	知夫村	329	187	124
合 計		10,387	2,140	775

➤ 平成26年度

● 3市町、交付決定額 507百万円（予算額 510百万円）

県名	市町村名	整備対象世帯数	事業費【百万円】	交付決定額【百万円】
秋田県	横手市	412	151	50
茨城県	大子町(2期)	757	123	41
静岡県	川根本町	2,920	1,247	416
合 計		4,089	1,521	507

➤ 平成27年度

● 2市、交付決定額 78百万円（予算額 433百万円）

県名	市町村名	整備対象世帯数	事業費【百万円】	交付決定額【百万円】
青森県	青森市	2,460	179	60
山形県	上山市	133	55	18
合 計		2,593	234	78

※補助率 1/3(平成25年度から離島の場合 補助率2/3)

## 情報通信基盤整備推進事業

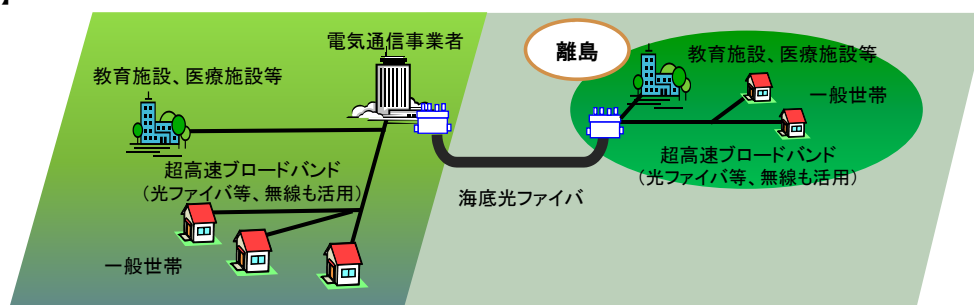
地域の活性化を図っていく上で重要かつ必要不可欠な超高速ブロードバンド基盤の整備を推進するため、過疎地域・辺地・離島等の「条件不利地域」※を有する地方公共団体が、光ファイバ等の超高速ブロードバンド基盤や離島における超高速ブロードバンド環境を実現するための海底光ファイバ等の中継回線の整備を実施する場合、その事業費の一部を補助。

※ 過疎地域、辺地、離島、半島、山村、特定農山村、豪雪地帯

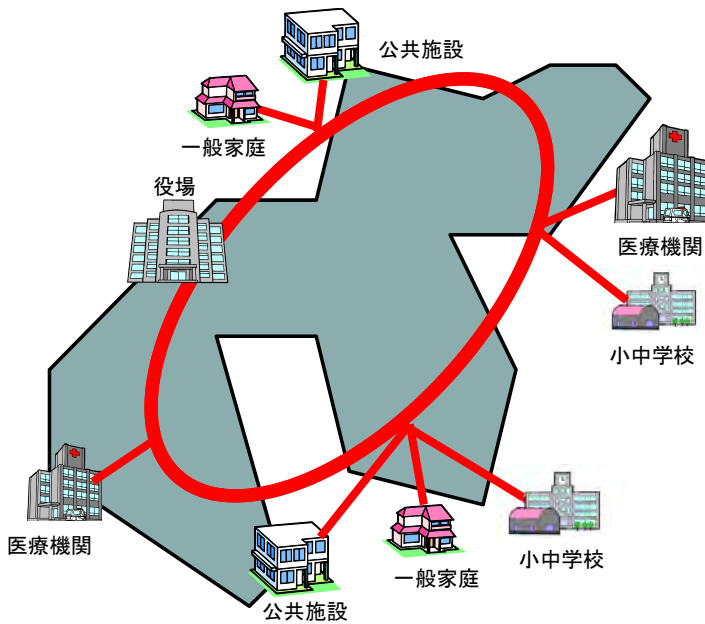
平成28年度予算要求額 : 7億円(新規)

- 対象地域 : 超高速ブロードバンド未整備地域であって、過疎地域・辺地・離島等の条件不利地域を含む都道府県、市町村
- 対象設備 : 光ファイバケーブル(海底光ファイバ等の中継回線を含む)、光電変換装置、送受信装置、無線アクセス装置(FWA)等(これらに附帯する施設を含む。)
- 補助率 : 1/3(離島、辺地については2/3)

【イメージ図】



※ 過疎地域、離島等の「条件不利地域」を含む地域を対象とする。



## ① 光ブロードバンドサービス及び光・IP電話の提供

町全域において、公設民営方式による光ブロードバンドサービスを提供することにより、どの地域においてもひかり電話と高速インターネットが利用できる環境を整備。

## ② IPタブレット端末による情報提供

IPタブレット端末を配布し、回覧板、見守り、生活情報の電子配布を可能とする公共アプリケーションを整備。

## ③ 地域医療における利活用

病院等の医療機関の通信回線を整備することにより、電子カルテや遠隔医療診断を円滑に行える通信環境を整備。

# 整備事例（ラストワンマイルに無線を活用）

市内の大部分をFTTH、山間部等の一部地域をFWAで整備

【安芸高田市】

一面積：537.79km<sup>2</sup> 一人口：30,622人 一世帯数：13,179世帯（平成25年6月1日現在）

### 特徴

市内の大部分をFTTHで整備しているが、一部の山間地では整備に多額の費用がかかるため、有線（FTTH）のみならず、無線（FWA）による整備を行いコストを削減。

○伝送速度：

【FTTH】上り：最大200Mbps 下り：最大200Mbps

【FWA】上り：最大150Mbps 下り：最大150Mbps

○整備期間：平成24年3月16日～平成26年3月31日

○総事業費：約28億円（内、国庫補助額：約9億円）





日本再興戦略(平成25年6月14日閣議決定) 抄

第Ⅱ. 3つのアクションプラン  
一. 日本産業再興プラン

4. 世界最高水準のIT 社会の実現

ITを活用した民間主導のイノベーションの活性化に向けて、世界最高水準の事業環境を実現するため、今般策定される新たなIT戦略(本年6月14日閣議決定)を精力的に推進し、規制・制度改革の徹底並びに情報通信、セキュリティ及び人材面での基盤整備を進める。

④ 世界最高レベルの通信インフラの整備

圧倒的に速く、限りなく安く、多様なサービスを提供可能でオープンな通信インフラを有線・無線の両面で我が国に整備することで、そのインフラを利用するあらゆる産業の競争力強化を図る。このため、情報通信分野における競争政策の更なる推進等により、OECD加盟国のブロードバンド料金比較(単位速度当たり料金)で、現在の1位を引き続き維持することを目指す。

「世界最先端IT国家創造宣言」におけるブロードバンド基盤整備の位置付け 15

世界最先端IT 国家創造宣言 (平成27年6月30日閣議決定) 抄

IV. 利活用の裾野拡大を推進するための基盤の強化  
2. 世界最高水準のIT インフラ環境の確保

ITインフラに関しては、2000年以降、我が国が推し進めてきた施策により、モバイル通信や光ファイバーなどにおいてブロードバンド環境が整備されている。今後、世界最高水準のブロードバンド環境を確保し、正確な位置情報、時刻情報等を伴う膨大なデータを利活用でき、かつIPv6にも対応した環境を、適正かつ安全に発展させていく必要がある。また、耐災害性、効率性、利便性及び冗長性の観点から、離島を含めた全ての地域における国民のブロードバンド環境の整備や、陸地のみならず、海上における資源探査や安全確保にも資する衛星ブロードバンド環境の活用など、世界で最も強靱なブロードバンド環境を整備すると共に、日本と世界をつなぐ信頼性・安定性の高いグローバルインフラの整備を進めていくことも必要である。このため、以下の取組を推進する。

- (1) 通信ネットワークインフラについては、低廉かつ高速のブロードバンド環境が利用できるよう事業者間の公正な競争条件の確保等の競争政策や、新たなワイヤレス産業の創出等にも資する電波の有効利用を引き続き推進するとともに、離島などの不採算地域においても、地域特性を踏まえつつ、高速のブロードバンド環境の整備・確保を図る。

世界最先端IT 国家創造宣言 工程表

○通信ネットワークインフラの推進

【短期(2015年度)】

- 離島を含めたすべての地域における国民の超高速ブロードバンド基盤の整備に向け、各地域の実情に応じて、通信事業者を含む関係団体と協議の場を設置し、整備方針等を策定する。【総務省】
- 沖縄の本島と離島を結ぶ海底光ケーブルの整備を支援するとともに、過疎地・離島等の条件不利地域等において超高速ブロードバンド基盤を整備する自治体に対して支援する。【内閣府、総務省】

【中期(2016年度～2018年度)・長期(2019年度～2021年度)】

- 海底光ケーブルが整備された離島をはじめとした条件不利地域等において超高速ブロードバンド基盤を整備する自治体に対して支援する。【内閣府、総務省】

年度	短期			中期			長期			KPI ※
	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	
										固定系 超高速 ブロード バンド 基盤・ ゼロ自 治体数

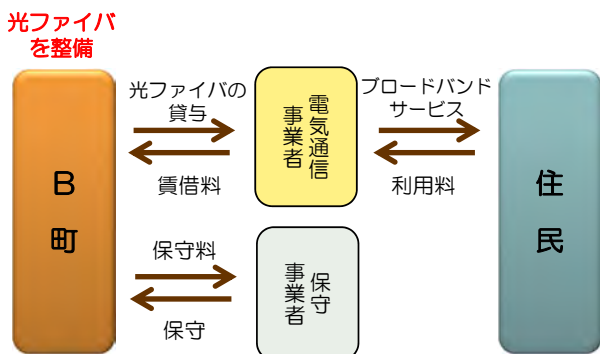
※: 目標を具体的に実現するための「施策」が計画通り遂行されているかどうか定量的に測定する「指標」(重要業績評価指標: Key Performance Indicator)  
 なお、固定系超高速ブロードバンド基盤・ゼロ自治体の数は平成27年3月末時点で56団体となっている

超高速ブロードバンドの整備・運営について

- 光ファイバ等超高速ブロードバンド基盤については、民間事業者による整備・運営が基本。
- 民間事業者による整備が見込まれない「条件不利地域」においては、地方公共団体が超高速ブロードバンド基盤の整備・運営を行うケースもある。

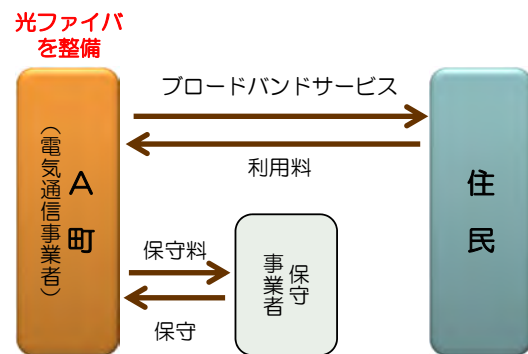
地方公共団体が整備し  
民間事業者が運営を行うケース  
(公設民営方式)

- ・ 地方公共団体が光ファイバを整備
- ・ 地方公共団体は事業者に光ファイバを貸与し、事業者が住民にブロードバンドサービスを提供



地方公共団体が整備・運営を行うケース  
(公設公営方式)

- ・ 地方公共団体が光ファイバを整備し、住民にブロードバンドサービスを提供







**ご静聴ありがとうございました。**

---

## 講演 4

### 「地方創生とICT地域イノベーション」

愛媛大学 社会連携推進機構

教授(地域連携コーディネーター) 坂本 世津夫 氏





## 「地方創生と ICT 地域イノベーション」

愛媛大学 社会連携推進機構  
教授（地域連携コーディネーター）  
坂本 世津夫

急速な人口減少、超高齢化社会、従来型産業の衰退と、現在の日本は（日本の地域社会は）大きな転換点にさしかかっている。それを打開させる為に、「地方創生」が叫ばれているが（国では、各地域がそれぞれの特徴を活かした自律的で持続的な社会を創生できるよう、まち・ひと・しごと創生本部を設置している。そして大学には、自治体との連携を強化して打開策に取り組み、地域課題に対応できるように大学改革が求められている）、具体的にどう対応すれば良いのか、国も自治体も大学も打開策を見いだせていない状況にある。

今回の講演では、地方創生の意味を理解して、地域が本来持っている資源を如何に活用して地方創生を図るか、我々は如何にアクションすれば良いのかについて考えたい。地方創生、地域資源を活用した地域の活性化手法のヒントになればと考えている。

### 地方創生—まち・ひと・しごと創生本部

政府は、人口急減・超高齢化という我が国が直面する大きな課題に対し政府一体となって取り組み、各地域がそれぞれの特徴を活かした自律的で持続的な社会を創生できるよう、まち・ひと・しごと創生本部を設置した。

<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/sousei/>

急速な人口減少、超高齢化社会、従来型産業の衰退に如何に対応していくのか、地方における大学の役割が問われている。

### スマート革命—ICTの利活用

最近、再び「イノベーション」ということが言われるようになった。イノベーションとは、端的に言えば技術革新、創造的破壊である。今からちょうど百年前に、経済学者のシュンペーターが提唱した概念である。ICTを「戦略的に活用して、既存の仕組みを見直し、革新（創造的破壊）していくこと、新結合（新しい組み合わせ、新しい組織）を見つけることが重要なのである。その取り組みを、いま展開しなければと考えている。それは、ICTによる地域イノベーションである。

日本における情報化社会の方向性については、今年の総務省「情報通信白書」を是非ご覧いただきたい。実は、4年前から情報通信白書の編集にも関わってきた。今年の白書には、「スマートICT」の戦略的活用でいかに日本に元気と成長をもたらすか、が書かれている。情報通信白書は総務省のホームページからダウンロードできる。オープンデータと言って、政府等が保有する様々なデータは利活用できるように順次公開される方向で整備が進んでいる。このような情報をフル活用して新たな社会を構築しなければならない。それが、「スマート革命」である。スマート革命は、単にスマートフォンを活用することではない。

他にも、「ビッグデータ」の活用がある。ビッグデータとは、ICTの進展により生成・収集・蓄積等が可能・容易になった多種多量のデータのことである。フェイスブックやツイッターで発信される内容、マルチメディア機器が生成するデータ、センサーで取得されるデータ、位置情報（GPS）など、多種多様なデータの集合体がビッグデータである。防犯カメラの映像などもその一つである。そのようなデータが、高速ネットワークと検索プログラム、高度な解析プログラムのお陰でフル活用できる時代になった。自治体も、これから真剣にICTの利活用を考えてなければならない。

情報通信白書 平成27年版

<http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/>

**ICTは、思考の道具（ツール）である。**

考える力を養う。

**ICTは、処理の道具（ツール）である。**

新たな処理方法を考える。

**ICTは、コミュニケーションの道具（ツール）である。**

新たな結合を考える。

新結合  
↓  
イノベーション

## イノベーション（技術革新＝創造的破壊）

### ブロードバンドの活用

既存の仕組みを常に見直し革新（創造的破壊）していくこと。

新結合（新しい組み合わせ）を見つけること。

#### 1.新しい財貨

すなわち消費者の間でまだ知られていない財貨あるいは新しい品質の財貨の生産

#### 2.新しい生産手法

すなわち当該産業部門において実際にまだ知られていない生産方法の導入

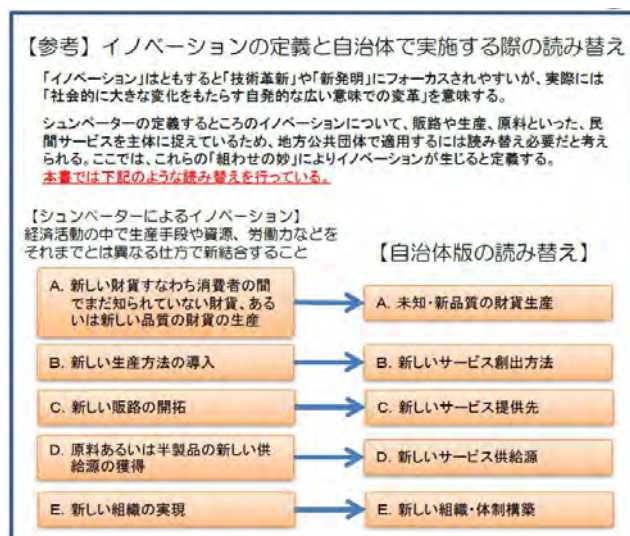
#### 3.新しい販路の開拓

すなわち当該国の当該産業部門が従来まだ参加していなかった市場の開拓

#### 4.原料あるいは半製品の新しい供給源の獲得

#### 5.新しい組織の実現、すなわち独占的地位の形成あるいは独占の打破

シュンペーター『経済発展の理論』 1912年 世界恐慌 1929年  
『シュンペーター 経済発展の理論』 伊達邦春、玉井龍象、池本正純 著 有斐閣新書



一般財団法人全国地域情報化推進協会「地域ICTイノベーション・ガイドブック Ver.1.0」より

### ブロードバンド 環境

高品位な画像（映像）や音声、様々な情報を双方向にやりとりすることが可能となる。

中山間（田舎）の産業・ビジネスを大きく変える可能性がある。

テレワークなど新たな就業形態も可能となる。

コミュニティのあり方が変わる。

その他にも。

# ICT利活用による地域活性化

## 地域活性化のポイント

故郷（自分の住んでいる地域）を語れる（誇りをもつ・好きになる）  
世代を越えて、地域が一体となる  
自ら、参加する  
人材を育む（人材育成）  
他地域と連携する  
情報発信

### ●ブランド＝地域価値の要素

#### 1. 気象

流氷、雪、霧、雨、爽やかな風、厳しい寒さ、空気のおいしさ、青い空、巻雲、翳雲、朝日、夕日、夕焼け、満月、三日月、星空、天の川、流星、蜃気楼など

#### 2. 自然

海原、入江、絶壁、磯、砂浜、砂丘、島、岬、火山、温泉、溶岩、特色ある山、見晴らしのよい丘、峠、大河、川原、溪流、滝、せせらぎ、湖、沼、大木、ブナの森、苔むす岩、洞窟、湿原と植生、花の群落、鶴、白鳥、かるがもなど

#### 3. 人文的自然風景

棚田、菜の花畑、れんげ畑、ひまわり畑、果樹園、竹林、杉林、檜林、茅葺き、水車、水路、土橋、生け垣、沿道の花、花園、庭園、枯山水、雪囲い、雪吊り、牧場、漁港、網干し場、魚市場、猫、飼犬、飼象、馬、牛など

#### 4. 構築物

家並み、白壁、黒壁、蔵、迷路、特色ある建築物、寺院、神社、教会、宮殿、劇場、ホテル、美術館、博物館、城塞、塔、煙突、記念碑、赤煉瓦、石橋、釣り橋、鉄橋、橋梁、広場、公園、運動公園、緑地、カスケード、港、灯台、堀割、運河、魚釣場、テーマパーク、登り窯、温泉、遺跡など

#### 5. ストリート・ファニチャーと移動物

美しい広告塔、ショーウィンドー、ベンチ、街路灯、彫刻、壁画、時計、屋台、標識、自動車、電車、新交通、自転車、人力車、駕籠、馬車、漁船、大漁旗、旗、ヨット、観光船、観覧車、窓辺の花など

#### 6. イベント

祭り、博覧会、見本市、スポーツ大会、会議、日曜日、灯籠流し、花火、音楽祭、人形劇、演劇、歌謡祭、彫刻展、国際コンペ、カーニバル、行進、縁日、踊り、民謡など

#### 7. 景観

自然と人工物の全体を統合したもの、色、音、光、香りを加えたもの

#### 8. 雰囲気

風格、清潔さ、賑わい、活気、不思議さ、驚き、落ち着き、静けさ、安らぎ、方言、感動、人の温かさ、もてなし、親切など

#### 9. 人間

服装、帽子、化粧、歩き方、カップル、大道芸人、一芸ある人、人材、国際人、他人の受入可能な人、ガイド、笑顔、ホスピタリティ、子どものキラキラした目など



## 10. 飲食物

酒、地ビール、そば焼酎、ワイン、ミネラルウォーター、果汁、郷土料理、名物料理、石臼そば、味噌、豆腐、菓子、果物、チーズ、ソーセージなど

## 11. 特産品・地場産業

和紙、水引き、凧、木蠟、家具、将棋の駒、碁盤、独楽、竹細工、藁細工、農産物、織物、硝子製品、石製品、陶器、鋳物、洋食器、さまざまな工業製品など

## 12. 物語・事件

史跡、宿場、歴史的イベント、小説ドラマの舞台、創作の場、作家の住まい、溶岩流など大災害の跡、鉱山跡、伝説、おとぎ話など

## 13. 独自の方法

コミュニティ、ゴミ収集、リサイクル、住民参加、NPO、市民活動、生涯学習、自治体行政運営、バリアフリー、健康維持、福祉、高齢者施設など

## ●地域価値の大分類

### 1. 風土的価値

気象、自然など

### 2. 歴史的価値

遺産、事件、物語、記憶など

### 3. 人の営みの価値

物、仕事（シゴト）、生活（クラシ）、仕組み、イベントなど

## 要素の評価ポイント

評価できる要素は、挙げればキリがないし、細分化すれば無数になる。これらの要素は項目だけだから、そえをどういう観点から評価するかが重要である。

評価ポイントとしては、1. 美しさ 2. スケール 3. 特異性 4. 驚き 5. 面白さ 6. 生き生きとした感じ 7. 気持ちよさ 8. 親しみやすさ 9. 静けさ 10. 味わい深さ 11. 風格の高さ 12. 感動させられるもの などある。

以上、『まちづくりの実践』 田村明著 岩波新書 615 より

## 地域資源の活用方法

あらためて認識した地域資源を本当に活用するには、しっかりと考える（資源の考察・観察・分析をする）必要がありますが、それと同時に色々な資源や取り組みを繋げていく、**有機的に連携させる「知恵」**が必要である。

その為には、

- 1) **ストーリー性が必要**—繋がり（連携）・広がり  
単なる、一資源、一地域だけを考えるのではなく、エリア全体の中での位置付けや連携が必要である。
- 2) **出来るだけ多くの生活者が関わる**  
いくらまわりが活動し、仕掛けても、本来の生活者の意識（認識）がなければ、本当の活性化には繋がらない。
- 3) **自分自身のもっている地域資源を再認識し誇りを持つ**  
生活者の多くが、自らのもっている地域資源を再認識し、誇りを持つ（非常に重要）ことにより、より良い資源にすることが可能となる。文化的な厚みも増してくる。

## アクションプラン（ストーリー性の重視）

### 情報発信

色々なメディアを活用する（メール、Web、ブログ、Twitter、Facebook など）  
**ソーシャルメディア** ロコミも効果的  
誰に対しての情報発信かを明白にする（相手が見えている＝市場が見えている）  
マーケット把握（マーケティング・リサーチも重要である）

情報の質を向上させる—**受け取る側を意識した情報づくり**と発信  
シンプルがベスト

ラジオ・テレビなどのマスメディアを活用（ストーリー性が重要）  
旅行会社の広告（ストーリー性が重要）・・・モデルコース  
Web—双方向の媒体にする必要がある  
単なる一方的な情報発信では効果がない  
情報を受け取る側の「心（心理）」を把握した上での情報発信  
ブログ、Twitter、Facebook を活用する（**ソーシャルメディア**）  
SNS【Social Networking Service】

写真集・書籍・雑誌などを活用する  
動きのない情報＝活字・写真による情報発信も非常に重要である  
従来の情報発信では、文章・画像の質が高くない→**より高質な情報を発信**する  
受け取る側（ターゲット）を見極める

新たな情報機器の活用

**iPad、iPhone、スマートフォン、タブレット端末** 等

## コミュニケーション力の向上

地域の活性化を進める上で一番重要なことは、地域に暮らしている人々のコミュニケーション力を如何に高めるかである。さらには、地域内だけではなく他地域とのコミュニケーション力を高めることが重要である。

### コミュニケーション能力（私の定義）

自分の気持ちや考えを、的確な表現と分量で伝えることのできる能力  
相手の意図や意識を読み解く能力

### 聞く耳を持つ（見る目を持つ）

自然や景観などと対話することも重要

## コミュニケーション・デザイン

### 「高速ネットワーク社会と人間の思考」

コンピュータ処理は、精神の「データ処理」（作業）であって、精神が思考している処理ではない。注意深い努力がなければ、単なるデータ処理にすぎない。機械が情報を処理しているときにやっていることと、精神が思考しているときにやっていることとのあいだには大きな違いがある。**重要な事は、精神の思考である。**

参考 T・ローザック 『コンピュータの神話学』

<http://home.hiroshima-u.ac.jp/nkaoru/Cult.html>

### 重要なこと

「情報化」は非常に重要なテーマである。情報化時代に対応した社会環境を作っていかなければならない。また、それに対応した人材の育成も重要な課題である。しかし、**一番重要なことは、リアルな空間、リアルな思考と判断である。**「百聞一見にしかず」と言われるように、いくらインターネット検索を駆使して地理情報や写真、他人が作成した資料などをかき集めても、ただ一回の、**自分自身のリアルな体験**に勝ることはないであろう。

要は、インターネット上での情報と、旅行などのリアルな体験情報の間には、補完できない大きな差があることを認識しなければならない。ICTがあれば、何でもできると思っはいけない。ICTの利活用は、あくまでも補完手段であることを肝に銘じる必要がある。いつも感じるのであるが、海外旅行に行く前に、現地の情報をいくら検索して調べても、あまり頭の中には入らないが、海外旅行から戻ったあとに検索すると、どんどん知識として蓄積されていく。それは、使える知識であって、単なる知識ではない。この差を理解することが重要であると考えている。コンピュータでいくら便利になっても、**精神に思考をさせないと、どんどん退化していくのである。**

## 地方創生とICT 地域イノベーションでは、 「コスト削減」を考えることが重要である。

### 平成26年度「地（知）の拠点整備事業」

本事業は、大学等が自治体を中心に地域社会と連携し、全学的に地域を志向した教育・研究・社会貢献を進める大学等を支援することで、課題解決に資する様々な人材や情報・技術が集まる、地域コミュニティの中核的存在としての大学の機能強化を図ることを目的としています。

### 地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）

文部科学省では、平成27年度から、大学が地方公共団体や企業等と協働して、学生にとって魅力ある就職先の創出をするとともに、その地域が求める人材を養成するために必要な教育カリキュラムの改革を断行する大学の取組を支援することで、地方創生の中心となる「ひと」の地方への集積を目的として「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業」を実施します。

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/kaikaku/coc/](http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/kaikaku/coc/)

愛媛大学 COC 事業 <http://ehime-coc.jp/>

## 「地方創生とICT地域イノベーション」



地域情報学

Study of Regional Informatics

愛媛大学社会連携推進機構教授  
(地域連携コーディネーター)

坂本 世津夫

## 地方創生—まち・ひと・しごと創生本部



政府は、**人口急減・超高齢化**という我が国が直面する大きな課題に対し政府一体となって取り組み、**各地域がそれぞれの特徴を活かした自律的で持続的な社会を創生**できるよう、まち・ひと・しごと創生本部を設置した。

<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/sousei/>

急速な人口減少、超高齢化社会、従来型産業の衰退に如何に対応していくのか、地方における大学の役割が問われている。

平成27年11月13日

ICT利活用 半島サミットin水見



平成27年11月13日

ICT利活用 半島サミットin水見

## スマート革命



ICTは、**思考の道具(ツール)**である。  
考える力を養う。

ICTは、**処理の道具(ツール)**である。  
新たな処理方法を考える。

ICTは、**コミュニケーションの道具(ツール)**である。  
新たな結合を考える。

新結合  
↓  
イノベーション

平成27年11月13日

ICT利活用 半島サミットin水見

## 本日の講演内容



**急速な人口減少、超高齢化社会、従来型産業の衰退**と、現在の日本は(日本の地域社会は)大きな転換点にさしかかっている。それを打開させる為に、「**地方創生**」が叫ばれているが(国では、各地域がそれぞれの特徴を活かした自律的で持続的な社会を創生できるよう、まち・ひと・しごと創生本部を設置している。そして大学には、自治体との連携を強化して打開策に取り組み、地域課題に対応できるように大学改革が求められている)、具体的にどう対応すれば良いのか、国も自治体も大学も打開策を見いだせていない状況にある。

今回の講演では、**地方創生の意味を理解して、地域が本来持っている資源を如何に活用して地方創生を図るか、我々は如何にアクションすれば良いのか**について考えたい。地方創生、地域資源を活用した地域の活性化手法のヒントになればと考えている。

平成27年11月13日

ICT利活用 半島サミットin水見

図表1 スマート革命(イメージ図) —ICTのパラダイム転換—



平成27年11月13日

ICT利活用 半島サミットin水見





## イノベーション（技術革新＝創造的破壊）

### ブロードバンドの活用

既存の仕組みを常に見直し革新（創造的破壊）していくこと  
新結合（新しい組み合わせ）を見つけること

#### 1.新しい財貨

すなわち消費者の間でまだ知られていない財貨あるいは新しい品質の財貨の生産

#### 2.新しい生産手法

すなわち当該産業部門において実際にまだ知られていない生産方法の導入

#### 3.新しい販路の開拓

すなわち当該国の当該産業部門が従来まだ参加していなかった市場の開拓

#### 4.原料あるいは半製品の新しい供給源の獲得

5.新しい組織の実現、すなわち独占的地位の形成あるいは独占の打破

シュンペーター『経済発展の理論』 1912年 世界恐慌 1929年

『シュンペーター 経済発展の理論』 伊達邦春、玉井隆象、池本正純 著 有斐閣新書

平成27年11月13日

ICT利活用 半島サミットin氷見

## ブロードバンド環境

高品質な画像（映像）や音声、様々な情報を双方向にやりとりすることが可能となる。

中山間（田舎）の産業・ビジネスを大きく変える可能性がある。

移住が可能になる。

テレワークなど新たな就業形態も可能となる。

生活コストを削減できる。

コミュニティのあり方が変わる。

平成27年11月13日

ICT利活用 半島サミットin氷見

【参考】イノベーションの定義と自治体で実施する際の読み替え

「イノベーション」ともすると「技術革新」や「新発明」にフォーカスされやすいが、実際には「社会的に大きな変化をもたらす自発的な広がり意味での変革」を意味する。

シュンペーターの定義するところのイノベーションについて、販路や生産、原料といった、民間サービスを主体に扱っているため、地方公共団体で適用するには読み替えが必要だと考えられる。ここでは、これらの「組わせの妙」によりイノベーションが生じると定義する。  
本書では下記のような読み替えを行っている。

【シュンペーターによるイノベーション】  
経済活動の中で生産手段や資源、労働力などを  
それまでとは異なる仕方で行なうこと

【自治体版の読み替え】



平成27年11月13日

ICT利活用 半島サミットin氷見

## ICT環境の変化

通信環境の進化

コンピュータの進化



ビジネススタイル

・ワークスタイル

ライフスタイルの変化

平成27年11月13日

ICT利活用 半島サミットin氷見

地方創生とICT地域イノベーションでは、  
「コスト削減」を考  
えることが重要である。

平成27年11月13日

ICT利活用 半島サミットin氷見

## 地域活性化の課題

- 地域資源を如何に活用するか
- 広域で、「戦略的な政策」を如何に組み立てるか
- 地域情報化（ICTの利活用）をどう進め、拠点活動に活かすか
- 世界に情報発信  
ブロードバンド環境整備と地域コンテンツの利活用
- 公民・大学のパートナーシップ（地域における大学役割）  
↓  
コミュニケーションデザイン

平成27年11月13日

ICT利活用 半島サミットin氷見



## コミュニケーション・デザイン

### 「高速ネットワーク社会と人間の思考」

コンピュータ処理は、精神の「データ処理」（作業）であって、精神が思考している処理ではない。注意深い努力がなければ、単なるデータ処理にすぎない。機械が情報を処理しているときにやっていることと、精神が思考しているときにやっていることとのあいだには大きな違いがある。重要な事は、精神の思考である。

参考 T・ローザック『コンピュータの神哲学』

<http://home.hiroshima-u.ac.jp/nkaoru/Cult.html>

コミュニケーション力とは、

自分の気持ちや考えを、的確な表現と分量で伝えることのできる能力。相手の意図や意識を読み解く能力である（坂本）。

平成27年11月13日

ICT利活用 半島サミットin氷見

## 地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）

文部科学省では、平成27年度から、大学が地方公共団体や企業等と協働して、**学生にとって魅力ある就職先の創出**をするとともに、その地域が求める人材を養成するために必要な**教育カリキュラムの改革を断行**する大学の取組を支援することで、地方創生の中心となる「ひと」の地方への集積を目的として「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業」を実施します。

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/kaikaku/coc/](http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/kaikaku/coc/)

平成27年11月13日

ICT利活用 半島サミットin氷見

## 重要なこと

「情報化」は非常に重要なテーマである。情報化時代に対応した社会環境を作っていかなければならない。また、それに対応した人材の育成も重要な課題である。しかし、**一番重要なことは、リアルな空間、リアルな思考と判断である**。「百聞一見にしかず」と言われるように、いくらインターネット検索を駆使して地理情報や写真、他人が作成した資料などをかき集めても、ただ一回の、**自分自身のリアルな体験**に勝ることはないであろう。

要は、インターネット上での情報と、旅行などのリアルな体験情報の間には、補完できない大きな差があることを認識しなければならない。ICTがあれば、何でもできると思っはいけない。ICTの利活用は、あくまでも**補完手段**であることを肝に銘じる必要がある。いつも感じるのであるが、海外旅行に行く前に、現地の情報をいくら検索して調べても、あまり頭の中には入らないが、海外旅行から戻ったあとに検索すると、どんどん知識として蓄積されていく。それは、使える知識であって、単なる知識ではない。この差を理解することが重要であると考えている。**コンピュータでいくら便利になっても、精神に思考をさせないと、どんどん退化していく**のである。

平成27年11月13日

ICT利活用 半島サミットin氷見

## クオリティ・オブ・ライフの実現

平成27年11月13日

ICT利活用 半島サミットin氷見

## 平成26年度「地（知）の拠点整備事業」

大学等が**自治体を中心に地域社会と連携し、全学的に地域を志向した教育・研究・社会貢献を進める**大学等を支援することで、課題解決に資する様々な人材や情報・技術が集まる、地域コミュニティの中核的存在としての大学の機能強化を図ることを目的としています。

文部科学省

平成27年11月13日

ICT利活用 半島サミットin氷見



平成27年11月13日

ICT利活用 半島サミットin氷見











平成27年11月13日 ICT活用 半島サミットin氷見



平成27年11月13日 ICT活用 半島サミットin氷見



平成27年11月13日 ICT活用 半島サミットin氷見



平成27年11月13日 ICT活用 半島サミットin氷見



平成27年11月13日 ICT活用 半島サミットin氷見



平成27年11月13日 ICT活用 半島サミットin氷見

## 事例紹介 1

### 「市民と事業者、行政で考える氷見市ホームページ リニューアルの取り組み」

氷見市 市長政策・都市経営戦略部 秘書・市民情報課  
市民情報・つぶやき受発信担当 矢代 宏樹 氏



## 市民と事業者、行政で創り上げる 氷見市ホームページリニューアルの取り組み

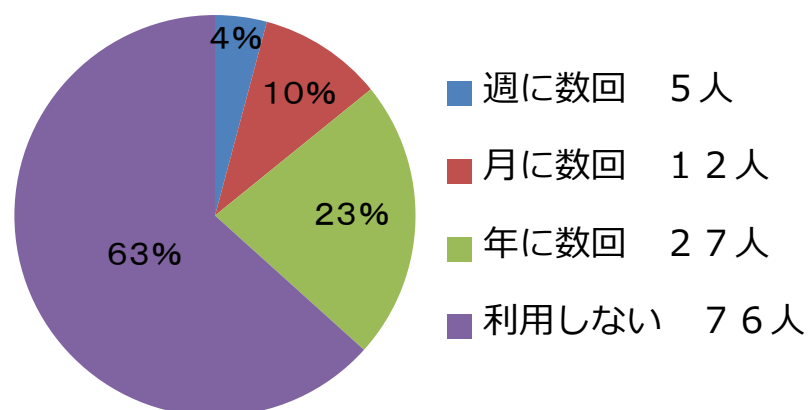
氷見市  
市長政策・都市経営戦略部  
秘書・市民情報課  
主任 矢代 宏樹

### ホームページの利用状況について

#### 設問

氷見市の公式ホームページはどの程度利用しますか？

サンプル数120人※ホームページ導入事業者と氷見市の調査結果より抜粋



→市民にあまり利用されていないホームページ



# 現在の氷見市のホームページ



## ホームページに関する氷見市の状況



氷見市ホームページ検討委員会から提出された提言書を基にプロポーザルを実施

現在

導入事業者が決定し、平成28年4月1日のホームページリニューアルに向けて準備中



# 今回の事例紹介の概要

- 行政のホームページの課題
  - どこを見ても似たようなものに
  - 氷見市は市民参加・事業者参加で解決に取り組む

これまで、どのようなことを行ってきたか  
その取り組みについて紹介

---

## 目次

1. 氷見市の紹介
2. 氷見市ホームページ検討委員会とは
3. 検討内容の紹介
4. 事業者の決定方法について
5. おわりに・今後の展望

# 氷見市の紹介

能登半島の東側付け根部分に位置

豊かな魚食

- ・初夏「マグロ」、冬「寒ブリ」
- ・広辞苑にも載る「氷見いわし」



面積：230.56 km<sup>2</sup>  
人口：49,921人  
世帯：17,693世帯  
(平成27年11月1日現在)

最近では、体育館をリノベーションした新市庁舎が全国区のテレビ等で取り上げられることも

## 市民と職員で使い方を決めた新庁舎



廃校となった高校の  
体育館をリノベーション



実際に利用する市民や  
働く職員の意見をワーク  
ショップで取り入れた



ファシリテーション・  
インパクト・アワード  
金賞

日経ニューオフィス賞  
ニューオフィス推進賞

優秀ファシリティマネ  
ジメント賞



## これまでの事業の進め方

- さまざまな事業において、主に「担当者」と「事業者」が内容を決定
- 実際に利用する市民の意見を取り入れることは・・・
- 担当者の考えや思いが強く反映

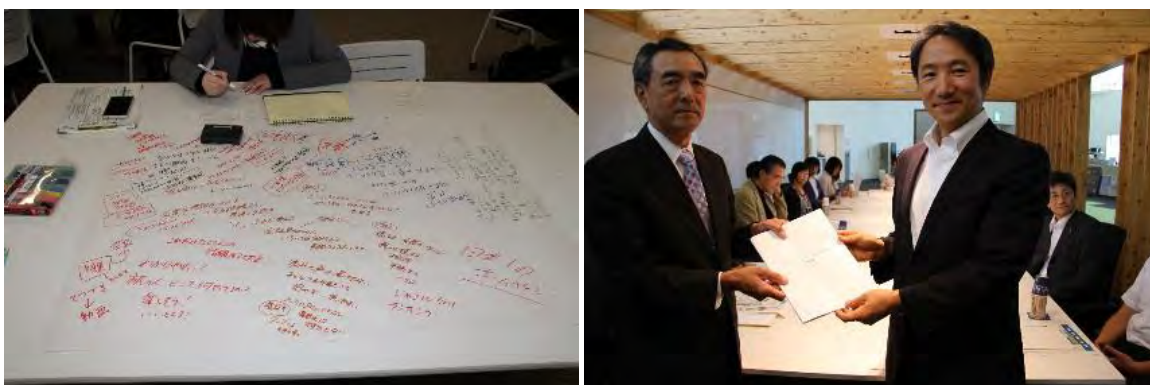
# リニューアルにあたって

- 市長より
  - 市民の声を聞いてリニューアル  
事業者も入ると面白い提案があるのでは  
どこかで日本一と言える要素が欲しい
- 入庁9年目 福祉課→総務課→HPの担当へ
- 市民参加を担当した経験なし

さまざまな人の協力により実施  
取り組みについてご紹介



## 2. 氷見市ホームページ検討委員会





## 氷見市ホームページ検討委員会の概要

市民や団体、ホームページ関係事業者からなる委員会を設置

### 市民・団体

ホームページに求めるデザイン・  
機能・運用を提案



### ホームページ関係事業者

市民・団体の提案に技術面からの  
意見最新の技術を紹介

### ゼロベースで理想のホームページについて検討



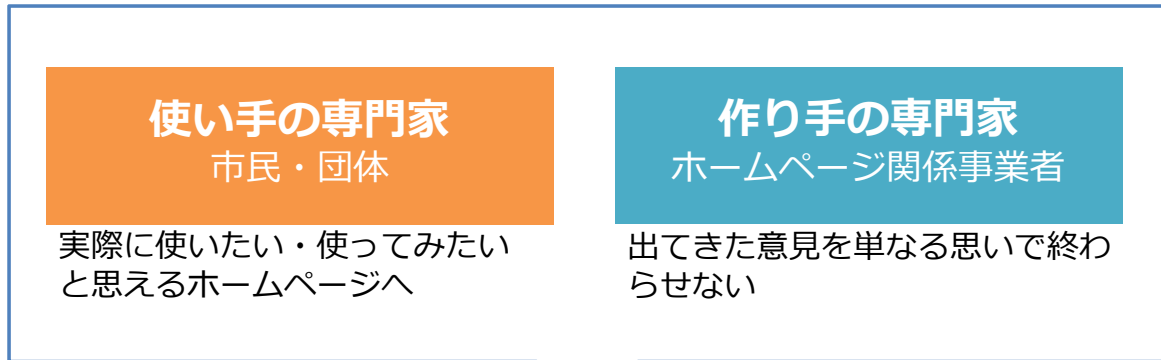
市民の皆さまにご満足いただける  
機能や使い方、手触り感、デザイン水準を確保

## 氷見市ホームページ検討委員会の組織

	内容
目的	本当に市民が必要とするホームページを 市民や事業者と共に創り上げる
公開日	平成28年4月1日 リニューアル
期間	平成26年10月9日から 仕様書の作成まで
予算	2,500万円 (平成20年度のリニューアル1,800万円)
報酬	無報酬
委員数	40人
内訳	市民・団体23名 ホームページ関係事業者17名(8社)

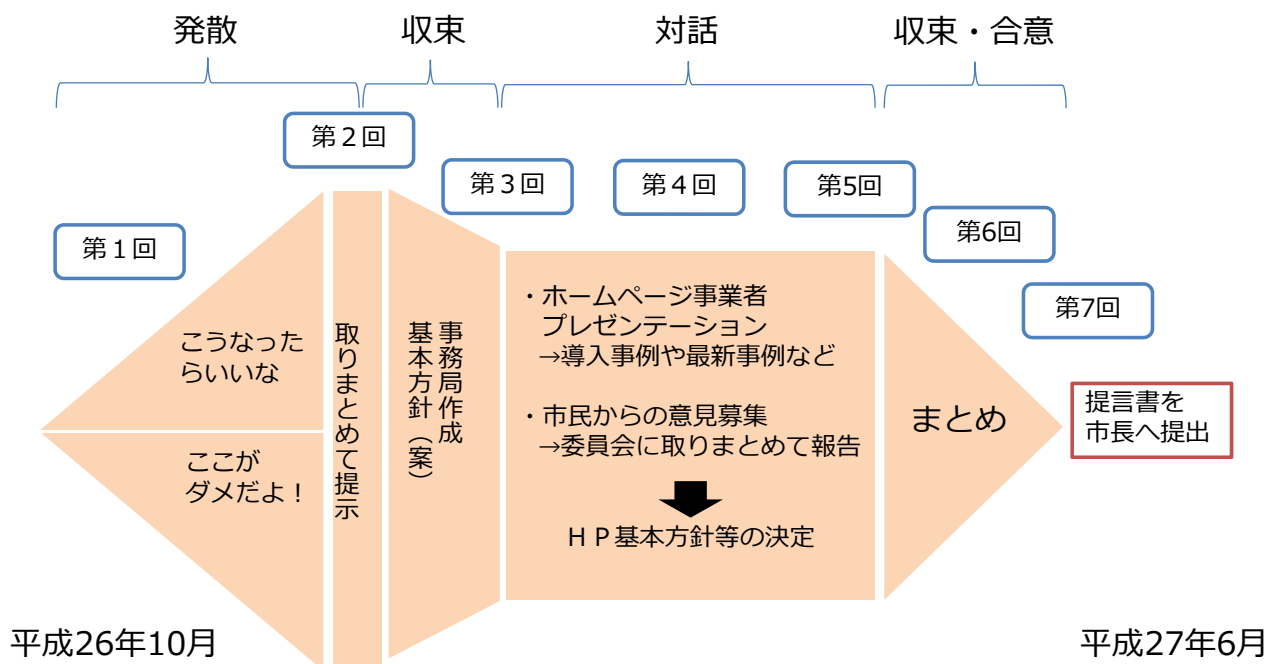
# 特徴：ホームページ関係事業者も一委員として参加

ホームページのような専門性が高い分野



**新たな価値の創出！**

## 委員会の進め方





## 合計 13 回開催

氷見市HP検討委員会 7 回開催

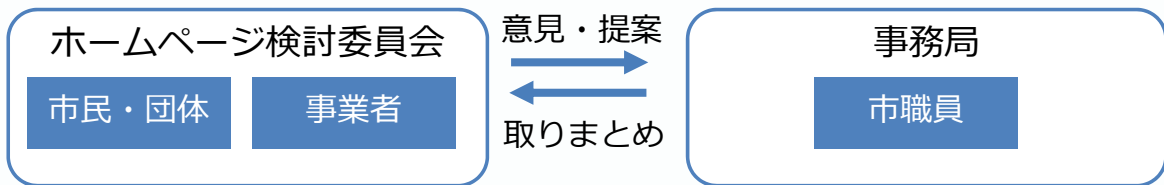
有志によるワーキンググループ 6 回開催  
(希望する委員で事務局と素案を作成)



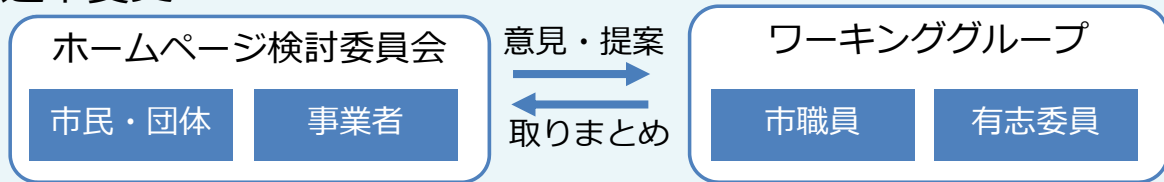
日付	委員会等
10月9日(木)	第1回氷見市HP検討委員会
11月19日(水)	第2回氷見市HP検討委員会
1月23日(金)	第3回氷見市HP検討委員会
2月18日(水)	有志による臨時打ち合わせ
2月26日(木)	第4回氷見市HP検討委員会
3月10日(火)	有志によるワーキンググループ
3月23日(月)	有志によるワーキンググループ
4月9日(木)	有志によるワーキンググループ
4月25日(土)	有志によるワーキンググループ
4月29日(水)	第5回氷見市HP検討委員会
5月15日(金)	有志によるワーキンググループ
5月21日(木)	第6回氷見市HP検討委員会
6月3日(水)	第7回氷見市HP検討委員会

## 委員会での意見の取りまとめ

当初



途中変更



# 委員会の取り組みについて

## 担当者だけでは発想できない広がり

- 市民と事業者が、まずはホームページに対する思いを語った
- 途中から、担当者も委員の一員として

検討委員会の思いを  
提言書という形に

## 3. 検討内容の紹介

### 氷見市ホームページの目指す姿

1

日本一、  
市民にやさしい



2

日本一、  
市民の声が反映される



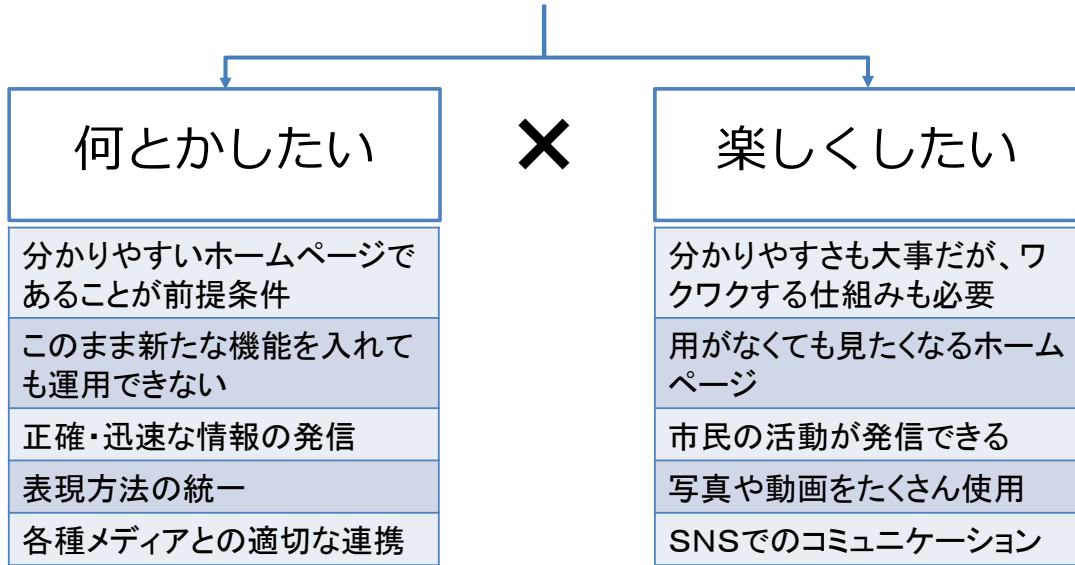
3

日本一、  
進化していく



## それぞれの委員で思いが異なる

### 氷見市のホームページを



限られた時間と予算の中、どちらを選ぶかという議論に

## 職員の常識に対し、第三者目線で指摘

「担当者としては、絶対に守るべき事項」

- 新HP公開日：平成28年4月1日
- 予算額：2,500万円（平成26年度繰越分）

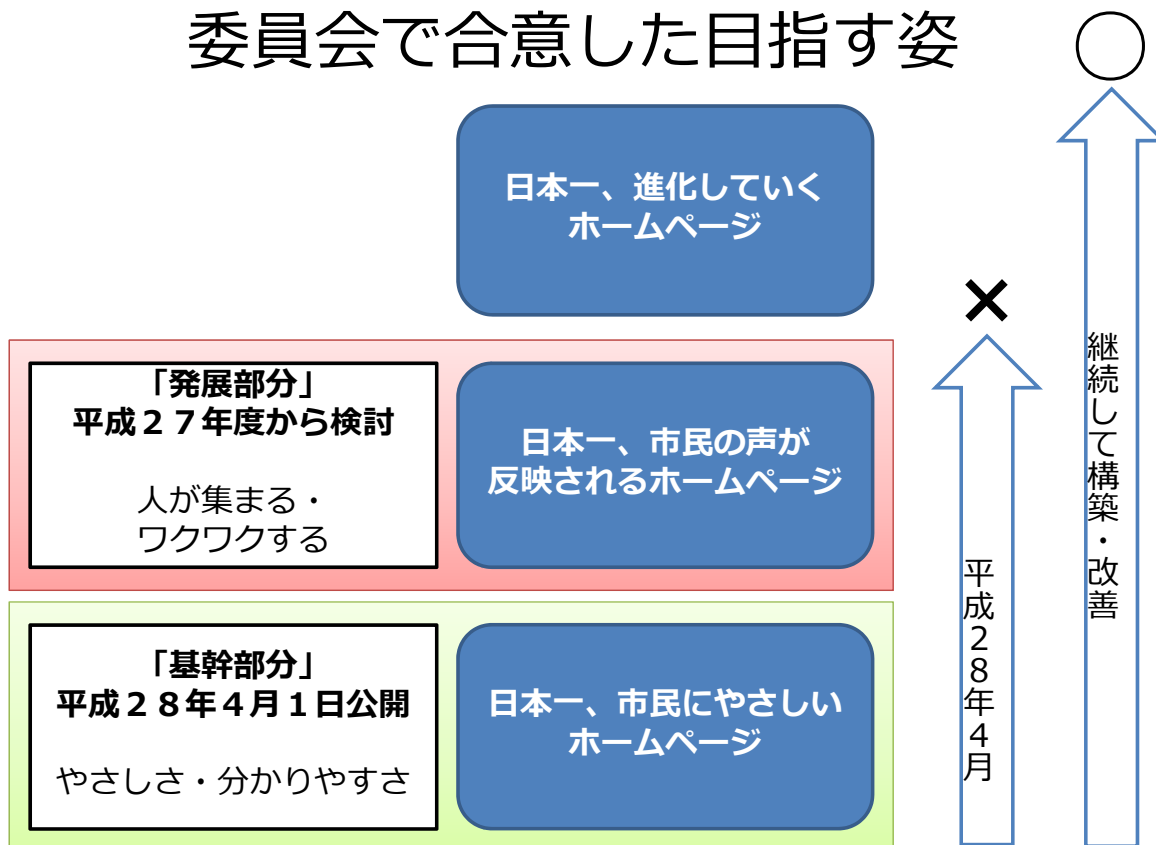


検討委員会からの意見

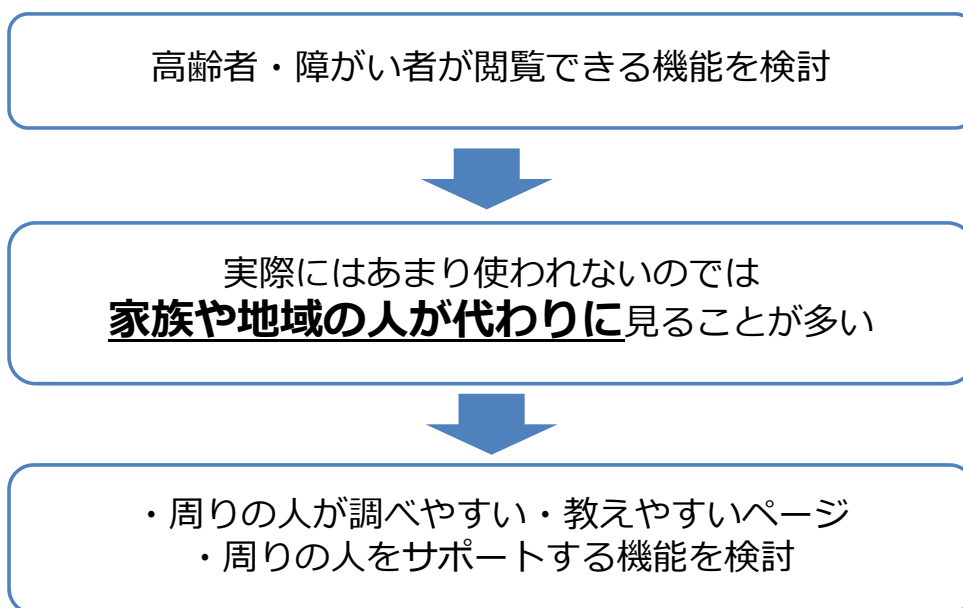
こうして集まったからには <b>日本一のホームページ</b> にしたい	<ul style="list-style-type: none"> <li>• やりたい事に対する予算としては少ない</li> <li>• 導入後の運用面にも関わっていきたい</li> <li>• 年々、予算を付けて充実させていく方法も</li> <li>• さまざまな補助金も受けられるのでは</li> </ul>
-------------------------------------	---



## 委員会で合意した目指す姿



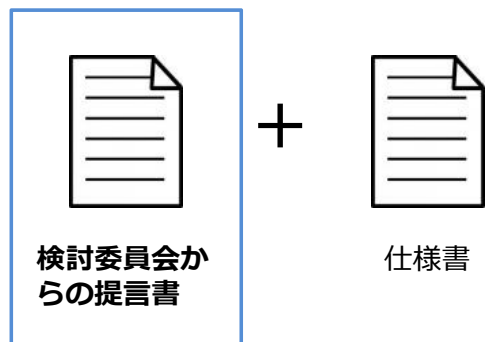
## 検討委員会の中で出た意見の紹介



委員会での意見を事業者の協力のもと形に

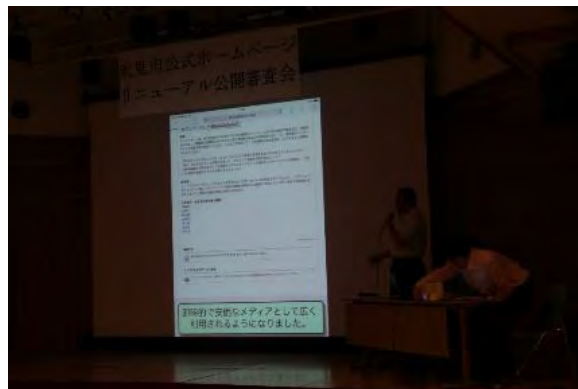
## 提言書の取り扱いについて

- ・平成27年6月3日 市長へ提言書の提出
- ・市ではプロポーザルの資料として公開



審査配点表は提言書に沿って作成し公開

※提言書は氷見市ホームページで公開



## 4. 事業者の決定方法について





# 導入事業者の決定方法について

## 課題

事業者も仕様書の作成に関わっている中で、  
どのように公平性を担保するか

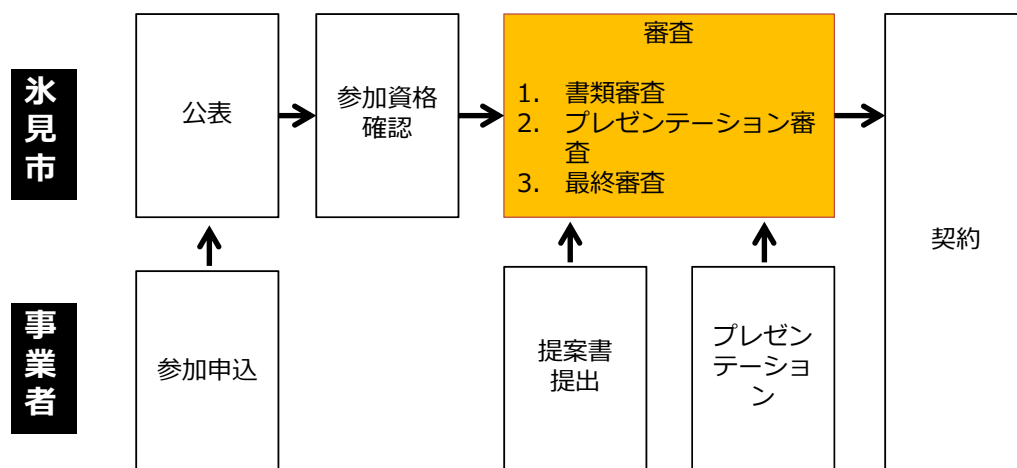


## 「市民参加の公開プロポーザル」 の実施

## プロポーザル方式とは

複数の事業者に目的物に対する**企画を提案**してもらい、  
その中から最も適した受託候補者を特定する方式

### プロポーザルの流れ



## 審査方法に対する思い

### 市民・ 団体

- 提言書に沿った提案がされているか
- 事業者の決定にどの程度関わることができるか

### 事業者

- 決定までのプロセスについて納得のできる審査方法か

### 氷見市

- 外部から不透明との指摘がされないか
- 提言書に関わった市民・団体、事業者が納得できるか

納得できる決定方法を検討委員会で検討

## 氷見市公式ホームページは 市民の皆様と共につくります。

1 仕様書の検討から市民が参加



氷見市ホームページ検討委員会の設置

2 事業者の決定を市民参加で実施

市民が審査員

&

公開審査

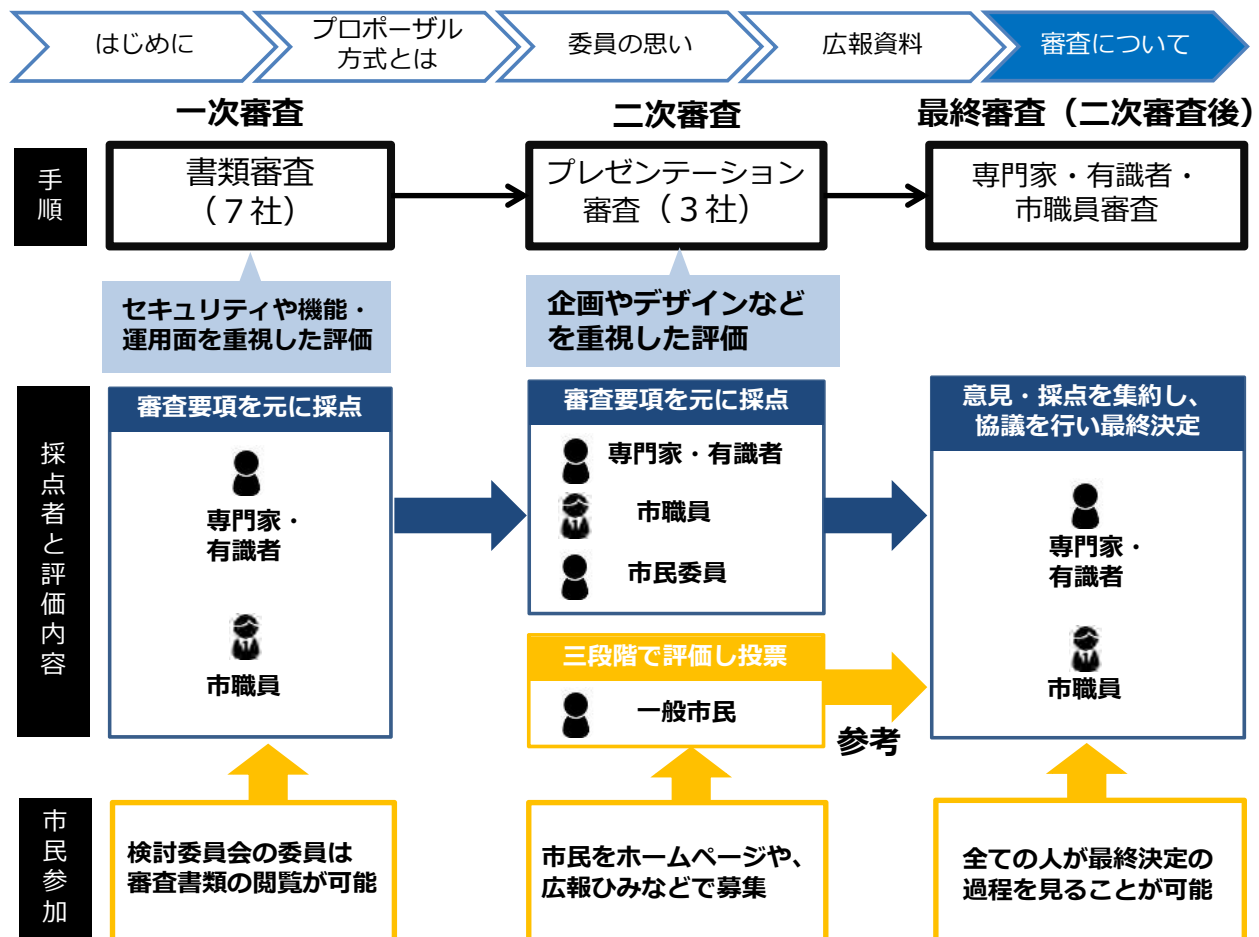
プレゼンテーション公開審査会を実施

# 公開審査会を実施します

各事業者がホームページを活用した様々なアイデアを提案します。是非ご覧ください。

当日参加  
大歓迎!

日時：7月25日(土) 9時00分開始  
場所：いきいき元気館 3階大ホール



# 公開プロポーザルを実施して 決定までのプロセスが見えにくいという 課題には答えられた



現在は、リニューアルに向けて  
導入が進む

## 5. おわりに・今後の展望

日本一市民にやさしい、日本一市民の声が反映される、日本一進化する  
**ホームページへ**

**2016年4月、氷見市ホームページが生まれ変わります！**

市民の声  
より良い未来の実現を目指し、  
みんなでアイデアを出しあい、  
議論していきます。

市議員からの声  
有識者からの声

議論の結果を反映

新しくこんな事ができるようになります。

- 外出先などで**  
スマートフォンやタブレットでどこからでも調べることができます。
- 符合スペースなどで**  
市の発行する紙版やSNSの投稿も掲載することができます。
- 子育てセンター**  
公民館などで子育て支援センターや公民館へ行くついでに調べることができます。
- 申請・手続き**  
手続きのわかりやすく調べることができます。
- イベント**  
市の開催イベントがここから一目でわかるようになります。
- バーチャル庁舎案内**  
360度見わたせるバーチャルの庁舎内を見学利用できます。

他にもこんな事ができるようになります。

- 印刷**  
印刷・手紙や図説をわかりやすく印刷できます。
- SNSとの連携**  
TwitterやFacebookとも連携しているため、最新情報をすぐキャッチできます。

**新しいホームページ**  
新しいホームページは、よりきれいに、より見やすく、よりわかりやすくなります！

さらに氷見市ホームページが目指す未来はこんな事を考えています！

**第三の市役所の実現**

- 市役所が近づきます。  
従来の公民館等に市役所の一部機能がやってきます。
- 手続きで悩むことがなくなります。  
手続き方法のわかりやすさを追求します。
- 市の未来を語り、決めていきます。  
市民がどのようにしたいかをわかりやすく語り、議論し、共有する仕組みを構築します。

**広報メディア化の実現**

- 市の発信する情報をお届けします。  
あらゆる手段を使って情報を市民に届けます。
- 市内のあらゆるイベント情報を発信します。  
市民が参加しやすくなるイベントをはじめ、あらゆるイベント情報を発信していきます。
- 市内のあらゆるニュースを発信します。  
市のニュースをはじめ、市民のニュースをタイムリーに発信します。

## 市民が集まるホームページを目指して

- 検討委員会からの意見
  - 意見を出しただけで終わりではおもしろくない
  - 出てきた意見をどれだけ実現できるか

ひとつでも実現されれば、  
今後により深く関わっていきける



行政のホームページに  
ワクワクしながら関わる人が増えていく

## 氷見の情報が集まるホームページを目指して

### 現行のホームページ

課ごとの情報発信→縦割り

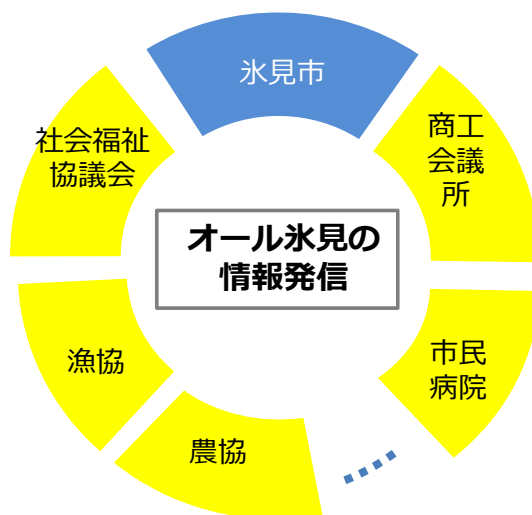


### 今後のホームページ

利用者目線で情報の分類→横の連携



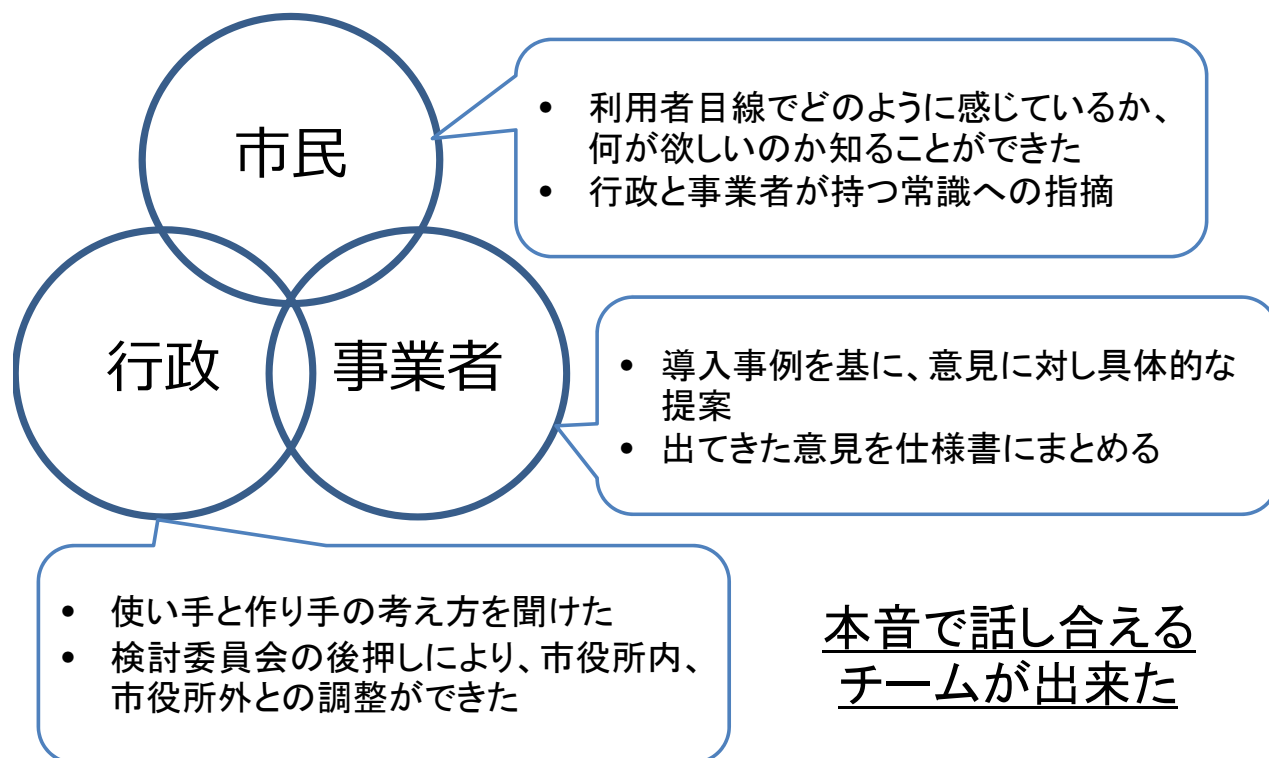
### 氷見に関する情報が集まる ホームページ



まずは各種関係団体にご挨拶



## まとめ：市民と事業者、行政による ホームページリニューアルを実施して



ご清聴、ありがとうございました

氷見市公式ホームページリニューアル  
平成28年4月1日公開



## 事例紹介 2

### 「ICT×シビックテックによる交流・連携の促進」

金沢市 市長公室 情報政策課

ICT推進室長

松田 俊司 氏





## ICT×シビックテックによる交流・連携の促進

平成27年11月13日

金沢市市長公室情報政策課  
ICT推進室長  
松田俊司

---

### 1. ICT利活用の位置付け



# 世界の交流拠点都市金沢 重点戦略計画



金 沢 市

平成 26 年 2 月

## 【理念】

責任と誇りを持てるまち金沢

## 【指針（都市像）】 H25. 3策定

世界の「交流拠点都市金沢」

## 【施策（十年間の実施計画）】 H26. 2策定

重点戦略計画

## 主要施策

### 魅力づくり ～個性を伸ばす～

- ・歴史文化資産の活用
- ・伝統文化の継承・発展
- ・MICEの促進
- ・スポーツの振興 など
- ・創造都市の推進
- ・食文化の継承・発展
- ・観光力の強化

### ものづくり ～活力を生み出す～

- ・金沢クラフトの振興
- ・起業支援の強化
- ・農業の振興
- ・中山間地域の活用
- ・ものづくり産業の活性化
- ・企業立地の推進
- ・林業の振興

### 環境づくり ～自然と共に生きる～

- ・エネルギーの自立
- ・安全で快適な生活環境の保持
- ・循環型社会の形成
- ・自然環境の保全

### 絆づくり ～協働を進める～

- ・市民協働の推進
- ・コミュニティ活動への支援
- ・行政サービスの充実
- ・学生の地域活動の促進
- ・生涯現役のしくみづくり

### まちづくり ～都市機能を高める～

- ・品格のあるまちづくりの推進
- ・情報インフラの整備・充実
- ・充実・調和のとれた都市構造の形成
- ・コンパクトな都市機能の集積 など
- ・広域交通基盤の整備
- ・交通ネットワークの確立

### ひとづくり ～未来を育む～

- ・特色のある教育の実施
- ・地域の担い手づくり
- ・子育て環境の充実

### くらしづくり ～安心して暮らせる～

- ・防災体制の強化
- ・障害のある人の自立支援
- ・保健・医療・福祉拠点の連携・充実
- ・消防・救急体制の強化
- ・健康長寿の推進

## 主要施策： まちづくり ～都市機能高める～

### 情報インフラの整備・充実

#### 情報インフラの整備と活用

公衆無線LANをはじめとする情報インフラの更なる整備を促進するとともに、無線LAN通信の先を見据えたモバイル通信の利活用をめざす。

#### ◎情報インフラの整備促進

前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
公衆無線LAN(Wi-Fi)普及促進		
	次世代型モバイル通信への対応検討	

## 絆づくり ～協働を進める～

### オープンガバメントの構築

情報通信技術を活用し、市政情報を可能な限り市民に提供することにより、自分たちの手で必要な事業を展開することができるよう金沢版のオープンガバメントを構築する。

#### ◎オープンガバメントの構築

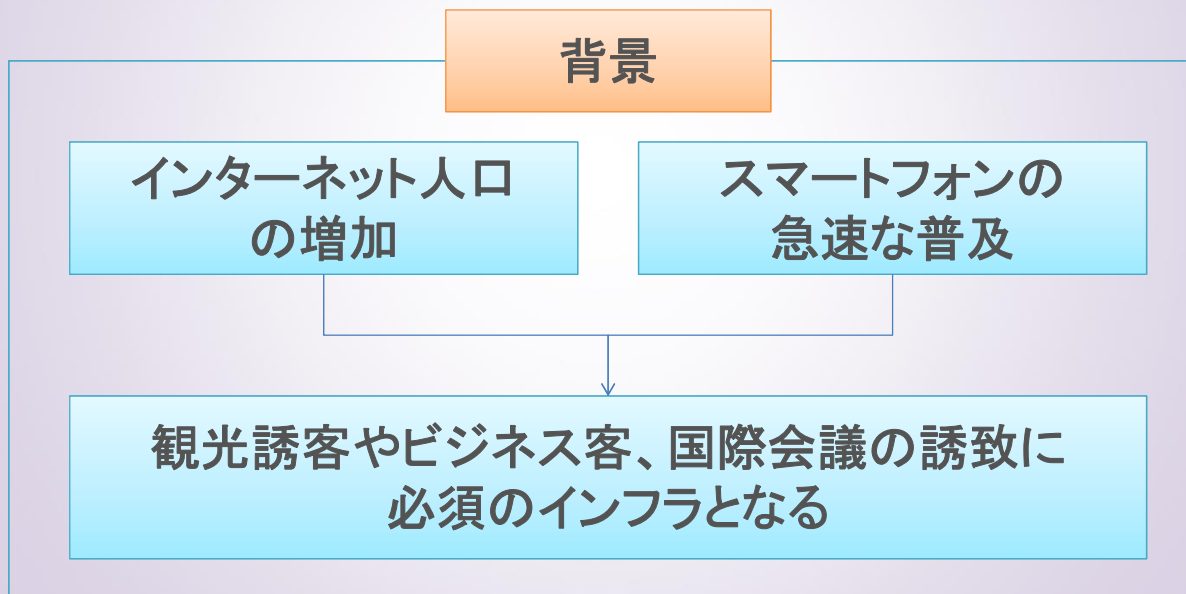
前期（25～27年度）	中期（28～30年度）	後期（31～34年度）
オープンデータの推進 実験的な公共サービス支援等	オープンデータの範囲拡大 民間による公共サービス支援等	オープンデータの充実等



## 2. 公衆無線LAN整備推進事業について

# 整備の目的と方向性

## 市長公約：公衆無線LAN化の実現

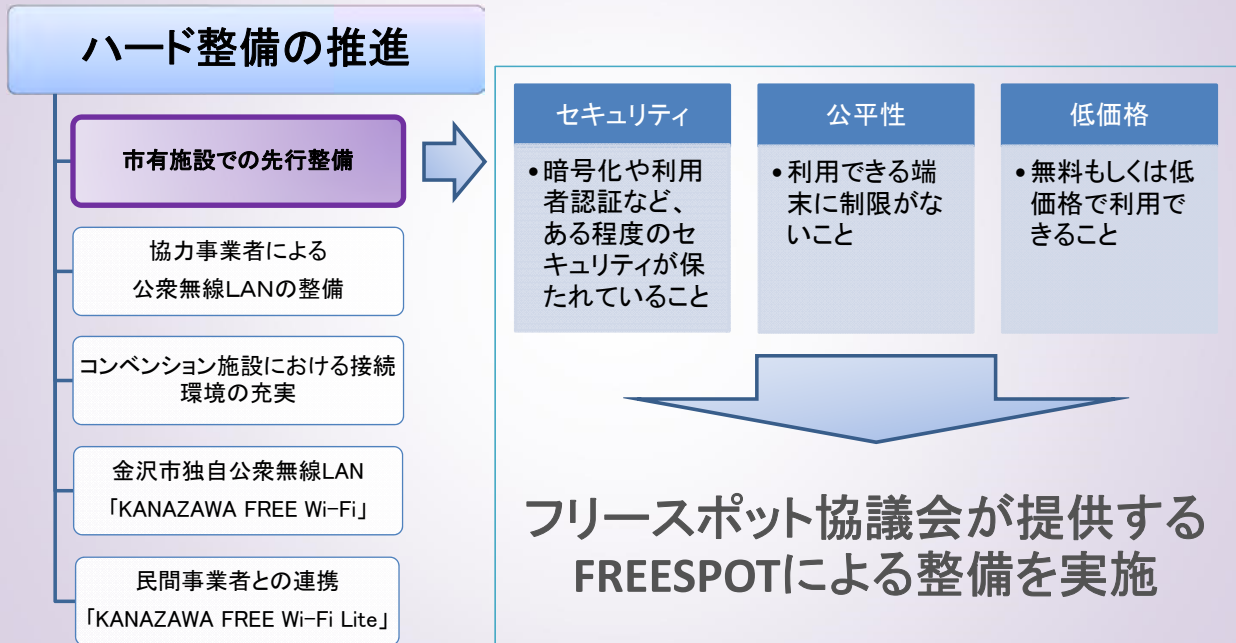


## 「公衆無線LAN化」をハード、ソフト両面で推進



# ハード整備の推進

## 市有施設での先行整備：H23～



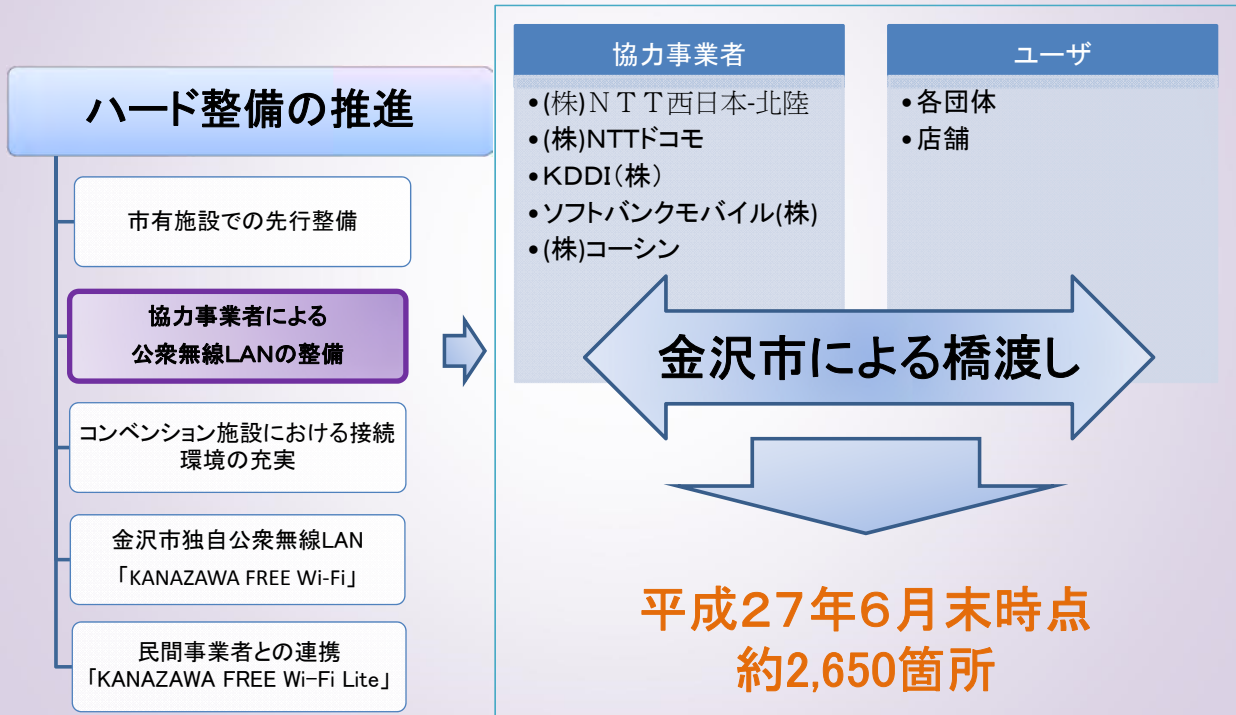
# ハード整備の推進

## 市有施設での先行整備

情報政策課による整備 (10施設)	その他 施設側による整備
<ul style="list-style-type: none"> <li>市役所本庁舎2階市民ホール</li> <li>金沢21世紀美術館情報ラウンジ</li> <li>金沢駅東広場東口もてなしドーム地下</li> <li>金沢美術工芸大学 附属図書</li> <li>ひがし茶屋休憩館</li> <li>長町武家屋敷休憩館</li> <li>西茶屋資料館</li> <li>歌劇座2階大集会室</li> <li>文化ホール3階大会議室</li> <li>市民芸術村パフォーミングスクエア大練習場</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>湯涌創作の森</li> <li>ITビジネスプラザ武蔵</li> <li>金沢市ものづくり会館</li> <li>鈴木大拙館</li> <li>金沢学生のまち市民交流館</li> <li>キゴ山ふれあいの里研修館</li> <li>図書館 など</li> </ul>

# ハード整備の推進

## 協力事業者による公衆無線LANの整備



# ハード整備の推進

## コンベンション施設における接続環境の充実:H25～





# ハード整備の推進

## 金沢市独自公衆無線LAN:H26～

### ハード整備の推進

市有施設での先行整備

協力事業者による  
公衆無線LANの整備

コンベンション施設における接続  
環境の充実

金沢市独自公衆無線LAN  
「KANAZAWA FREE Wi-Fi」

民間事業者との連携  
「KANAZAWA FREE Wi-Fi Lite」

まちなかの拠点における観光客、  
特に外国人観光客への対応

さらなる  
利便性UP

金沢  
ブランド



市が独自に金沢ブランドの  
Wi-Fiサービスを開始

# ハード整備の推進

## 金沢市独自公衆無線LAN



金沢駅東もてなしドーム  
(地上部及び地下部の一部)



金沢21世紀美術館周辺  
(金沢市役所前広場を含む)

平成27年1月本格運用開始





## ◆サービス概要

利用可能エリアで通信端末からWi-Fiに接続し、自動的に接続される専用サイトに**名前とメールアドレス**を登録すると利用可能になります。1回20分間の使用が何回でもできます。(登録情報は30日間有効)

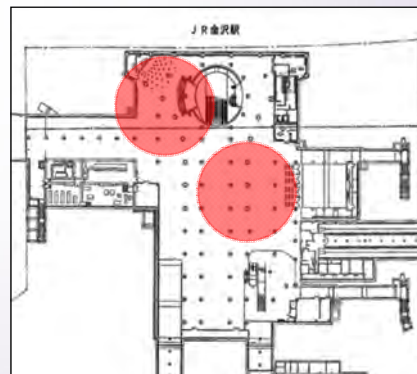
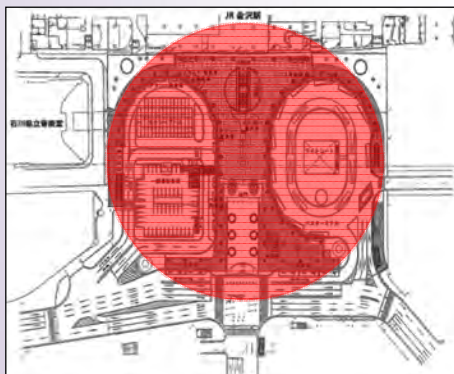
平成26年度 10拠点  
↓  
今年度 12拠点到拡充



①金沢駅東広場 (もてなしドーム地上部)



②金沢駅東広場 (もてなしドーム地下部)

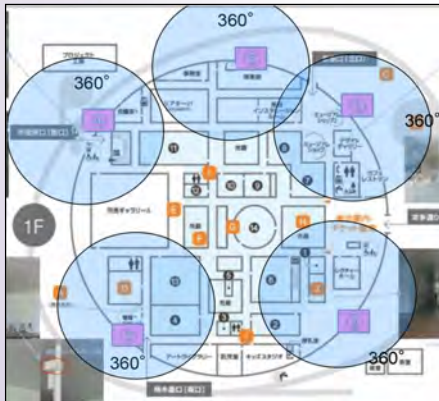




③金沢21世紀美術館



④金沢市役所前広場



⑤近江町市場入口 (武蔵ヶ辻バス停)



⑥香林坊バス停 (アトリオ前)



⑦香林坊アトリオ周辺



⑧片町一丁目交差点周辺

⑨香林坊大和 (1階と8階の一部)

⑩片町スクランブル交差点周辺



## 平成27年度：まちなかの代表的な観光地に整備

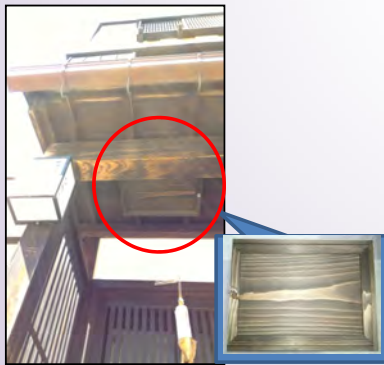


⑪ひがし茶屋街



⑫長町周辺

整備の特徴：アクセスポイント等の機器を専用の木箱等に収納するなど、景観に充分配慮した整備



## ◆ポータルサイトでの情報発信

Wi-Fi接続時にインターネットへの入り口として表示される「ポータルサイト」において、観光サイト情報などを表示します。



- ・日本語の他、英語、フランス語、中国語（簡体・繁体）、韓国語に対応
- ・大規模災害時には、利用者登録の有無に係わらずインターネット接続を開放する予定

## 『Japan Connected-free Wi-Fi』への参画

### NTT-BPが提供するアプリ「Japan Connected-free Wi-Fi」に参画

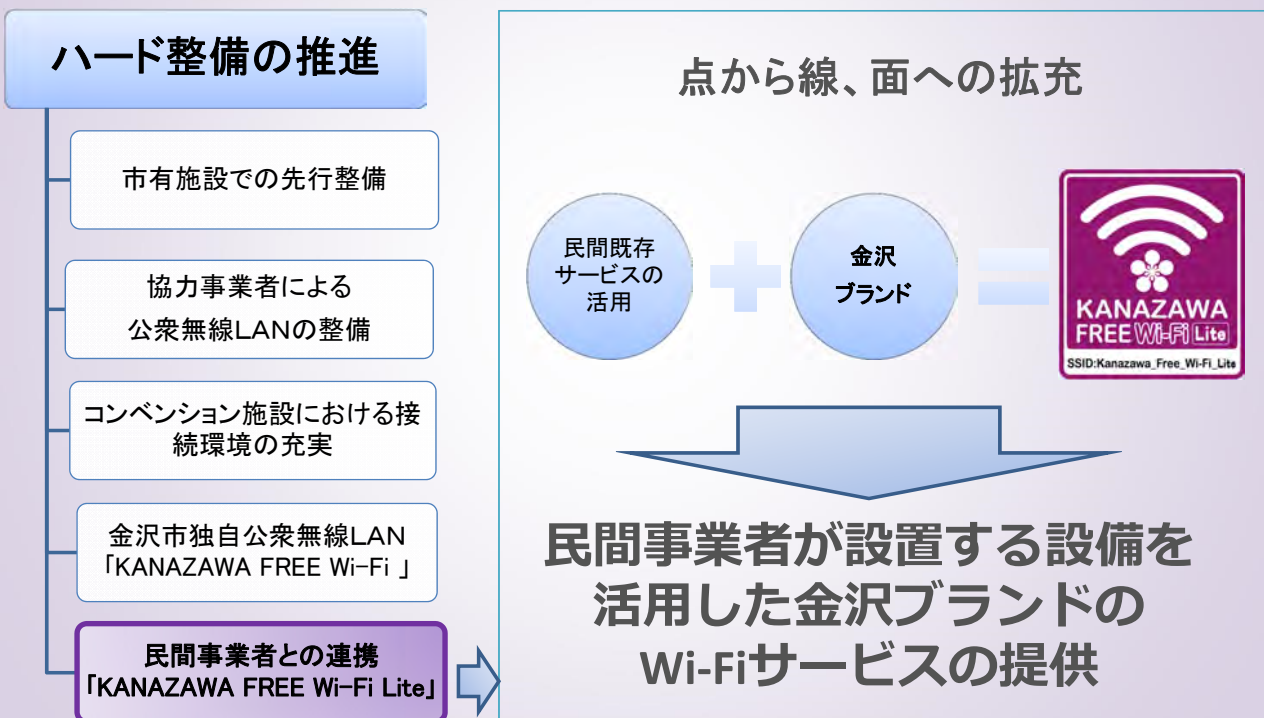
全国の主要空港、主要駅、観光施設などの約13万、市内では約500のアクセスポイントを、操作一つで、簡単に使用することが可能【認証連携】

#### 主な参画団体

空港 成田空港 羽田空港 大阪国際空港 那覇空港 仙台空港 新千歳空港  
 自治体 熊本県 沖縄市 福岡市 広島市  
 鉄道等 東京メトロ(主要駅) 都営地下鉄(主要駅) 都営バス(全車内) 東海道新幹線(のぞみ停車駅)

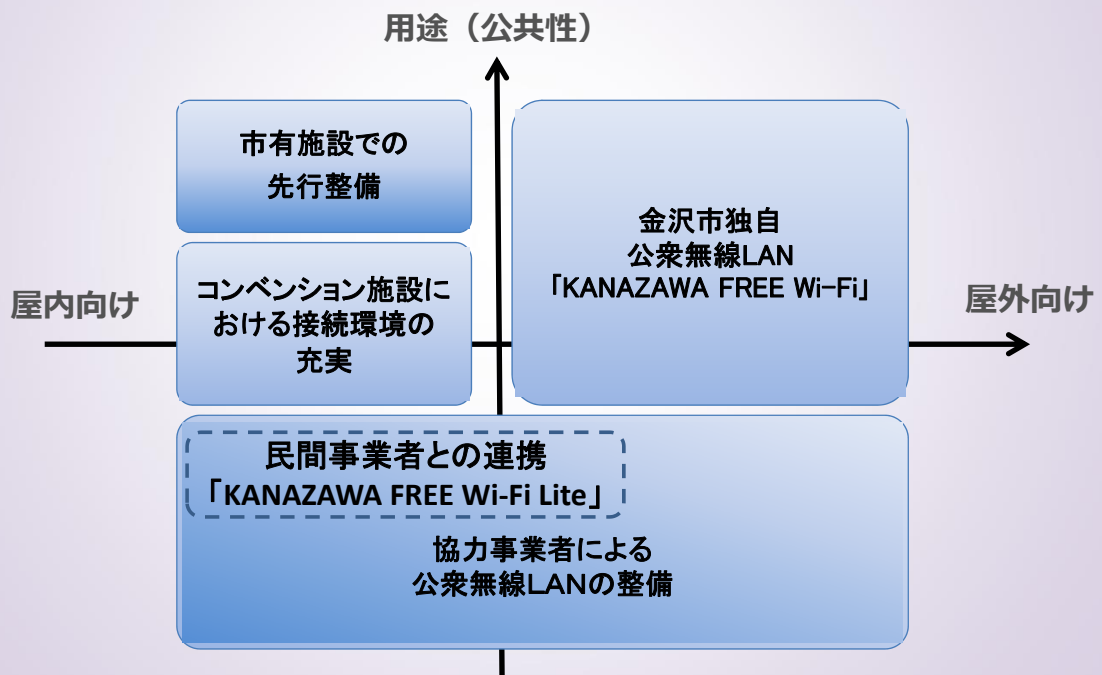


## ハード整備の推進 民間事業者との連携：H26～



# ハード整備の推進

## それぞれの位置付け



# ソフト面の事業展開

## KANAZAWAスマホアプリコンテスト

### ソフト面の事業展開

KANAZAWA  
スマホアプリコンテスト

スマートフォン用アプリの  
ポータルサイトの構築

北陸新幹線開業に向けて、金沢の魅力を国内外へ広く発信し、金沢への関心を高めるようなスマートフォン及びタブレット型端末向けのアプリケーションを提案募集する。

(今年度で5回目)



最終審査の発表風景です。会場は金沢21世紀美術館です。



# ソフト面の事業展開

## スマートフォン用アプリのポータルサイトの構築

### ソフト面の事業展開

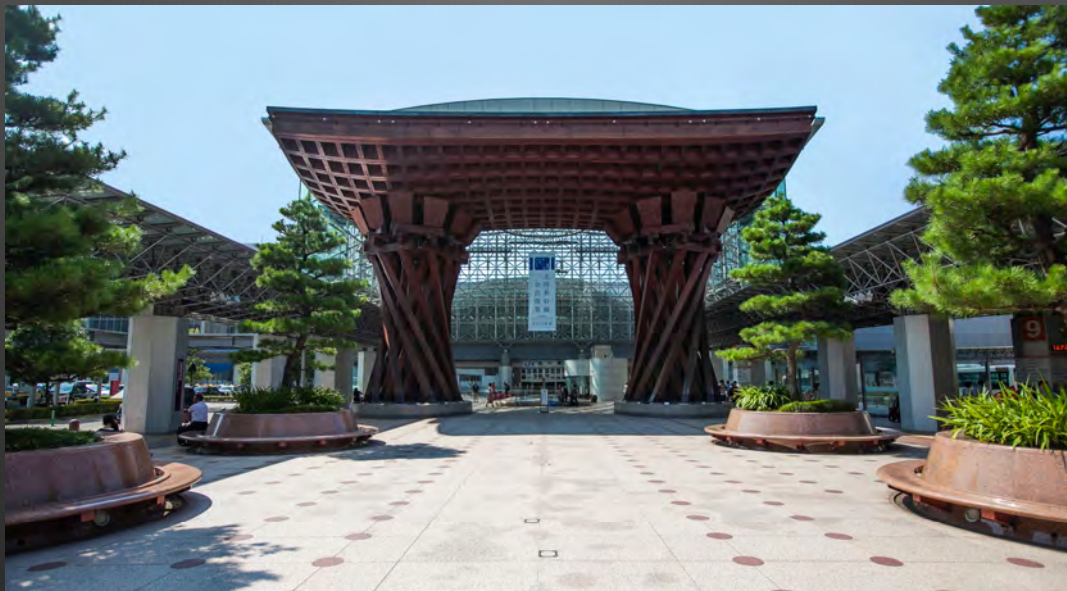
KANAZAWA  
スマホアプリコンテスト

スマートフォン用アプリの  
ポータルサイトの構築

### 金沢に関連したスマートフォン用アプリの 情報発信ポータルサイトの構築



### 3. オープンデータを活用した シビックテックと交流促進



# 金沢市の オープンデータ



## 金沢市施設オープンデータ

<http://www4.city.kanazawa.lg.jp/11010/opendata/>

平成25年1月～公開

The screenshot shows the Kanazawa City website with the following elements:

- Header: 金沢市 (CITY OF KANAZAWA) logo and navigation links for ENGLISH, 中文, 한국어, OTHERS, and text size options (大, 中, 小).
- Utility links: よくある質問, サイトマップ, 読み上げ-拡大 (ホームページ閲覧補助ソフト), and サイト内検索.
- Navigation menu: 暮らしのトップ, 防災・安全, 届出・税, 健康・福祉・子ども, 環境・まちづくり, ビジネス, 市政情報.
- Breadcrumbs: トップ > 市政情報 > 施設情報の二次利用.
- Section: 施設情報の二次利用について.
- Update Information (更新情報):
  - 施設情報のCSVファイルを更新しました (平成25年6月6日)
  - 「AED」サブジャンルを、「福祉・健康」ジャンルの下に新規追加しました (平成25年4月1日)
  - 「まちのり」ジャンルの名称を、「レンタサイクルまちのり」に変更しました (平成25年4月1日)
- Facility Information Secondary Use (施設の二次利用とは):
  - 金沢市は、市有施設等の公共データを二次利用可能なかたちで提供し、民間事業者等の様々なウェブサービス等に活用していただくことで、市民の利便性向上や地域の活性化につなげていきたいと考えています。
  - 今回は施設情報を、テキスト (CSV: Character Separated Values) 形式及びAPI (Application Program Interface) にて公開するものです。
  - 今後もデータが整備されたものから順次提供していく予定です。



## 金沢市施設オープンデータ

データ件数

約 **2,300** 件

【全15ジャンル】

- ①観光 ②文化・芸術 ③生涯学習 ④くらし
- ⑤こども ⑥スポーツ施設 ⑦福祉・健康
- ⑧ビジネス ⑨学校 ⑩公園 ⑪駐車場・駐輪場
- ⑫ふらっとバス ⑬レンタサイクルまちなのり ⑭避難所 ⑮環境

## 金沢市施設オープンデータ

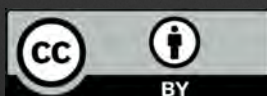
データ取得方法

- ①CSVファイルのダウンロード
- ②APIによるデータ取得

データ項目

緯度・経度、ジャンル、施設名称、概略、住所、  
連絡先、開館時間、休館日、料金、備考、リンク

ライセンス



# 金沢市画像オープンデータ

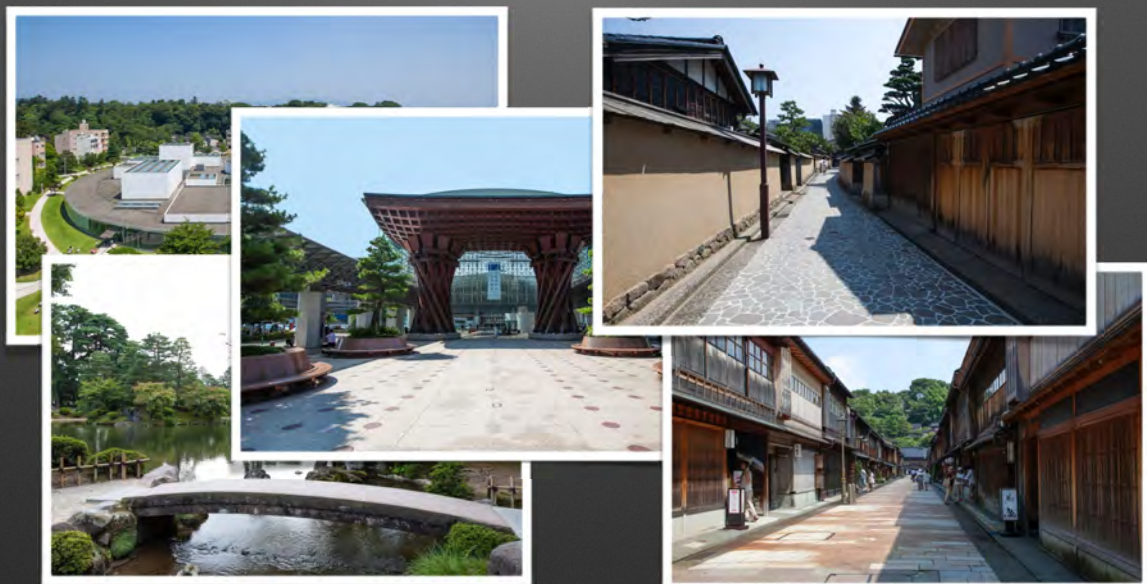
<http://open-imagedata.city.kanazawa.ishikawa.jp/>

平成26年3月～公開



# 金沢市画像オープンデータ

## 観光地や施設などの写真





## 金沢市画像オープンデータ

データ件数

約 **680** 件

写真＋メタデータ

撮影場所（住所、地域、座標）  
画像解像度  
撮影日  
等

## イベント情報オープンデータ

<http://www.kanazawa-arts.or.jp/info/opendata>

金沢芸術創造財団が所管する施設の  
イベント情報をオープンデータ化

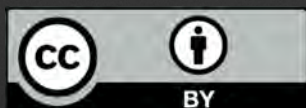
### 対象施設

- |             |            |
|-------------|------------|
| ① 金沢能楽美術館   | ② 金沢湯涌創作の森 |
| ③ 金沢卯辰山工芸工房 | ④ 金沢市民芸術村  |
| ⑤ 金沢市アートホール | ⑥ 金沢市文化ホール |
| ⑦ 金沢歌劇座     |            |

### 提供形式

JSON（JavaScript Object Notation）形式

### ライセンス





## オープンデータの 活用



## 金沢市公式アプリ

施設オープンデータを活用し、  
アプリ内で市有施設を案内



# KANAZAWAスマホアプリコンテスト

## 金沢に関連したアプリのコンテスト(平成23年度～)

「オープンデータ部門」を開催(平成25年度)

応募条件は「金沢市のオープンデータ」を利用していること

応募総数 15作品



# KANAZAWAスマホアプリコンテスト

## 平成25年度グランプリ『かなざわ避難支援ナビ』



Google Play にて公開中!



# KANAZAWAスマホアプリコンテスト

平成26年度市長奨励賞『金沢すきま旅』



## KANAZAWAアプリ開発塾

アプリ開発を目指す若者を育成（平成26年度～）

2名以上の学生グループを募集(今年度は個人も可)

「金沢を元気にするアプリケーション」をテーマに  
自ら地域の課題を発見し、解決するアプリを開発

エンジニアやデザイナー等によるセミナーや個別アドバイスを  
受けられる



# KANAZAWAアプリ開発塾

## 石川高専越野研究室『Gyozy』



## 民間での活用

あるんけ金沢

アーバンホーム

<http://portal.arunke.biz/>

<http://baibai.urbanhome.co.jp/>



(株) ビットストリーム



(株) アーバンホーム



## 市民による シビックテックの 取り組み



## 市民によるシビックテックの取り組み

### *Code for Kanazawa*

平成25年5月設立（平成26年2月一般社団法人化）

ITとデザインのかで地域の問題解決を図る

エンジニアの他、デザイナーや起業家、映像作家など  
幅広い人材で構成



## 市民によるシビックテックの取り組み

### Code for Kanazawa



**5374 (ゴミナシ) .jp**

<http://5374.jp/>

ゴミ出しのわかりにくさを、ITでシンプルに解決する

オープンソース化により全国70都市以上で公開

本市は環境部門からのデータ提供の他、周知面でも協力

## 市民によるシビックテックの取り組み

### Code for Kanazawa

**Code for Japan Brigade Meetup** 平成26年8月30日

北は旭川から南は石垣島まで、全国29のCodeforコミュニティが金沢に集結し、初のミーティングを開催！



# 市民によるシビックテックの取り組み

## 国際的なオープンデータの日

世界中の国や都市などの公共機関が取り組んでいるオープンデータ施策をサポートして、利用を促進するイベントを金沢で開催！



平成26年2月22日



平成27年2月21日

次回は平成28年3月5日(土)開催予定！

## 市民との協働と 交流促進





## 市民との協働と交流促進

### シビックテックへの期待



市民がテクノロジーを活用して公共サービスなどの地域課題解決を行うこと



## 市民との協働と交流促進

### オープンデータ



KANAZAWAスマホアプリコンテスト  
KANAZAWAアプリ開発塾  
Code for Kanazawa

技術者や学生等が  
ICTスキルを活用



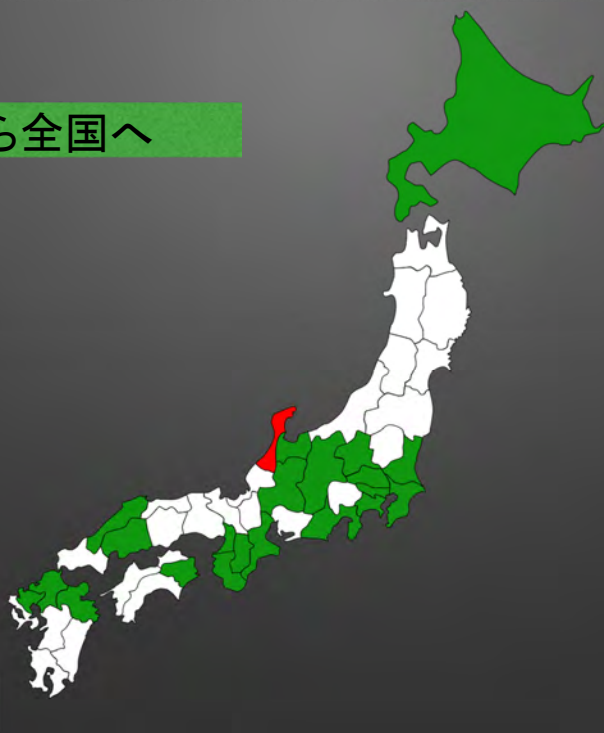
### アプリ

### シビックテックの広がり

# 市民との協働と交流促進

金沢から全国へ

5374.jp

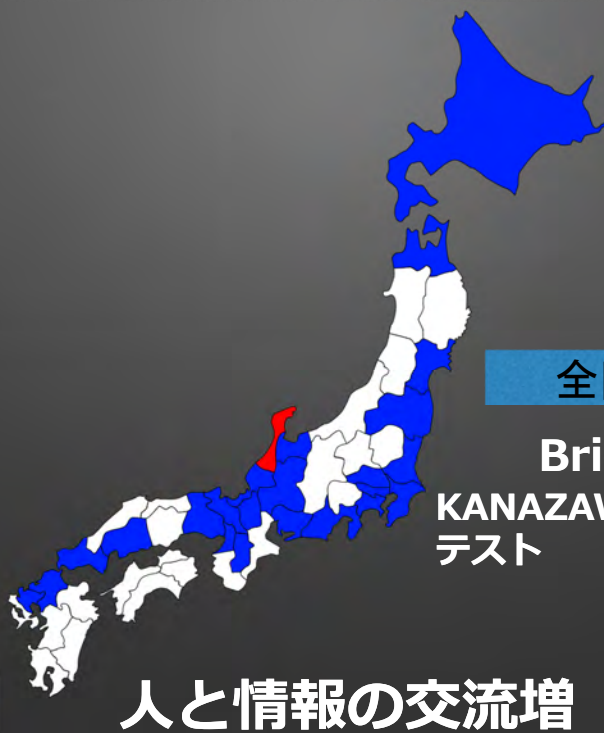


# 市民との協働と交流促進

全国から金沢へ

BrigadeMeetup  
KANAZAWAスマホアプリコン  
テスト

人と情報の交流増



## 市民との協働と交流促進

世界の「交流拠点都市金沢」をめざす  
～市民が創る誇りあるまち～



**オープンデータによる新しい協働と交流は、  
交流拠点都市金沢の基盤となる**

ご清聴ありがとうございました。





# 現地視察及び説明

## 「TOYAMA Free Wi-Fiについての紹介」

富山県 経営管理部 情報政策課

課長 荻布 彦氏





# TOYAMA Free Wi-Fi の概要

平成27年11月14日(土)  
富山県情報政策課 課長 荻布彦

## 3月14日『北陸新幹線』開業

**列車名**

**速達タイプ** **かがやき**  
東京～金沢 10往復

**停車タイプ** **はくたか**  
東京～金沢 14往復  
長野～金沢 1往復

**シャトルタイプ** **つるぎ**  
富山～金沢 18往復

● **所要時間の短縮** (富山～東京間)

現行(平均) 3時間26分 → 1時間余短縮 → 新幹線開業後 2時間8分

新大阪～富山 3時間15分  
(金沢開業時) → 3時間10分【約5分短縮】  
(敦賀開業時) → 2時間30分【約45分短縮】

● **年間輸送能力(座席数)の大幅増**

現在 約600万席 (往復) 12両編成(934名) → 約3倍 → 新幹線開業後 約1790万席+α



### サービスレベルの向上

● **グランクラスの導入**  
(グリーン席よりグレードの高いクラス)

東北新幹線(青森開業時)に次ぎ全国で二番目

- 全洋式トイレが温水洗浄機能付
- 全座席に電源コンセント設置 (普通車を含む全座席に設置)

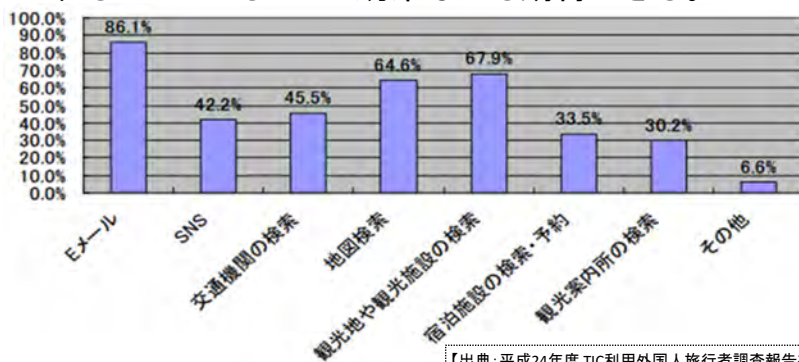
● 料金の比較 (富山～東京 片道)	普通車指定席	グリーン席	グランクラス
現行(はくたか+上越新幹線)	11,910円	16,350円	—
北陸新幹線 A	※1 12,730円	17,360円	25,580円
現行 全日空 (富山～羽田) (27年3月平日、羽田空港使用料含む)	普通席	プレミアムクラス	
	※2 24,890円	30,390円	
<b>差引(A-B)</b>	<b>▲12,160円</b>	<b>▲13,030円</b>	<b>▲4,810円</b>

※1 インターネット割引は10,880円(前日まで予約)～12,090円に値下げ(当日予約可)  
 ※2 H27.3.14～10.24の特割運賃は、11,000円～12,700円に値下げ

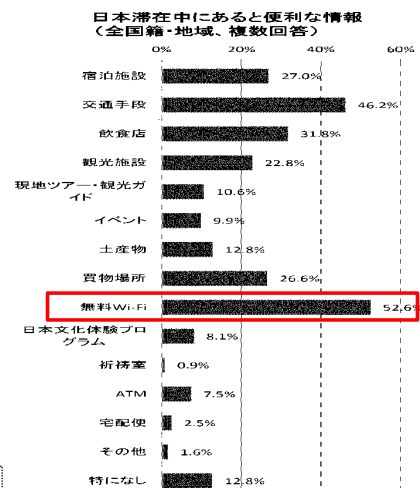


## 1 観光振興：外国人観光客のニーズ

- (1) 訪日外国人にとって日本滞在中にあると便利な情報は、「無料Wi-Fi」(レジャー・観光目的で53%)が一位
- (2) 外国人観光客のインターネット利用目的は、情報収集(検索・ナビ)と情報発信(SNS等)  
⇒料理や観光地の写真をその場でSNSへアップすることによる口コミ効果なども期待できる。



【出典：平成24年度 TIC利用外国人旅行者調査報告書】



【出典：訪日外国人の消費動向(観光庁) 平成27年4-6月期報告書】

## 2 防災対策：災害時の情報通信手段の確保

東日本大震災で、被災地の復旧支援活動や避難所等において、Wi-Fiが有効な通信手段として機能したと評価

# I TOYAMA Free Wi-Fiの誕生

☆キーワードは《利用者目線》☆

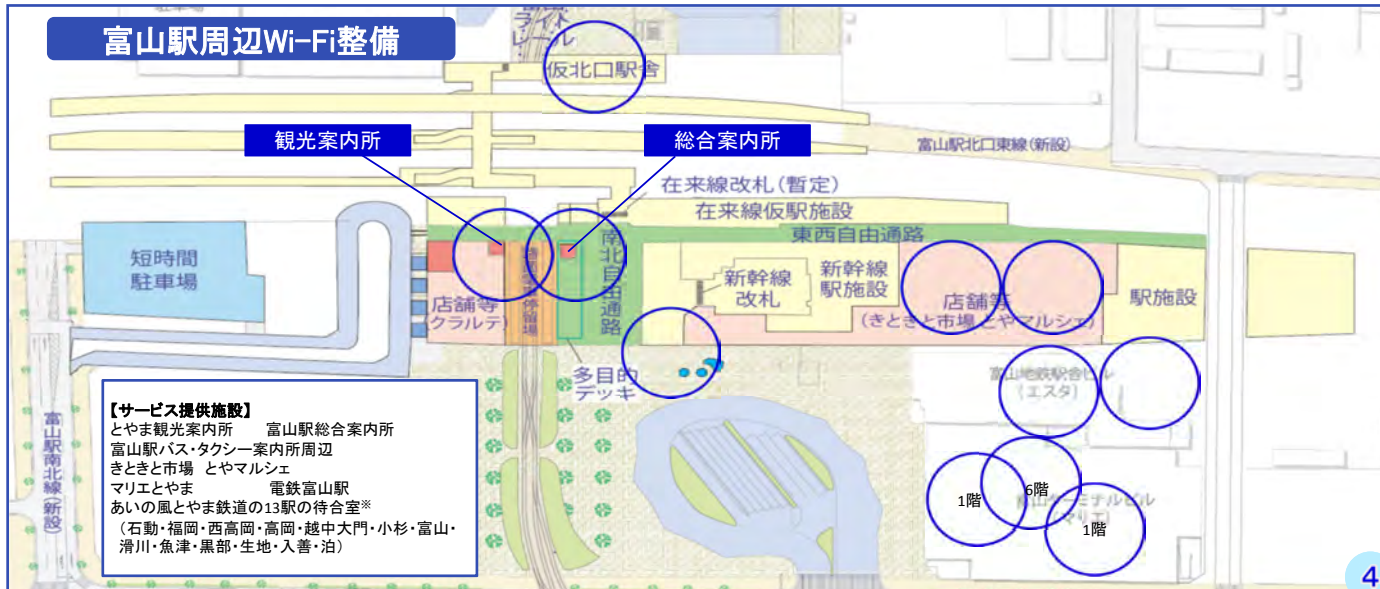
## H27.3.14 北陸新幹線開業

国内外からの観光客・ビジネス客の利便性向上を図るため、フリーWi-Fiの環境整備が必要  
⇒各施設設置者が個々に整備を予定

## 問題点

- ①メールアドレス登録等利用開始手続きが煩雑。  
「ネット接続の手段を持たないから無料Wi-Fiを利用したいのに、ネット接続環境を別に用意する必要がある。矛盾をはらんだ仕組みを訪日外国人に押し付けている。」との指摘もある。  
2014.12.5日経コミュニケーション「記者の目」『広く早く、すぐ使える』、進化系の無料Wi-Fiが日本を覆う
- ②事業者によって利用開始手続きがすべて異なり、移動するたびに手続きが必要

## 富山駅周辺Wi-Fi整備



## 2 富山駅Wi-Fi整備推進協議会の設立

### 経過

- H26.12.15 第1回富山駅(駅周辺含む)Wi-Fi整備のあり方研究会 (方向性、協議会設置について確認)
- H26.12.22 富山駅(駅周辺含む)Wi-Fi整備推進協議会設立

### 目的

- 誰もが、簡単に、無料で、切れ目なく利用できるフリーWi-Fi環境の整備

### 構成員

- 座長: 富山県経営管理部長  
副座長: 富山市副市長
- 施設設置者:
- ・富山市交通政策課 (富山駅総合案内所、富山駅バス・タクシー案内所周辺)
  - ・富山市観光振興課 (とやま観光案内所)
  - ・あいの風とやま鉄道(株) (あいの風とやま鉄道の13駅の待合室)
  - ・富山ターミナルビル(株) (きとときと市場 とやマルシェ、マリエとやま)
  - ・富山地方鉄道(株) (電鉄富山駅)
- 関係課
- ・富山県総合交通政策室、都市計画課
  - ・富山市富山駅周辺地区都市整備事務所、情報統計課
- 事務局
- ・富山県情報政策課

県と富山市、民間企業で協議会を設置し、共通SSIDを設定、利用開始手続きを統一することにより、切れ目のないWi-Fiサービスの提供を実現

目的

官民が連携し、県内において、外国人を含む観光客及び利用者がストレスなく、無料で利用できる公衆無線LAN環境の整備の推進  
**⇒富山駅周辺で始まったWi-Fi整備の動きを全県へ拡大**

経過

- H27.5.12 第1回TOYAMA Free Wi-Fi整備推進協議会の開催  
協議会の設立、Wi-Fi整備に関する今後の取り組みに関する意見交換
- H27.10.1 第2回TOYAMA Free Wi-Fi整備推進協議会  
サービス提供方法の見直し(認証サービス事業者の追加)に関する協議

活動内容

- (1) TOYAMA Free Wi-Fiサービスエリアの拡大に関すること
- (2) TOYAMA Free Wi-Fiサービスの積極的な周知に関すること
- (3) その他協議会の目的達成のために必要な事項に関すること

構成員

北陸総合通信局、県、市町村、観光関係団体、民間通信事業者、交通事業者  
 (会長: 県経営管理部長 副会長: 富山市・高岡市・黒部市)

6

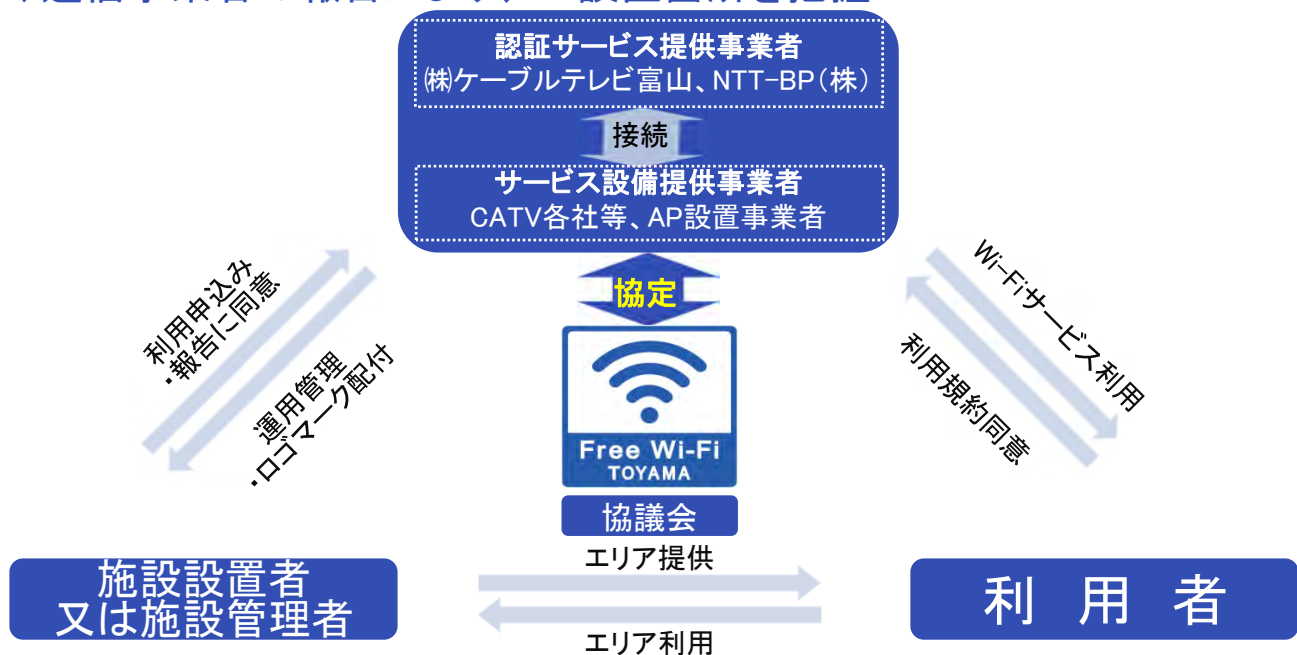
協定・報告

「TOYAMA Free Wi-Fi」に参画しやすいしくみづくり

(1) TOYAMA Free Wi-Fiの規格統一

協議会の趣旨に賛同し、TOYAMA Free Wi-FiのAPを設置しようとする通信事業者等と協議会で協定を締結

(2) 通信事業者の報告により、AP設置箇所を把握



7

## II TOYAMA Free Wi-Fiの概要



### 1 TOYAMA Free Wi-Fi のサービス概要

- (1) ワンタップ方式 ☞ アプリダウンロード方式やメールアドレス登録方式があるが、外国人には使いづらい!!
- (2) 無線区間の暗号化はしない  
☞ 利用開始手続きの簡素化
- (3) 利用時にMACアドレス取得  
☞ 利用者追跡の手がかり
- (4) 有害サイトへのフィルタリング
- (5) 接続時間は1回3時間
- (6) 一定期間ログを保管  
☞ 一定のセキュリティ確保
- (7) セキュリティに関する注意喚起 ☞ 意識啓発



【トップ画面で注意喚起】

【日本と外国の文化のちがい】  
日本人：水と安全はタダ  
外国人：安全は自分で守る

◆ 国の動向を踏まえ、必要があれば改めて検討



- (1) 共通SSID「TOYAMA Free Wi-Fi」の設定
- (2) ロゴマークの作成
- (3) サービスガイドの作成
- (4) 接続画面は、日本語、英語、中国語  
韓国語対応
- (5) わかりやすい掲示



富山湾を象徴する色  
「TOYAMA Deep BLUE」で表現



富山駅総合案内所



まときと市場  
とやマルシェ 入口



とやま観光案内所

富山市職員が原案を作成し、  
県総合デザインセンター所長や  
協議会構成員の意見を反映  
経費は、ステッカー印刷代のみ

### TOYAMA Free Wi-Fiマップ (H27.11.5現在)

【整備済み箇所】 (1)富山駅総合案内所 (2)とやま観光案内所 (3)富山駅バス・タクシー案内所 (4)まときと市場 とやマルシェ (5)マリエとやま (6)富山地方鉄道電鉄富山駅 (7)～(19)あいの風とやま鉄道の13駅の待合室 (石動・福間・西高岡・高岡・越中大門・小杉・富山・滑川・魚津・黒部・生地・入善・泊) (20)富山県民会館 (21)富山地方鉄道立山駅 (22)つるぎの味蔵 (23)上市町観光協会案内所(富山地方鉄道 上市駅構内) (24)栗利能羅源平の郷地主口 (25)宮島統一の滝休憩所 (26)福葉山牧場山頂無料休憩所 (富山地方鉄道 上市駅構内) (27)上市町まちなか交流プラザ(カミール) (28)富山県流通センター (29)上市町文化研修センター(サンシャイン上市) (30)富山市立図書館本館 (31)金澤町金属工業所かんか (32)高岡市緑物資料館 (33)国宝高岡山瑞龍寺 (34)室堂ターミナル周辺エリア (35)称名平休憩所周辺エリア

【参考】黒部宇奈月温泉駅フリーWi-Fi  
・黒部市が提供するFree Wi-Fi  
・黒部宇奈月温泉駅東口広場、黒部市地域観光ギャラリー、松原集落、市内5箇所で開催済み  
・1回の接続で60分間利用可能  
・SSID:Kurooe\_City\_Wi-Fi

【参考】砺波市 どこでもWi-Fi  
・砺波市が提供するFree Wi-Fi  
・チューリップ公園、コスモス荘、水記念公園等、市内44箇所で開催済み  
・1回の接続で15分間利用可能  
・SSID:tonami\_city\_bousai  
・Pass-Word: poon1073

○ 整備済み箇所  
● 整備検討箇所 (整備中含む)



# III 県の取組み

## 1 県有施設の整備方針

**原則** 施設の性格、Wi-Fiの設置目的に応じて役割分担

目的	防災拠点	観光拠点(来訪者サービス)	
		外国人が少ない	外国人が多い
施設の性格	避難所 (県立学校体育館等)	公園、博物館、文化施設等 (環水公園、美術館、文化ホール等)	
整備方法	<p>携帯電話事業者等に設置を働きかけが基本</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・携帯電話事業者によるWi-Fiの利用は、平時は自社利用者に限定しているが、大規模災害時には無料開放することとしていることから、携帯電話事業者に積極的に設置を働きかける。 (5ヶ年程度:H27年度~H31年度)</li> </ul> <p>ただし、防災拠点であり、外国人等観光客が多い施設は、施設管理者又は通信事業者設置</p>		<p>施設管理者又は通信事業者設置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光振興及び県民サービスの観点から、無料Wi-Fiの整備を行う。</li> <li>・統一利用開始手続き及び共通SSID(TOYAMA Free Wi-Fi)の導入を推進する。</li> </ul>

**課題** 運用費用の負担、庁内連携(ニーズの把握、役割分担)

(1) TOYAMA Free Wi-Fi整備事業(情報政策課)

- ・Wi-Fi環境整備、運用(直営) : 立山自然保護センター  
称名地区(称名平休憩所周辺)
- ・民間通信事業者に対する補助 : 富岩運河環水公園、水墨美術館

(2) 火山防災情報の伝達拠点整備事業(防災・危機管理課)

- ・Wi-Fi環境整備、運用(直営) : 立山室堂地区  
(火山防災情報伝達のための屋外Wi-Fi)

(3) 立山博物館外国人おもてなし事業(文化振興課)

- ・Wi-Fi環境整備、運用(サービス利用) : 立山博物館  
(Wi-Fiを活用した多言語音声ガイド導入)

(4) 外国人旅行者向け利便性向上事業(観光課)

- ・観光施設に対する助成 : 公募

〔Wi-Fi等外国人旅行者受入環境整備への助成  
補助率: 1/2以内 (上限: 400千円)〕

概要

- 外国人を含む観光客や登山客の安全対策として、立山室堂地区においては火山防災情報、称名地区においては土砂災害情報の迅速、的確な提供のため、屋外Wi-Fiを整備する。平常時は、登山、観光・交通情報の収集や自然・文化に対する情報を随時提供し、観光地としての魅力アップを図る。
- 総務省「観光・防災Wi-Fiステーション整備事業」活用

【中部山岳国立公園 立山室堂地区】

今年11月より供用開始  
(H27.11.5プレスリリース)

AP3基設置  
遊歩道、展望台など観光客が  
集中する広域エリアをカバー

常時観測  
火山へ追加

標高2,000m以上の山岳地で、光ケーブル環境が整備済なのは、立山室堂地区のみ。  
携帯電話は、通話可能エリアとなっている。



【中部山岳国立公園 称名地区】

Wi-Fiステーション1基設置  
レストハウス、休憩所など観光客が  
集中する広域エリアをカバー



AP2台設置

北陸新幹線開業に  
合わせ、先行して  
TOYAMA Free Wi-Fiを  
整備済

立山自然保護センター  
(ピジターセンター)  
AP3台設置

Wi-Fiステーション1基設置  
登山者の多いの越・  
雷鳥沢方面をカバー

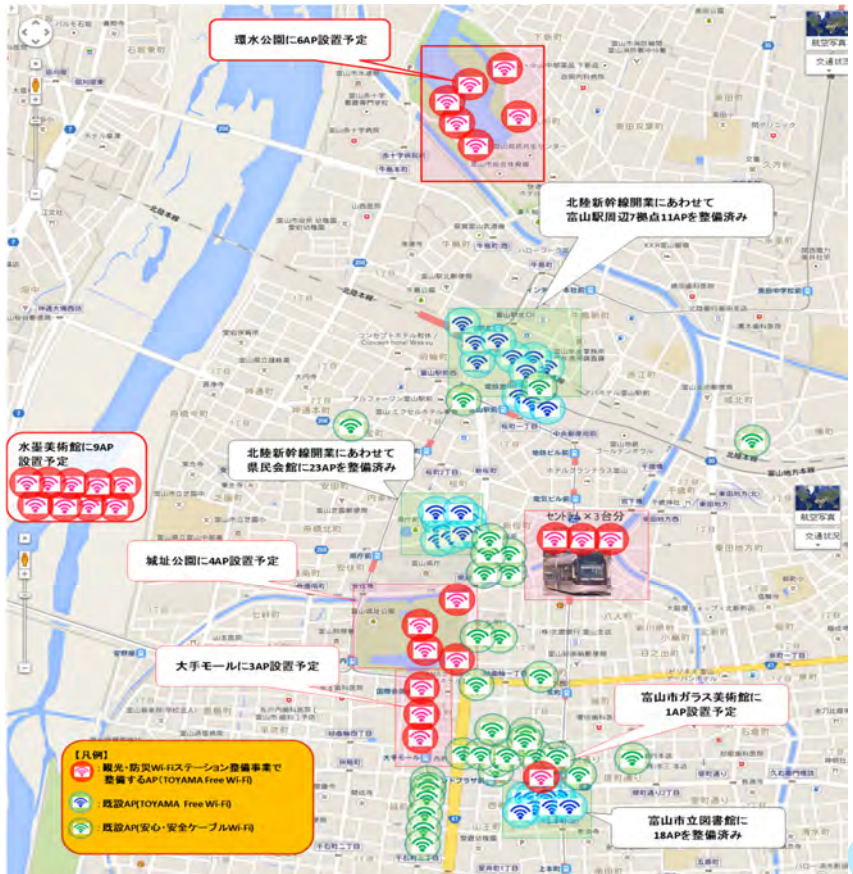
民間宿泊施設事業者共同運用  
による光ファイバー網の活用+  
国交省光ファイバーの借用



観光・防災Wi-Fiステーション  
整備事業への取り組み

○北陸新幹線開業に合わせて「TOYAMA Free Wi-Fi」を整備した富山駅を挟んで、駅北の環水公園から駅南の中心市街地までの一帯を「TOYAMA Free Wi-Fi」エリアとすることにより観光客の利便性向上を図る。

○富山県及び富山市は、(株)ケーブルテレビ富山が国の補助金を活用して行う各所有施設のWi-Fi整備事業に対し、予算の範囲内で国補助対象経費の1/3を補助する。



3 TOYAMA Free Wi-Fiの整備状況

整備状況	施設名	
整備済	<ul style="list-style-type: none"> <li>・とやま観光案内所、富山駅総合案内所周辺、富山駅バス・タクシー案内所周辺</li> <li>・きときと市場 とやマルシェ、マリエとやま</li> <li>・富山地方鉄道 電鉄富山駅、立山駅</li> <li>・あいの風とやま鉄道の13駅の待合室</li> <li>・富山県民会館</li> <li>・富山地方鉄道上市駅、つるぎの味蔵</li> <li>・上市町文化研修センター(サンシャイン上市)、上市町まちなか交流プラザ(カミール)</li> <li>・俱利伽羅源平の郷埴生口、宮島峡 一の滝駐車場、稲場山牧場山頂無料休憩所</li> <li>・金屋町金属工芸工房かんか、高岡市鋳物資料館、国宝高岡山瑞龍寺</li> <li>・立山室堂ターミナル周辺、立山自然保護センター、称名平休憩所周辺</li> <li>・富山県流通センター</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富岩運河環水公園、水墨美術館</li> <li>・富山城址公園、大手モール、富山市ガラス美術館</li> <li>・黒部ダム</li> <li>・立山博物館</li> <li>・氷見市内14箇所(氷見市役所、朝日山公園等)</li> </ul>	
		<b>11月中に供用開始予定</b>



## (参考) 氷見市におけるWi-Fi整備の取り組み

### 概要

- 緊急時における災害関連情報の提供やインターネット接続手段の提供に加え、平時における訪日外国人等への公共的な観光資源への受入体制の整備による市内観光事業の促進への貢献を目的として、市内全域でWi-Fi環境の整備を行うもの。
- 総務省「観光・防災Wi-Fiステーション整備事業」により市内14箇所で整備するほか、地方創生先行型交付金等も活用し、さらに整備を推進。



## (参考) 観光・防災Wi-Fiステーション整備事業

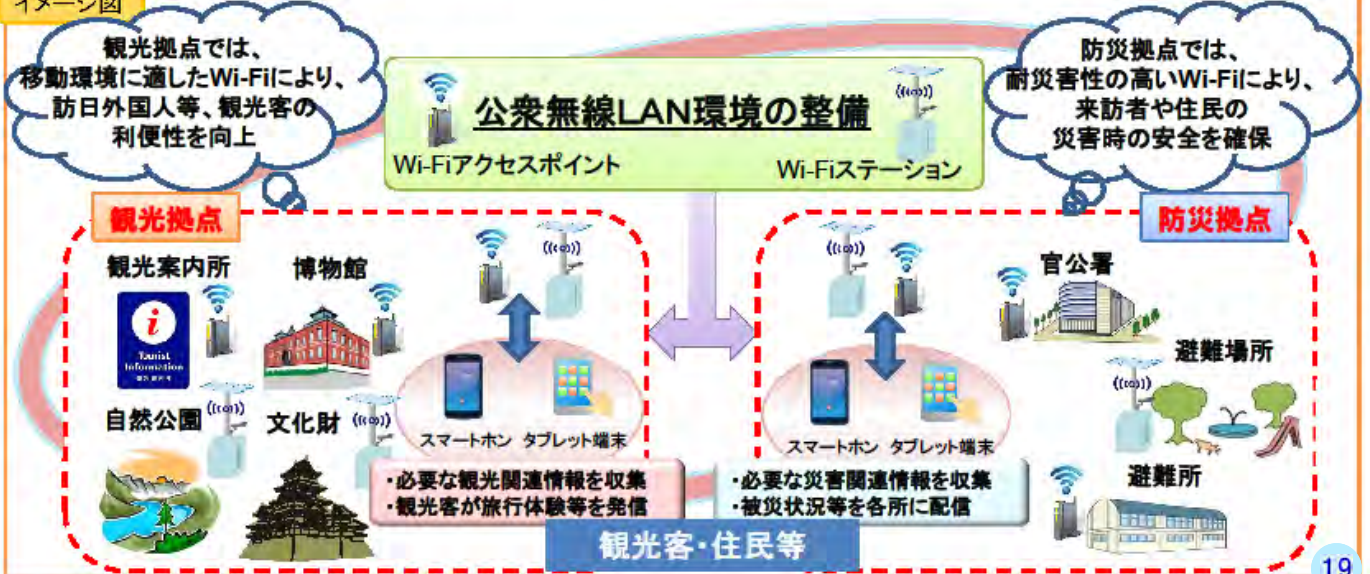
観光拠点及び防災拠点における公衆無線LAN環境の整備を行う地方公共団体等に対し、その事業費の一部を補助。

○H28当初概算要求額: 10.0億円

- 補助対象先(検討中): ① 観光拠点: 観光案内所、文化財、自然公園、博物館等
- ② 防災拠点: 緊急避難場所、避難所、官公署等

○補助率: 地方公共団体: 1/2、第三セクター: 1/3

### イメージ図





# オプションプログラム

## 「南砺市のエリア放送運用について」

南砺市 地方創生推進課

情報政策係 松岩 健志 氏



さがけて 緑の里から 世界へ 南砺市

## 「南砺市のエリア放送運用について」

富山県南砺市 地方創生推進課

情報政策係 松岩健志

<http://www.city.nanto.toyama.jp>

e-mail:info@city.nanto.lg.jp



ほっと あっと なんと

1

---

## プレゼンテーション内容



- 南砺市の紹介
- ホワイトスペース特区事業(エリア放送事業)  
(「恋旅Nantoプロジェクト」を中心に)
- 現地設備視察
- 質疑応答



南砺市

# 南砺市の紹介

本市は、富山県の南西端に位置し、面積は668.86平方キロメートル(東西約26キロメートル、南北約39キロメートル)で、そのうち約8割が白山国立公園等を含む森林であるほか、岐阜県境に連なる山々に源を発して庄川や小矢部川の急流河川が北流するなど、豊かな自然に恵まれています。

北部は砺波市と小矢部市、東部は富山市、西部は石川県金沢市と白山市、南部は1,000メートルから1,800メートル級の山岳を経て岐阜県飛騨市や白川村と隣接しており、市北部の平野部では、水田地帯の中に美しい「散居村」の風景が広がり、独特の集落景観を形成しています。



3

## 南砺市の概要



<b>人口</b> (H27. 12. 31現在)	住民基本台帳人口 : 53,795人
	うち外国人数 : 675人

<b>世帯数</b>	17,768世帯
------------	----------

<b>面積</b>	668.86 km <sup>2</sup> (琵琶湖とほぼ同じ)
-----------	-----------------------------------

<b>その他</b>	● 高齢化率 (65歳以上) : 33.88%
	● 産業別就業者割合 (H22国勢調査)
	第1次産業 : 6.7%
	第2次産業 : 38.7%
	第3次産業 : 54.6%
● 製造品出荷額等 : 2319億円 (H24工業統計)	
● 年間商品販売額 : 486億円 (H24経済センサス)	

4



# 南砺市のアクセス



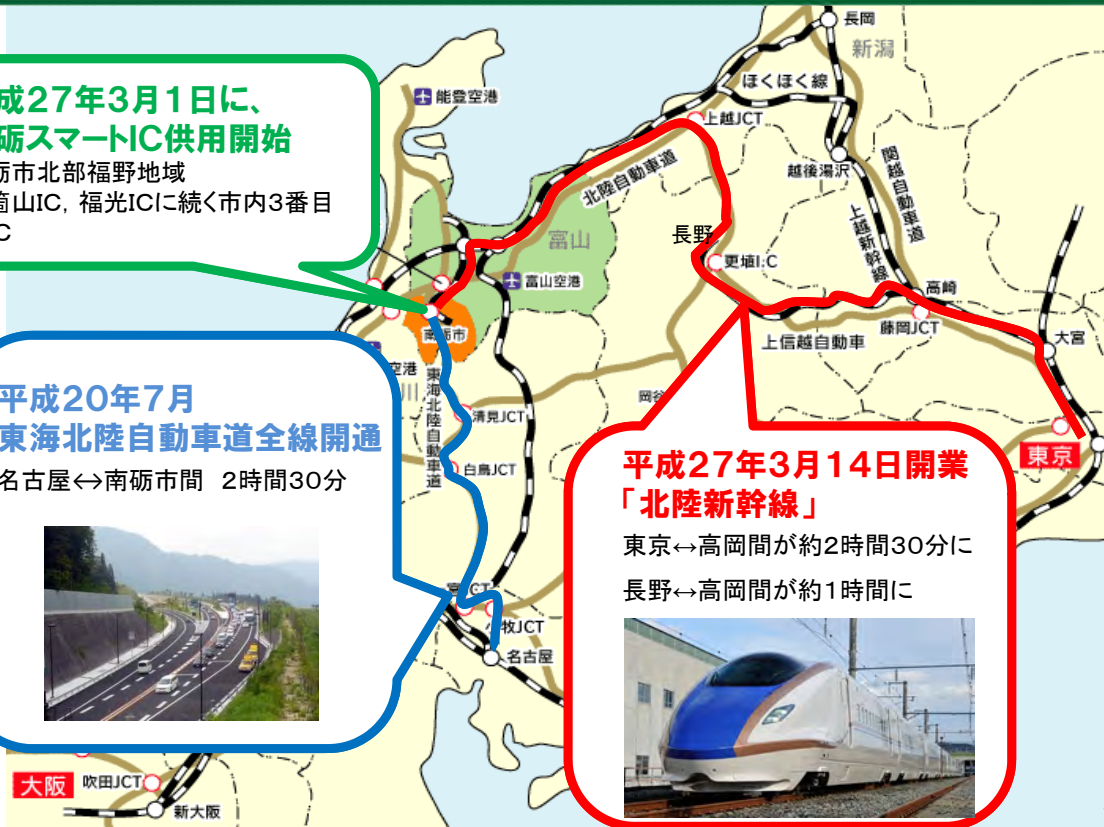
平成27年3月1日に、  
南砺スマートIC供用開始  
南砺市北部福野地域  
五箇山IC、福光ICに続く市内3番目のIC

平成20年7月  
東海北陸自動車道全線開通  
名古屋↔南砺市間 2時間30分



平成27年3月14日開業  
「北陸新幹線」

東京↔高岡間が約2時間30分に  
長野↔高岡間が約1時間に



## 五箇山(相倉・菅沼)の合掌造り集落 世界遺産1995年12月～













# 南砺市の風景・散居村





## 小さなまちの特徴的な事例



- ◇世界遺産「白川郷・五箇山の合掌造り集落」(H7.12.9登録)  
・南砺市相倉、南砺市菅沼、岐阜県白川村荻町の合掌集落、ミシュラン観光地三ツ星
- ◇世界一癒しのあるアザラシ型ロボット「パロ」の生産(ギネス認定)
- ◇美術の世界的巨匠「棟方志功」の戦後直後の生活・製作拠点(7年間)
- ◇スポーツクライミング競技(JOCジュニアオリンピック大会)の聖地 毎年8月開催
- ◇球界を支える木製野球バット生産量日本一(最盛期シェア60%)
- ◇素人そば打ちの最高段位(5段)認定会開催地
- ◇南砺市いなみ国際木彫刻キャンプ(4年に一度開催)
- ◇日本一の木彫りの産地(彫刻師200人、118事業所)



木製バットの生産工場



ギネス認定の癒し系ロボット「パロ」

## 市内の移動時間





# 南砺市地域公共ネットワーク事業

- 平成16年11月に4町4村による合併。
- 総面積 668.86km<sup>2</sup> (およそ琵琶湖に匹敵)
- 4庁舎・8行政センターと多数の公共施設



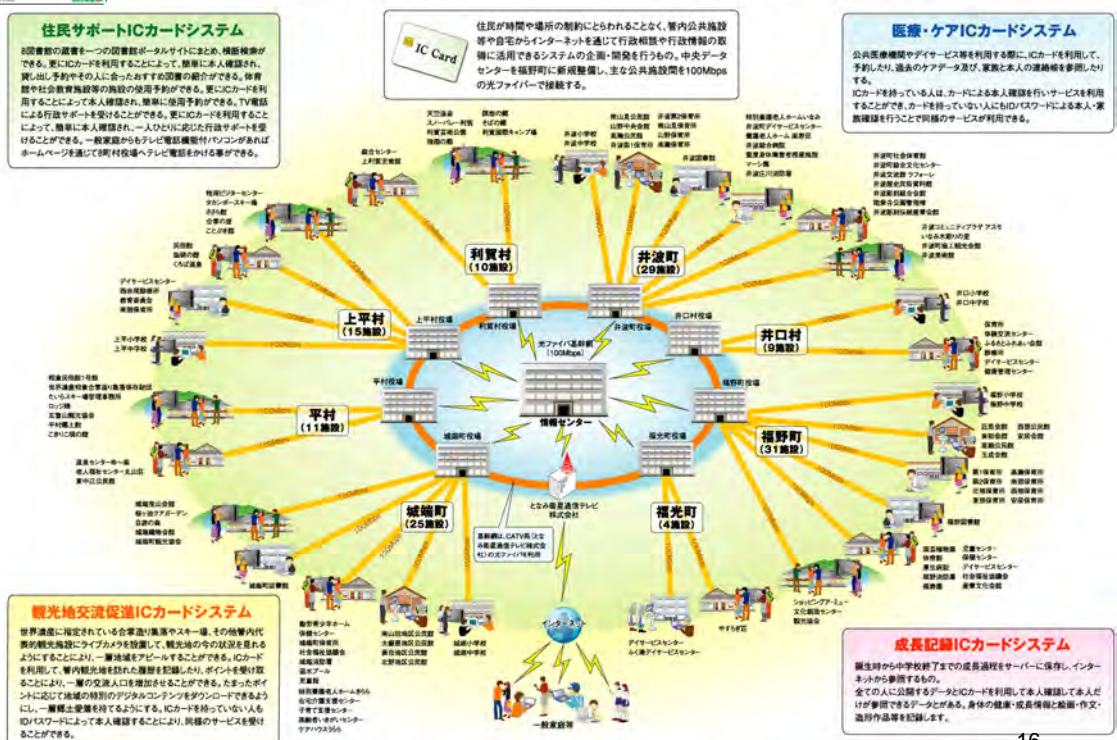
- 市民へ公平なサービスの提供が必要
- ネットワークとICTの活用によるサービス提供
- ICカードをキーデバイスとしてサービス提供



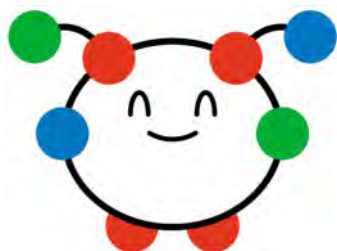
## 平成15年度 地域公共ネットワーク整備事業



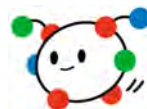
砺波地域8町村公共ネットワーク基盤整備事業 概要図



# 南砺市ホワイトスペース特区事業 エリア放送について (◆恋旅Nantoプロジェクト)



## ◆ホワイトスペース特区 エリア放送事業 (南砺市紹介アニメ製作事業)



南砺市は「**アニメの聖地**」注目

- ・全国からアニメファンが聖地巡りに訪れる
- ・コミュニケーションノートで交流
- ・有志の会により、イベントの開催
- ・アニメキャラクターの特別住民票を発行



市をPRするオリジナルアニメーションを制作・活用する。市内限定の配信と、国内外の広いエリアへの配信を合わせて展開することにより、南砺市のイメージアップと誘客を進める。



PRアニメの  
活用

- ・ホワイトスペース特区事業におけるアニメコンテンツ
- ・北陸広域観光ネットチャンネル



# ◆ホワイトスペース特区 エリア放送事業 ( なんとちゃんねる 活用計画 )

### 交流人口増加案(広域連携観光)

**全国各地のエリア放送に  
南砺市オリジナルの  
アニメコンテンツを提供!**

**point**  
本編は南砺市内の6つのエリアごとに内容が変わります!

南砺市以外では  
予告編のみ放送し  
南砺市へ誘導します。  
オリジナルアニメは  
現地で見ることが出来ない為  
視聴者にとっても特別な体験となります。

エリア放送とは・・・  
地域限定の放送局のことで、  
地上波テレビ・  
ワンセグ・カーナビ  
などによる視聴が可能です。

### 災害対策としての活用案

南砺市内に12箇所の送信点を設置

**災害発生時  
画面活用例**

- ・安否確認
- ・行政案内
- ・避難に関する情報
- ・配給品情報 など

「結」のネットワークが  
情けを繋ぐ、命を繋ぐ、人を繋ぐ!

### 提供情報内容一覧案

- 南砺市観光ダイジェスト(5分)
- 南砺市オリジナル映像博物館(3分)
- 広域連携観光コンテンツ(3分)
- 行政からのお知らせ(データ放送)
- 災害時提供情報(データ放送) など

2011.12.21「なんとちゃんねる」実験開始!





# 2011.12.21「なんとちゃんねる」実験開始！



H23.12.26 富山新聞

H23.12.22 北日本新聞

## 社説

### 地域限定の「特番」で誘客を

地上デジタル放送の活用が、観光振興に活用される。五箇山地区の観光振興に、地上デジタル放送の活用が、観光振興に活用される。五箇山地区の観光振興に、地上デジタル放送の活用が、観光振興に活用される。

地上デジタル放送の活用が、観光振興に活用される。五箇山地区の観光振興に、地上デジタル放送の活用が、観光振興に活用される。

地上デジタル放送の活用が、観光振興に活用される。五箇山地区の観光振興に、地上デジタル放送の活用が、観光振興に活用される。

## 地域ワ

# ワンセグで観光情報発信

### 南砺市 県内初 実験放送を開始

南砺市は21日、五箇山と地域限定地上デジタル放送用波の空域開放を受け、ワンセグを活用し、観光や生活情報などを提供するエリア限定ワンセグ放送「なんとちゃんねる」の実験放送を開始した。災害時には情報伝達ツールとして活用する。五箇山地区内で開始式を行った。

4月に総務省から独自に電波を「なんとちゃんねる」の放送実験を始めた。災害時には情報伝達ツールとして活用する。五箇山地区内で開始式を行った。

南砺市は21日、五箇山と地域限定地上デジタル放送用波の空域開放を受け、ワンセグを活用し、観光や生活情報などを提供するエリア限定ワンセグ放送「なんとちゃんねる」の実験放送を開始した。災害時には情報伝達ツールとして活用する。五箇山地区内で開始式を行った。

21

# フェーズ1 コンテンツ紹介(1)



1-8. 映像コンテンツ

● 開始式(平成23年12月21日)~1月末まで

● 番組構成

- となみ野の風景(和紙の里) (5分)
- アニメーション (5分)
- 緊急放送(実験用) (5分)

合計: 15分の映像をループ再生

● 番組内容

- となみ野の風景(和紙の里)

五箇山和紙の里、和紙作りの作業・色付けなど和紙が出来上がるまでを紹介

1-8. 映像コンテンツ

● 開始式(平成23年12月21日)~1月末まで

3. 緊急放送

向坂市からのお知らせ

緊急放送 試験放送中!

AM8-30 新波平野新集落西部を直前にマグニチュード7.3 震源地で震度6強を観測

試験放送中!

五箇山地区の観光振興に、地上デジタル放送の活用が、観光振興に活用される。

緊急放送時の画像を試験的に放送

1-8. 映像コンテンツ

● 開始式(平成23年12月21日)~1月末まで

2. アニメーション

向坂市から離れて暮らしている孫が、祖父のところに帰郷するストーリー

柴使 SHIBAKEN

五箇山合掌集落を舞台にしたギャグアニメーション

1-8. 映像コンテンツ

● 2月上旬~2月末まで

● 番組構成

- となみ野の風景(冬の合掌集落) (5分)
- こきりこままつり (4分)
- 和紙そば祭り (5分)
- 世界遺産コース(1, 2, 3の間にしている) (1分×3回)

合計: 17分の映像をループ再生

● 番組内容

- となみ野の風景(冬の合掌集落)

相倉・菅沼合掌集落の冬の風景を紹介

# フェーズ1 コンテンツ紹介(2)



<p>1-8. 映像コンテンツ</p> <p>●2月</p> <p>2. こきりこ味まつり</p> <p>五箇山で食べられる伝統料理や、民謡などを楽しむ冬の祭りの紹介</p> <p>3. 利賀そば祭り</p> <p>多様なステージや、巨大画像・花火ショーなど、利賀で行われる祭りの紹介</p>	<p>1-8. 映像コンテンツ</p> <p>●3月～6月</p> <p>●番組構成</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. となみ野の風景 (相倉春祭り) (5分)</li> <li>2. 利賀そばコース (1分)</li> <li>3. 春の宵 (3分17秒)</li> <li>4. 城端名刺コース (1分)</li> <li>5. 利賀春祭り (4分18秒)</li> <li>6. 古寺巡りコース (1分)</li> </ol> <p>合計：15分35秒の映像をループ再生</p> <p>●番組内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. となみ野の風景 (相倉の春祭り)</li> </ol> <p>相倉で行われる春祭りの様子を紹介</p>
<p>1-8. 映像コンテンツ</p> <p>●2月</p> <p>4. 世界遺産</p> <p>世界遺産に認定された、五箇山の合掌造り集落等を紹介</p>	<p>1-8. 映像コンテンツ</p> <p>●3月～6月</p> <p>2. 利賀そばコース</p> <p>利賀村の美術館や資料館、そばの郷などについて紹介</p> <p>3. 春の宵</p> <p>合掌造り集落のライトアップや、織中長持納言などを紹介</p> <p>etc</p>

## ◆ホワイトスペース特区 エリア放送事業 (実現に向けた年次計画)



### フェーズ1

1. 重点エリア(五箇山、城端地区)にてワンセグ観光サービス提供および、市内行政施設でのデジタル館内共聴放送サービス開始予定。

2. 順次、同地点にて行政情報等の追加コンテンツ提供開始予定。

番組提供：地元アニメ制作企業 (「泣かせる眼に会いたい 五箇山のおじいちゃん編」)

※電波の到達範囲を示している図ではありません。

### フェーズ2

2012年度～ サービスエリアを拡大予定。



# エリア放送 送信ポイント(合計12カ所)



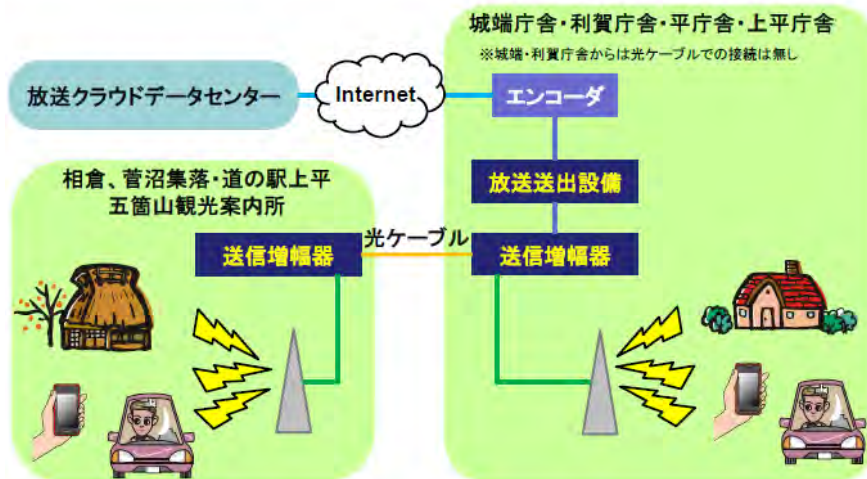
送信ポイント (フェーズ1 2011年12月～)

送信ポイント (フェーズ2 2012年12月～)

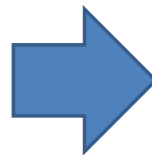


福野、福光、井波、井口の4庁舎にて、今年度新たに送信ポイントを増設いたします。

## システム構成図



2012年度



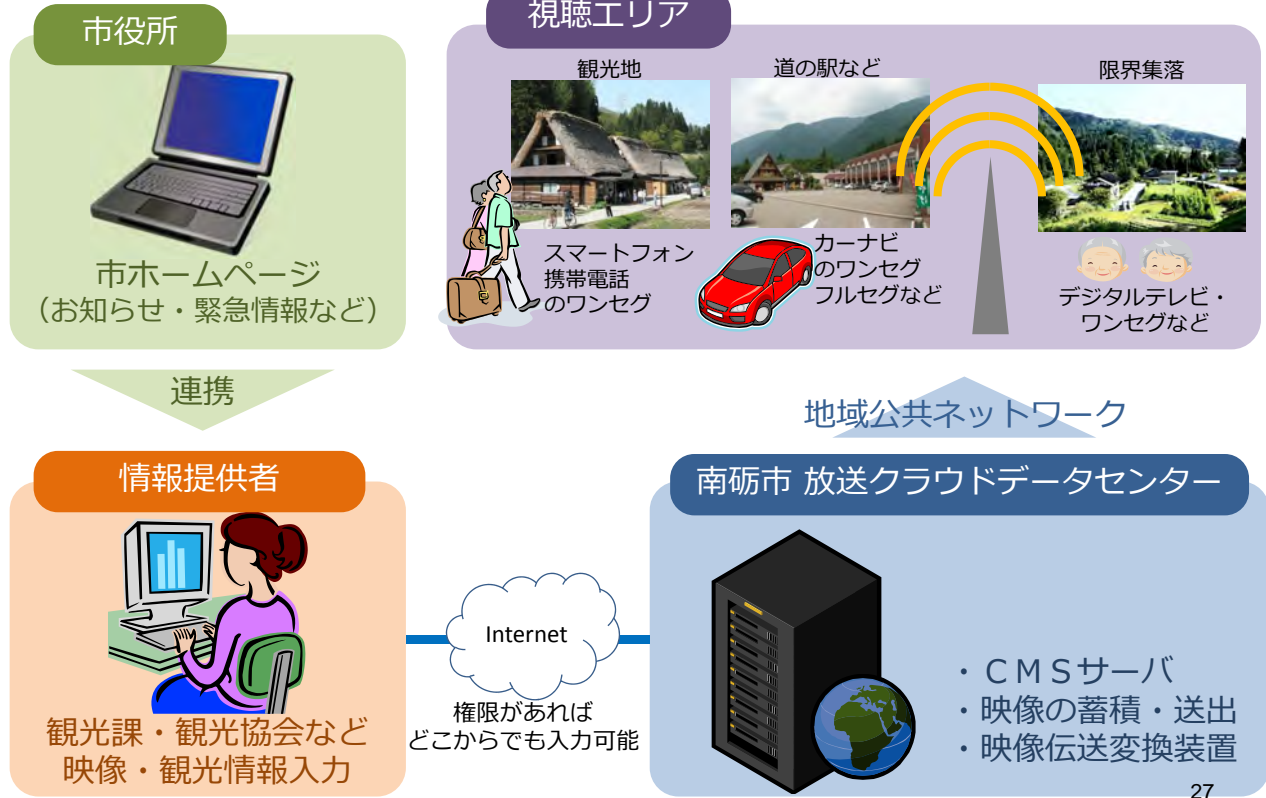
4エリア追加



# 南砺市 エリア放送実験の概要



## エリア放送の全体像



## 市からののお知らせ データ放送連携



※1CMS : Content Management System



## 災害発生時の情報提供（総合防災訓練）



平成24年9月2日に行われました、南砺市総合防災訓練にて災害対策本部（福野庁舎）の映像をライブ中継にてエリア放送で提供し、災害発生時の情報提供効果を検証しました。



29

## ◆恋旅Nantoプロジェクトについて



30

# 恋旅の誕生の背景

- ◎ 城端に若者が集まる(アニメファンにとっては、城端が良く知られている)



南砺市は城端だけでは無い。  
城端以外も見ていただきたい。

- ◎ エリア放送  
ホワイトスペース特区 エリア放送実験  
エリア放送実験局免許

## ◆南砺市城端に拠点を置くアニメ会社



### ●株式会社ピーエーワークス

南砺市城端地域に拠点(首都圏以外の地方に拠点)を置き、全国の多くのファンからも支持されている日本有数のアニメーション制作会社。数々の地域を舞台モデルとしたアニメも多く手がける。

#### ◎主な作品

- true tears  
南砺市城端地域が主な舞台モデル
- Another  
南砺福野高校巖浄閣などが主な舞台モデル
- 花咲くいろは  
石川県湯涌温泉が主な舞台モデル
- SHIROBAKO



©2008 true tears製作委員会



©2012花いろ旅館組合

#### ◎その他

CANNAN Angel Beats! マイの魔法と家庭の日 TARI TARI  
レイトン教授シリーズ(ゲーム) RDBレッドデータガール 有頂天家族

など多数

# ▪ true tears

- 2008年1月～3月全国で放映
- 南砺市城端地域を主な舞台モデルで放映
  - 城端別院善徳寺がある城下町・越中の小京都
  - どちらかという観光客は高齢者が中心



若者が街の中を  
歩くようになった



- 6年経った現在でも続く
- ファン主催のイベント
- 移住してきた人
- 伝統祭りへの参加

## 城端駅にファンが設置した巡礼ノートへの書き込み数

- 2009年3月～2010年2月 1, 113回
- 2010年3月～2011年2月 1, 203回
- 2011年3月～2012年2月 1, 234回

出典・富山大学<sup>33</sup>学生

## アニメファンの特徴

- 情報発信力が高い
- 若年者層の観光客の増加
- リピータ率も高い



# ◆恋旅Nantoプロジェクト

## キーワード

- 市がアニメを制作  
⇒アニメツーリズム
- “南砺市で”  
(南砺市に来ていただいて)
- エリア限定放送



35

キミに見せたいものがあるんだ。

恋旅  
True Tours  
Nanto

なんとし オリジナル・ショートアニメーション  
富山県南砺市を巡る「3つの恋の物語」

2013.4.28

南砺市地区限定 エリア放送・専用アプリ視聴

監督:西村純二 脚本:岡田麿里 西村ジュンジ



# 恋旅～True Tours Nanto～

富山県南砺市を舞台としたオリジナル・ショートアニメーションで、制作は南砺市に拠点を置くP.A.WORKSが担当。

制作スタッフ・キャスト・アーティストには、南砺市城端地区を主に舞台にしたTVアニメ「true tears」を手掛け、南砺市観光大使を務めるメンバーが集結。

南砺市各エリアの美しい自然・風土・文化・などとともに3つのオリジナルラブストーリーを描き出しています。

\*前・後編各本編約5分×3話・全6話



**晴喜と葵編**  
舞台  
井波・平・上平

**耀司と千晶編**  
舞台  
利賀・福野

**匠と夏子編**  
舞台  
福光・井口・城端

## ◆南砺市アニメ文化による地域振興事業

### 【取り組み内容】

- ・市内の観光名所や伝統文化、生活等の地域資源を織り込んだ**オリジナルアニメ作品**を制作
- ・エリアワンセグ放送やスマートフォンのGPS機能を活用して、**エリア限定**で作品を公開
- ・アニメ作品の監督、声優らによる**オープニングイベント**を開催して情報発信
- ・市内の舞台を巡る**フォトラリー**を開催
- ・専用アプリによる**舞台での楽しみ方**の提供
- ・**市民・地域の手による**アニメ関連グッズ等の**開発・商品化・販売促進**
- ・他作品の舞台となっている周辺地域と連携して、**周遊ルート**を形成し発信力を高める
- ・ファン同士が集えるスペースの整備
- ・ファン有志によるイベント開催の支援



# ◆2つの視聴方法

## ◎エリア放送

(ワンセグ・フルセグ機能付き)  
携帯電話、スマートフォン  
カーナビゲーション

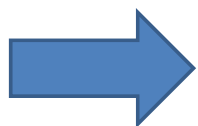
視聴可能エリア

市内の各庁舎及び主要な観光地の12箇所



## ◎スマートフォン専用“恋旅”アプリ

GPS位置情報サービスにより、  
動画再生ロック解除方式



南砺市にお越しただかない  
と視聴できない“限定配信”



39

## エリア放送 送信ポイント(合計12カ所)



### 耀司と千晶編

利賀庁舎周辺  
福野庁舎周辺

### 晴喜と葵編

井波庁舎周辺  
平庁舎周辺  
上平庁舎周辺  
相倉合掌造り集落  
菅沼合掌造り集落  
五箇山総合案内所周辺  
道の駅上平

### 匠と夏子編

福光庁舎周辺  
井口庁舎周辺  
城端庁舎周辺



40







# 恋旅～True Tours Nanto～視聴方法



## エリア放送での視聴

いずれかの方法で設定してください。チャンネル番号は50chです。

携帯電話の場合		スマートフォンの場合	
方法①	方法②	方法①	方法②
ワンセグを起動	ワンセグを起動	ワンセグを起動	ワンセグを起動
メニュー	予約録画に 合わせて十字キーを 左に押し	チャンネル設定	設定
検索		地域設定	チャンネル設定
チャンネル設定	チャンネルスキャン	富山	チャンネルリスト作成
自動チャンネル設定 (チャンネル更新)		チャンネルスキャン	自動チャンネル設定 (チャンネル更新)
チャンネルスキャン			

※携帯電話やスマートフォンの機種や元々のチャンネル設定により、これらの方法では設定できない場合もございます。  
※電波状況(建物の影響)、端末の受信感度の違いによりエリアに記載されている範囲内で受信できない場合がございます。予めご了承ください。

※なお、エリア放送を利用してご視聴になれなかった場合は、視聴内容が画質が粗く受信不良での視聴対応とさせていただきますことをご了承ください。  
※視聴可能期間については下記をご確認ください。

## 専用アプリ視聴マニュアル

※視聴専用アプリは開発中の最中です。  
※全編録画使用できるのは4月28日より視聴開始以降となります。あらかじめご了承ください。



# 恋旅～True Tours Nanto～ フォトラリー



## ■概要

- 作品の舞台となった場所で専用アプリを使用し写真を撮影された方に、「恋旅」オリジナルポストカードをプレゼント。
- ポストカードは6種類あり、撮影エリアごとに異なる絵柄を使用。
- さらに異なる種類のポストカードを3枚集めると「恋旅」特製ポストカードブック「リコレクトアルバム」をプレゼント。

■ポストカード・リコレクトアルバム配布数(4月28日～5月6日)

・ポストカード 2,230枚 ・リコレクトアルバム 446冊

## << 反応 >>

- 利賀のそばの館のシルバーのおばあちゃんと、恋旅に参加された方との交流がある(一緒に肩を組んで写真を撮ったりなど)。
- 関東地方からの来訪者が多い(いのくち椿館より)。
- 今まで、城端しか訪れたことの無かった方が、南砺市のいろんなところに行ってみるきっかけとなり、他にもこんな素晴らしいところがあることに気づけたとの声がある。
- 男性が圧倒的に多いが、女性だけの方もおられる
- 東山荘やよしむらまんじゅうなどの看板の写真を撮っていく方が増えた。
- IOXでジムカーナの写真を撮っている方が増えた。



## ●参考 いのくち椿館入館者数推移 (GW期間中)

平成23年度 90名(震災の影響あり) 平成24年度 174名 平成25年度 4,50名





↑本編放送



↑デジタルサイネージ

城端駅 →  
観光案内所



## ◆恋旅Nantoプロジェクト事業

### 【誰でもわかる恋旅の楽しみ方】

エリア放送、恋旅アプリでの操作方法がよく分からない方を対象に、実際に動画で操作をして説明！！

youtubeにて公開

- ・恋旅の楽しみ方 基本編
- ・恋旅の楽しみ方 応用・映像編
- ・恋旅の楽しみ方 応用・恋旅カメラ編
- ・恋旅の楽しみ方 応用・フォトラリー編
- ・恋旅の楽しみ方 エリア放送編



### 【恋旅アプリによる舞台での楽しみ方の提供】

- ・恋旅カメラ
- ・キャラクターによる観光ガイド

### 【フォトラリー開催！！】



舞台となった場所で  
楽しめる取り組み

# ◆見るだけでは終わらないアニメ①



## ◎スマートフォン専用“恋旅”アプリ

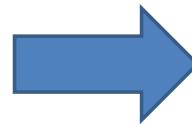
### ■恋旅カメラ

- 作品の舞台となった場所でキャラクターと一緒に写真撮影ができる



### ■キャラクターによる観光ガイド

- キャラクターによる、作品の舞台となった場所の解説・ガイドを聞くことができる



舞台となった場所ではか  
楽しめない。  
**舞台探訪の楽しみの一つ**

47

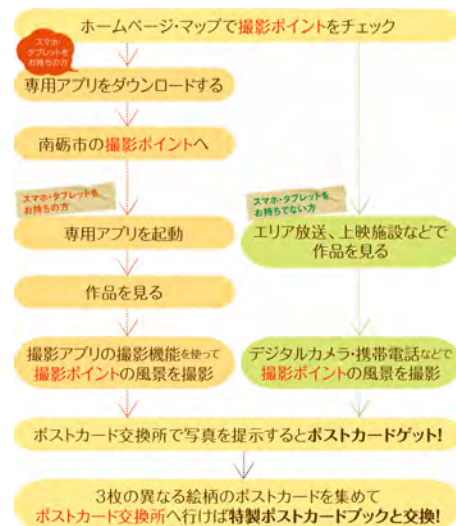
# ◆見るだけでは終わらないアニメ②



## ◎フォトラリー

### ■概要

- 作品の舞台となった場所で指定の建物等と自分を入れてと写真撮影し、それを交換所に提示すると、**ポストカード**をプレゼント。
- ポストカードは6種類あり、**撮影エリアごとに異なる絵柄**を使用。
- さらに異なる種類のポストカードを3枚集めると「恋旅」特製ポストカードブック「**リコレクトアルバム**」をプレゼント。



←フォトラリー手順



### ←特製ポストカードブック「リコレクトアルバム」

- 6種類のポストカードが入られる
- スタッフ・キャストのコメントや作品概要を掲載
- イラスト原案を掲載

48



# ◆完成披露試写会 & トークショー



2013. 4. 28



- 当日観覧者 一般応募者、報道、関係者含め、約300名
- 県外60%・県内33%・市内7%
- 首都圏・中京圏・関西圏はもちろん
- 南は佐賀県からも応募

49

## ◆恋旅Nantoプロジェクトの反応・声①

### ■ フォトラリー参加者

- ・ 85%が男性
- ・ 20代、30代がおおよそ75%だが、40代も15%
- ・ 56%が、県外からの参加者（市内は、10%強）

### ■ 日帰り・宿泊

- ・ 日帰りが70%と宿泊30%
- ・ 宿泊をさらに増やすことが重要
- ⇒ 宿泊は、地元の方と触れ合う絶好の機会
- ・ 民宿のブラッシング⇒南砺ファンの増加

### ● 赤祖父湖円筒分水槽

農業施設でまったくの観光地ではない場所にも人が訪れるようになった

⇒ 普段あまり若い観光客が訪れることが少なかった地域にも若者が歩く姿が多く見られた

### ■ アニメをご覧なつての感想

- 大変良かった、まあまあよかったと回答した人が95%
- ⇒ 単なる観光地紹介アニメではなく、観た人が魅せられるストーリーがとても重要



赤祖父湖円筒分水槽

50

## ◆恋旅Nantoプロジェクトの反応・声

### << 反応 >>

- ・ 利賀地域・そばの館のポストカード交換所にて、シルバーのおばあちゃんと、恋旅に参加された方との交流があった(一緒に肩を組んで写真を撮ったりなど)。

➡ ファンと市民との交流 ➡ **地域全体でのおもてなしの心**

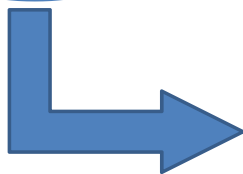
- ・ 香港等の海外出身の方も来られた(いのくち椿館)
- ・ 舞台となった場所(東山荘やよしむらまんじゅうなど)の看板の写真を撮っていく方が増えた。
- ・ 既に何度も(10回以上)来訪している方がいる。
- ・ 市民の方のふるさと再発見



51

## ◆恋旅の本当の楽しみ方(まとめ)

エリア  
限定配信



- 実際に舞台となった場所に足を運んでいただき、**アニメの世界と実際の南砺市の雰囲気**を肌で感じていただく
- ポストカードやリコレクトアルバムをプレゼントする**フォトラリー**を開催する
- 専用アプリにて、舞台上でキャラクターと写真を撮れる機能(恋旅カメラ)やキャラクターによる観光ガイド
- その時南砺市でしか楽しめない施策の展開**
- オリジナル商品の販売・促進

アニメを見るだけではなく、  
実際に舞台を巡ることにより、南砺市の魅力を実際に  
肌で感じる事が本当の楽しみ方

52



## ◆恋旅フォトラリー参加者

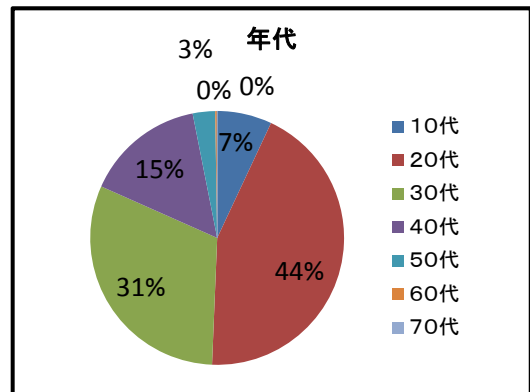
### ■配信開始から3月末まで

ポストカード配布数 約4,100枚

リコレクトアルバム配布数 約1,000枚

### ■フォトラリー参加者

- ・85%が男性
- ・20代、30代がおおよそ75%だが、40代も15%
- ・56%が、県外からの参加者（市内は、10%強）

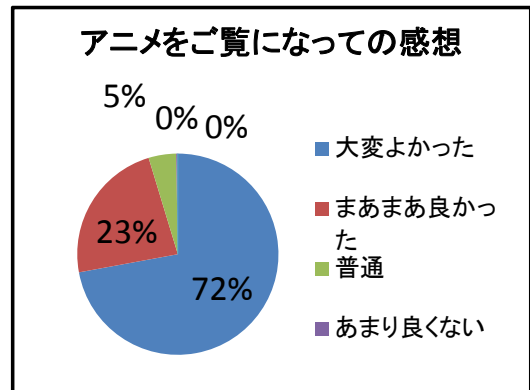


### ■アニメをご覧になったの感想

●大変良かった、まあまあよかったと回答した人が95%  
⇒単なる観光地紹介アニメではなく、観た人が魅せられるストーリーがとても重要

### ■日帰り・宿泊

- ・日帰りが70%と宿泊30%
- ・宿泊をさらに増やすことが重要
- ⇒宿泊は、地元の方と触れ合う絶好の機会
- ・民宿のブラッシング⇒南砺ファンの増加



## ◆恋旅の効果

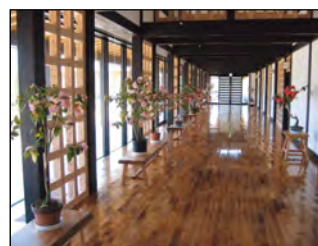
### ●アプリダウンロード数

・約6,000件以上

### ●いのくち椿館

入館者数推移

昨年度同期間比 **3倍**



いのくち椿館



赤祖父湖円筒分水槽

### ●赤祖父湖円筒分水槽

農業施設でまったくの観光地ではない場所にも人が訪れるようになった

⇒普段あまり若い観光客が訪れることが少なかった地域にも若者が歩く姿が多く見られた

## 課題と総務省要望事項(1)

### ■ エリア放送の弾力的な出力制限処置について

#### <背景と課題>

- 南砺市のように、山間部が多く難視地区を抱える市町村においては、地上波デジタル放送に代わる緊急情報発信システムとしてのエリア放送サービスには、期待するところが非常に大きい。
- しかしながら、フルセグでも全国一律で原則10mWが出力制限とされていることから、山間地域の人口密度の低い地域では、多数のアンテナ設置が必要となり、コストメリットが出にくく普及の支障となっている。

#### <要望事項>

- 地域の実情に応じた、弾力性ある電波出力設計が可能な制度に変更願いたい。

55

## 課題と総務省要望事項について(2)

### ■ 地デジ化に伴うアナログ中継局撤去エリアへの応用について

#### <背景と課題>

- CATV普及が進む当富山県においては、災害の可能性が高く、防災情報などの取得に不利な地域であるにも関わらず、アナログ中継局は撤去され、デジタル放送電波が届かない地上波難視地域が多くなった。
- これは、当県、当市だけではなく全国的に見られる現象と認識しているが、東日本大震災においてテレビ電波が有効な防災、減災対策になるとの認識が再確認される中、放送波の直接受信ニーズは非常に高まっている。

#### <要望事項>

- 当市としては、これらの市民ニーズに的確に答えて行きたいと考えているが、地域の実情とこれまでの背景を踏まえ、既存の放送局を含め再送信同意が得られることへの助言をお願いしたい。  
→「ワンセグエリア放送で非常災害時にNHK総合テレビを再放送することに関する覚書」を平成27年6月に締結

56



「ふれiTVII」は、情けをつなぐ、命をつなぐ、元気をつなぐ、  
人をつなぐ、道具です・・・。

## 南砺市への お越しをお待ちしております。

南砺市役所 政策推進課 情報政策係  
副主幹 松岩 健志 (まついわ けんし)

〒 939-1596 南砺市苗島4880番地  
tel:0763-23-2032 fax:22-1169  
内線番号:1356  
<http://www.city.nanto.toyama.jp>  
e-mail:info@city.nanto.lg.jp



57

平成25年11月26日

北陸総合通信局

**南砺市でホワイトスペース特区の実証実験成果を実用化**

《エリア放送局12局に予備免許》

総務省北陸総合通信局（局長 伊丹 俊八（いたみ しゅんや））は、本日、南砺市（市長 田中 幹夫（たなか みきお））から申請のあった地上一般放送局（エリア放送局）12局に対して、下記のとおり予備免許を付与しました。

南砺市は、平成23年4月にホワイトスペース特区「限界集落が点在するICT先進地域でのホワイトスペースを活用した地域活性化事業」として、山間部を中心とする市内12カ所にエリア放送型システムの実験試験局を開設し、観光情報や災害時に必要な情報を提供する実証実験を行ってきました。

今般、この実証実験の成果の実用化として、本年12月から南砺市内12カ所でエリア放送局を開局し、災害発生時の必要な情報や年間を通じた観光情報の配信等を行うこととしています。

記

1 予備免許の概要 … [資料](#)

2 エリア放送のサービス概要 … [参考資料](#)

※ エリア放送は、地上デジタルテレビジョン放送に割り当てられたUHF帯のホワイトスペース（放送用などの目的に割り当てられているが、地理的条件や技術的条件によって、他の目的にも利用可能な周波数）を活用したエリア限定の地上一般放送であり、平成24年4月2日に制度が施行されたものです。

資料

【予備免許の概要】

申請者 南砺市

	識別信号	電波の型式	周波数	空中線電力	無線設備の設置場所
1	なんとしじょうはな エリアほうそう	5M70 X7W	695.142857MHz (50ch)	50mW	富山県南砺市
2	なんとしとが エリアほうそう			50mW	
3	なんとしたいら エリアほうそう			50mW	
4	なんとしあいのくら エリアほうそう			10mW	



5	なんとしごかやま エリアほうそう		4.9mW
6	なんとしかみたいら エリアほうそう		10mW
7	なんとしすがぬま エリアほうそう		24.5mW
8	なんとしみちのえき かみたいらエリアほうそう		10mW
9	なんとしふくの エリアほうそう		50mW
10	なんとしふくみつ エリアほうそう		50mW
11	なんとしいなみ エリアほうそう		50mW
12	なんとしいのくち エリアほうそう		20mW

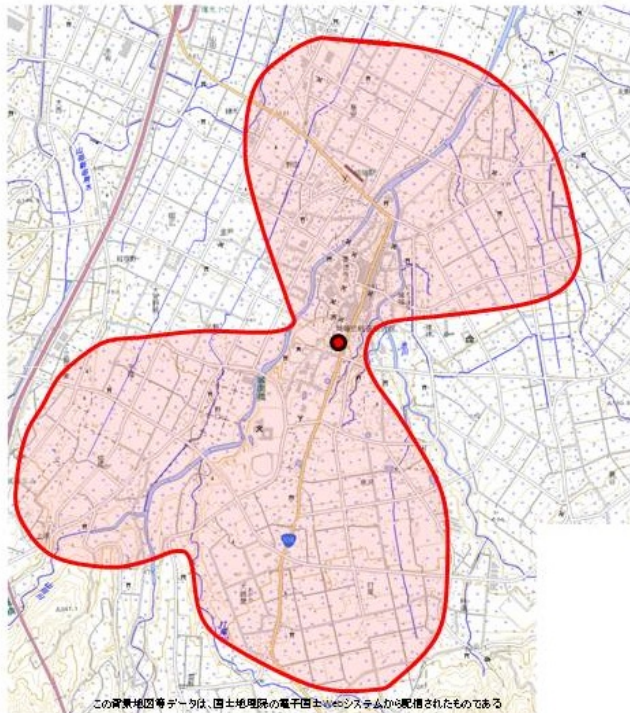
無線設備の設置場所及びサービスエリアの概要は別紙のとおり。

別紙

## エリア放送局の設置場所及びサービスエリアの概要(①②)

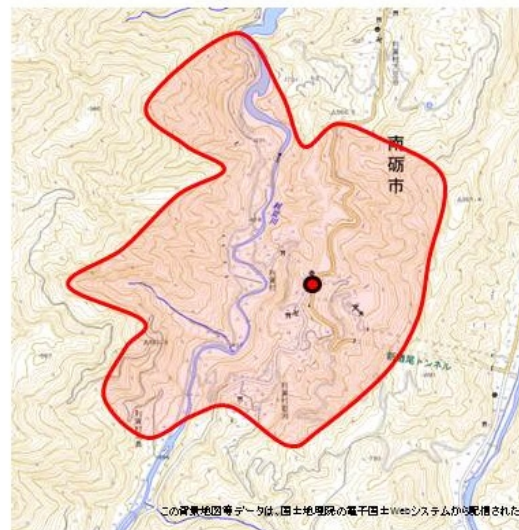
①なんとししょうはな エリアほうそう

設置場所：城端1046



②なんとしが エリアほうそう

設置場所：利賀村171



サービスエリアはあくまでも概要(目安)であり、地形などの状況によっては受信できない場合があります。



## エリア放送局の設置場所及びサービスエリアの概要(③④)

③なんとしたら エリアほうそう

設置場所：下梨2390



④なんとしあいのくら エリアほうそう

設置場所：相倉710

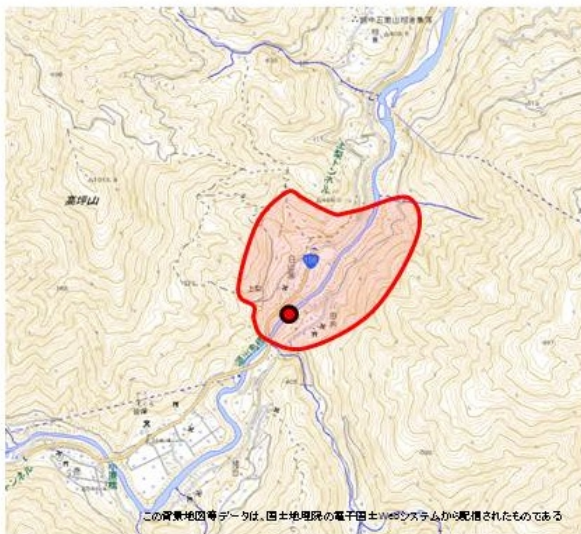


サービスエリアはあくまでも概要(目安)であり、地形などの状況によっては受信できない場合があります。

## エリア放送局の設置場所及びサービスエリアの概要(⑤⑥)

⑤なんとしごかやま エリアほうそう

設置場所：上梨742



⑥なんとしかみたら エリアほうそう

設置場所：上平細島879



サービスエリアはあくまでも概要(目安)であり、地形などの状況によっては受信できない場合があります。



## エリア放送局の設置場所及びサービスエリアの概要(⑦⑧)

⑦なんとしすがぬま エリアほうそう

設置場所：菅沼587



⑧なんとしみちのえきかみたら エリアほう

設置場所：西赤尾町72-1



サービスエリアはあくまでも概要(目安)であり、地形などの状況によっては受信できない場合があります。

## エリア放送局の設置場所及びサービスエリアの概要(⑨⑩)

⑨なんとしふくの エリアほうそう

設置場所：苗島4880



⑩なんとしふくみつ エリアほうそう

設置場所：荒木1550



サービスエリアはあくまでも概要(目安)であり、地形などの状況によっては受信できない場合があります。

## エリア放送局の設置場所及びサービスエリアの概要(⑪⑫)

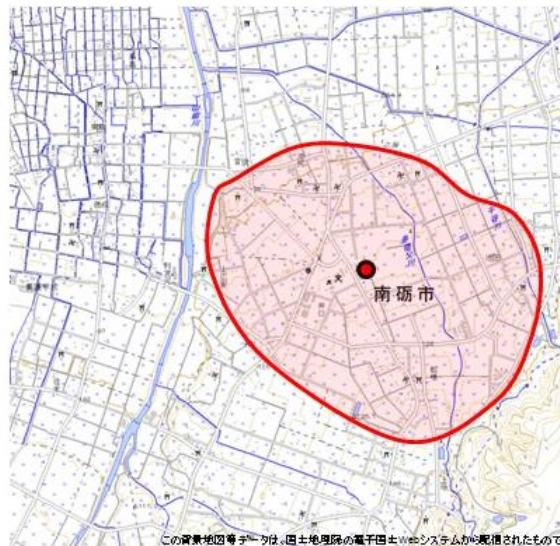
⑪なんとしいなみ エリアほうそう

設置場所：井波520



⑫なんとしいのくち エリアほうそう

設置場所：蛇喰1009

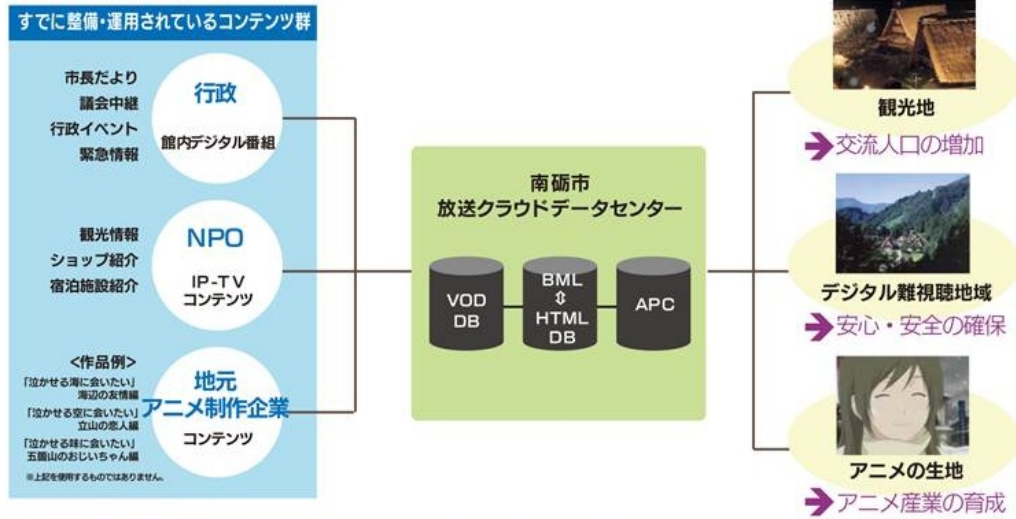


サービスエリアはあくまでも概要(目安)であり、地形などの状況によっては受信できない場合があります。



## エリア放送のサービス概要

### サービス全体像



災害発生時には、全エリアに対して緊急情報を一斉配信し、正確で迅速な情報伝達が可能！



#### 連絡先

##### 【エリア放送に関する内容】

情報通信部放送課（担当：金子、堂下）

電話：076-233-4491

##### 【ホワイトスペース特区に関する内容】

無線通信部企画調整課（担当：井原、下島）

電話：076-233-4470

南砺市エリア放送コンテンツ作成業務 内容一覧表(案)

2014.3.27

		「となみ野の風景」 サブタイトル名		初回放送日	
平成27年	4～6月	vol.160	高瀬遺跡の花菖蒲	H24.6.18	
		vol.162	桂湖釣り大会	H24.7.2	
		vol.199	椿まつり	H25.3.25	
	7～9月	vol.226	秋めく日々	H25.9.30	砺波市太田 南砺市細野 南砺市祖谷 南砺市五箇島 ベリーファーム城端
		No.265	梅とブルーベリー	H26.7.7	
		No.266	相倉合掌造り 屋根の葺き替え	H26.7.14	
	10～12月	vol.231	タイムカプセル	H25.11.4	境川ダム 桂集落 南砺市田中
		vol.232	野口西原稻荷神社	H25.11.11	
		vol.233	田中八幡宮屋根修復慶賀祭	H25.11.18	
平成28年	1～3月	vol.240	行く年来る年	H26.1.6	IOX-AROZA 高瀬神社
		No.241	坂上の左義長	H26.1.20	
		No.242	利賀の初午	H26.1.27	
	4～6月	vol.200	法雲寺の涅槃会	H25.4.1	
		vol.201	千福春季祭礼	H25.4.8	
		vol.203	平成の善徳寺改修	H25.4.22	
	7～9月	No.267	井波の散歩道	H26.7.21	井波町井波 旧石屋町 八日町通り 福光宇佐八幡宮
		No.268	ねつおくり	H26.7.28	
		No.269	福光ねつおくり七夕祭り	H26.8.4	
	10～12月	vol.234	富山干柿	H25.11.25	ふるさとの味加工組合 南砺市城端 五箇山和紙
		vol.235	かぶら寿しの漬け込み	H25.12.2	
		vol.236	干支人形づくり	H25.12.9	
平成29年	1～3月	No.243	手すき和紙の工房	H26.2.3	南砺市東中江
		No.244	安居寺の節分会	H26.2.10	
		No.245	南砺雪あかり祭り	H26.2.17	
	4～6月	vol.206	北豆谷の獅子舞	H25.5.13	
		vol.210	初夏の立野ヶ原	H25.6.10	
		No.258	五箇山 田向の獅子舞	H26.5.19	
	7～9月	No.270	善徳寺の虫干し法会	H26.8.11	
		No.271	井波太子伝会と観光祭	H26.8.18	
		No.274	利賀のみようが	H26.9.8	
	10～12月	vol.238	厳冬を迎える	H25.12.23	南砺市利賀村 まちなみアート2014
		No.278	寺のまち井波	H26.10.6	
		No.282	利賀村の山祭り	H26.11.3	
平成30年	1～3月	No.246	法乗寺の涅槃会	H26.2.24	いのち椿館 南砺市坂本
		No.249	ツバキの咲くころ	H26.3.17	
		No.251	春の彼岸祭	H26.3.31	
	4～6月	No.259	利賀村 上村の獅子舞	H26.5.26	散居村展望台 南砺市田屋地区 植え付け盆太鼓
		No.260	田植えが終わった散居村	H26.6.2	
		No.263	城端別院善徳寺の大修理	H26.6.23	
	7～9月	No.275	サトイモの収穫	H26.9.15	南砺市長源寺
		No.276	城端むぎや祭	H26.9.22	
		No.277	収穫の秋・稲刈り	H26.9.29	
	10～12月	No.286	干し柿づくり	H26.12.1	砺波市井栗谷 南砺市大鋸屋 南砺市北市 南砺市土生新 高瀬神社
		No.289	年の瀬の風景	H26.12.22	
		No.290	新酒の仕込み	H27.1.5	

# 南砺市エリア放送 送出概要図

現地視察2-4

